

# 2020 消防年報

大曲仙北広域市町村圏組合  
消 防 本 部



# 奉仕の実践



大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

## 大曲仙北広域市町村圏組合消防本部章



大曲仙北広域の「O」「S」「K」をデザイン化したもので、広域消防のシンボルマーク「K」を中央の基点とし、消防章を一つのこまになぞらえ、外周の円は団結を表し、広域をつつみ、守ることを意味している。

(昭和 54 年 6 月 13 日制定)

# はじめに

大曲仙北広域消防は、昭和47年の発足以来48年が経過しました。この間、各構成市町をはじめ関係各位の多大なるご支援とご協力を賜り、地域社会に密着した防災機関として、着実な発展と充実を遂げてまいりました。

昨今の社会情勢を見ますと、災害の大規模化や住民ニーズの多様化など、消防行政を取り巻く環境は大きく変化しており、また近隣諸国の緊張した国際情勢と国民保護法の制定などを鑑みても、地域における消防の役割はますますその重要性を増してきております。

当広域消防はこのような変化に的確に対応し、圏民生活の「安全と安心」を実現するため、国・県・市町・警察・消防団等、関係機関との連携を深め、総合的な防災協力体制を確立する一方、最新装備の導入と合わせて、より専門的で高度な教育訓練を実施しております。

また、市町村合併による行政のスリム化にならない、消防体制の基盤強化と人員配置の効率化を目指して、分署所の統合を推進するなど、将来を見据えた消防力の自主再編統合を図ってまいりました。また、高機能消防指令センターの更新により、新たに障がい者向けの通報システム「NET119」の導入や、インバウンドの対応のため多言語通訳システムを導入するなど、さらなる消防力の強化・充実に向けて整備を進めております。

今後も職員一丸となり、圏民の信頼と期待に応えるべく、消防防災という崇高な使命の達成に向けて勇往邁進する所存であります。

この年報は、平成31年・令和元年中の統計及び令和2年4月1日をもって集計した当広域消防の消防実態を収録したものであり、災害や消防活動の現状を広く一般に紹介することで、より一層のご理解とご協力を賜りたく作成したものであります。幅広くご活用いただければ幸いに存じます。

令和2年4月1日

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部  
消防長 佐藤 広樹

# 目 次

## 管内概況

1. 一目統計	1
2. 広域圏の概要	2
3. 大曲仙北広域市町村圏組合構成市町	3
4. 管内状況	4
5. 管内図	4
6. 広域消防の沿革	5
7. 広域消防のあゆみ	6

## 総務関係

1. 消防組織図	14
2. 消防本部事務分掌	15
3. 消防署事務分掌	18
4. 消防庁舎の現況	20
5. 令和2年度消防費（当初予算）	21
6. 最近5年間の構成市町消防費負担金（当初予算）	22
7. 令和2年度構成市町総予算額に対する消防予算額（当初予算）	22
8. 職員配置状況	23
9. 職員階級別年齢表	24
10. 職員勤続年数表	24
11. 消防職員意見発表会出場者	25

## 警防関係

1. 消防車両及び無線局配置状況	26
2. 現有車両明細	27
3. 火災出動区分	29
4. 消防・救助用特殊資機材一覧表	31
5. 職員の免許等取得状況	32
6. 職員教養訓練実施状況	33
7. 消防水利の状況	34
8. 緊急消防援助隊	35
9. 緊急消防援助隊合同訓練への参加状況	37
10. 消防相互応援協定等の締結状況	38

## 予防関係

1. 市町別中高層建築物	39
2. 防火対象物一覧表並びに立入検査状況	40
3. 防火対象物階数別一覧表	41
4. 用途別建築同意件数	42
5. 火災予防条例に基づく各種届出	43
6. 市町別危険物施設一覧	44

7. 数量別危険物施設	45
8. 容量別屋外タンク貯蔵所	46
9. 類別危険物施設	46
10. 危険物許認可等調べ	47
11. 火災予防組合結成調べ	47

## ☆ 火災統計

1. 平成31年及び令和元年の火災概要	48
2. 損害及びり災状況	48
3. 地域別火災発生状況	49
4. 月別・曜日別・時間別火災発生状況	50
5. 死傷者の状況	52
6. 原因別火災発生状況	52
7. 住宅火災の出火箇所と主な原因	53
8. 地域別火災発生状況	54
9. 月別火災発生状況	56
10. 最近5カ年間の火災発生状況	58

## 救急救助関係

1. 救急出勤件数とその内容	59
2. 救急搬送人員とその内容	61
3. 搬送先病院と現場到着・病院到着所要時間	63
4. 高度救命処置	64
5. 救命講習	64
6. CPA蘇生状況	65
7. 地域別救急出動状況	66
8. 月別救急出動状況	67
9. 曜日別救急出動状況	68
10. 救急隊の行った応急処置	69
11. 事故種別救助出勤件数・救助人員数	70
12. 全国救助大会出場者一覧	71

## 通信指令関係

1. 消防無線局設置状況	73
2. 119番受信件数	76
3. 高機能消防指令センター（II型）機器構成	78
4. 通信網図	80

## 消防団関係

1. 消防団員数・機械等配置状況	81
2. 正副団長・支団長名簿	82
3. 消防団員等報酬調べ	83
4. 過去消防訓練大会成績一覧表	84

☆ 災害記録	86
--------	----

# 一 目 統 計

## 管内状況

構成市町	2市1町
管轄面積	2,128.67km <sup>2</sup>
管轄人口	124,797人
管轄世帯数	48,650世帯

## 火 災

火災件数	63件
損害額	46,448万6千円
焼損面積	8,953m <sup>2</sup>

## 消防機関

1本部 2署 8分署	
消防職員	
職員数	290名
平均年齢(再任用11名除く)	36.0歳

## 救 急

救急件数	5,636件
搬送人員	5,324人
普通救命講習修了者	50,625名
<small>(令和元年末時点)</small>	

## 消防車両

車両台数	50台
消防ポンプ車	16台
はしご車	2台
化学車	1台
救助工作車	2台
救急車	12台
指揮車	3台
資機材搬送車	2台
広報連絡車等	12台

## 救 助

救助件数	102件
救助人員	20人

## 予 防

防火対象物数	6,079施設
危険物施設数	896施設

## 無 線

デジタル無線局数	135局
基地局	7局
車載陸上移動局	50局
携帯陸上移動局	67局
可搬型移動局	1局
卓上型移動局	10局

## 消 防 団

団員数(実員)計	1,987名
大仙市消防団	1,106名
仙北市消防団	536名
美郷町消防団	345名



# 広域圏の概要

本広域圏は秋田県のほぼ中央部、奥羽山脈と出羽丘陵に囲まれたところに位置しており、雄物川・玉川の二大河川から恵みを受けた仙北平野は県下有数の穀倉地帯となっている。

広域圏の中心である大仙市大曲は、藩政時代から雄物川水運による交易の地として栄え、近代以降もその地の利を生かし、商業によって発展してきた。平成9年3月22日秋田新幹線開通、同年7月23日秋田自動車道全線開通によって、今も交通の結節点としての役割を受け継ぎ、秋田県の高速度交通化時代の表玄関として重要な位置を占めている。毎年8月に開催される「全国花火競技大会」は大曲の代名詞として知られ、全国から集う一流花火師たちの競演が70万人の大観衆を魅了する。

広域圏の北東部に位置する仙北市は、多くの観光資源に恵まれた東北屈指の観光地である。中世末期に芦名氏によって町の原型が造られ、その後佐竹北家の城下町として発展した角館は「みちのくの小京都」として名高く、枝垂れ桜に彩られた武家屋敷群と桧木内川堤の桜並木の美しさに、毎年たくさんの観光客が訪れる。日本最深423.4メートルを誇る田沢湖の周囲には、すぐれた効能と豊富な湯量で全国に知れ渡る名湯、玉川温泉・乳頭温泉郷があり、駒ヶ岳山麓のスキー場は良質な雪質と多様なコース、田沢湖を眼下に滑り降りる眺望の良さで人気を博している。

広域圏南東部にある美郷町は、雪深い奥羽山脈を水源とする発達した扇状地にあり、小河川や湧水群などの農業用水と豊富な土壌に恵まれていたことから、県内有数の穀倉地帯として発展してきた。全国名水百選に選定された六郷湧水群、ラベンダー園の花々、六郷・千畑・仙南の各地区にある温泉施設などが訪れる人を癒やし、和ませる。

昭和47年、大曲仙北広域市町村圏組合は1市8町5村の構成により発足、当時の人口は175,571人であった。

いわゆる「平成の大合併」にともない、平成16年11月1日に千畑町・六郷町・仙南村が合併して美郷町、翌平成17年3月22日に大曲市・神岡町・西仙北町・中仙町・協和町・南外村・仙北町・太田町の8市町村が合併して大仙市、同年9月20日に角館町・田沢湖町・西木村が合併して仙北市となり、新たなスタートを切った。これにより構成市町は大仙市・仙北市・美郷町の2市1町となった。

令和2年4月1日現在の人口は124,797人である。

# 大曲仙北広域市町村圏組合 構成市町

## 大 仙 市



大仙市は平成17年3月22日、大曲市・神岡町・西仙北町・中仙町・協和町・南外村・仙北町・太田町の8市町村が合併して誕生しました。

古くから県南の交通の要衝であったことから、現在でも秋田新幹線や秋田自動車道等、陸路・鉄道の結節点として拠点機能の強化が図られ、県の8地方の一つである仙北地方の中心として国や県の様々な機関が設置されています。

市章は未来（あす）に向って力強く羽ばたく鵬（おおとり）のイメージを大仙市のイニシャル「D」の文字にアレンジしたもので、背中の円は夢と希望に満ちた同市の活力と発展を象徴しています。

## 仙 北 市



仙北市は平成17年9月20日、角館町・田沢湖町・西木村の3町村が合併して誕生しました。

奥羽山脈の山々に抱かれた仙北市は、秋田県全体の9.4%を占める広大な面積を有しており、その約8割が森林地帯となっている自然豊かな地域です。角館の武家屋敷と桜並木、水深日本一の田沢湖、西木の小正月行事「紙風船上げ」には毎年多くの観光客が訪れています。

市章は「仙北市」の頭文字「S」を抽象化したもので、3町村の集結と新市の発展・広がり象徴するとともに、光の3原色がはためく表現から「観光」と「躍動」を表しています。

## 美 郷 町



美郷町は平成16年11月1日、千畑町・六郷町・仙南村の3町村が合併して誕生しました。

奥羽山脈を源流部とする発達した扇状地は、豊かな土壌に恵まれた県内有数の穀倉地帯を形成しています。貴重な高山植物群落が見られる真昼岳の県立自然公園、2万株が咲き誇る千畑ラベンダー園、全国名水百選の一つである六郷湧水群、後三年の役に関する史跡など、いたるところに自然と文化の魅力が満ちあふれています。

町章はひらがなの「み」を抽象化し、「希望」「飛躍」「親睦」を表現しています。

# 管内状況

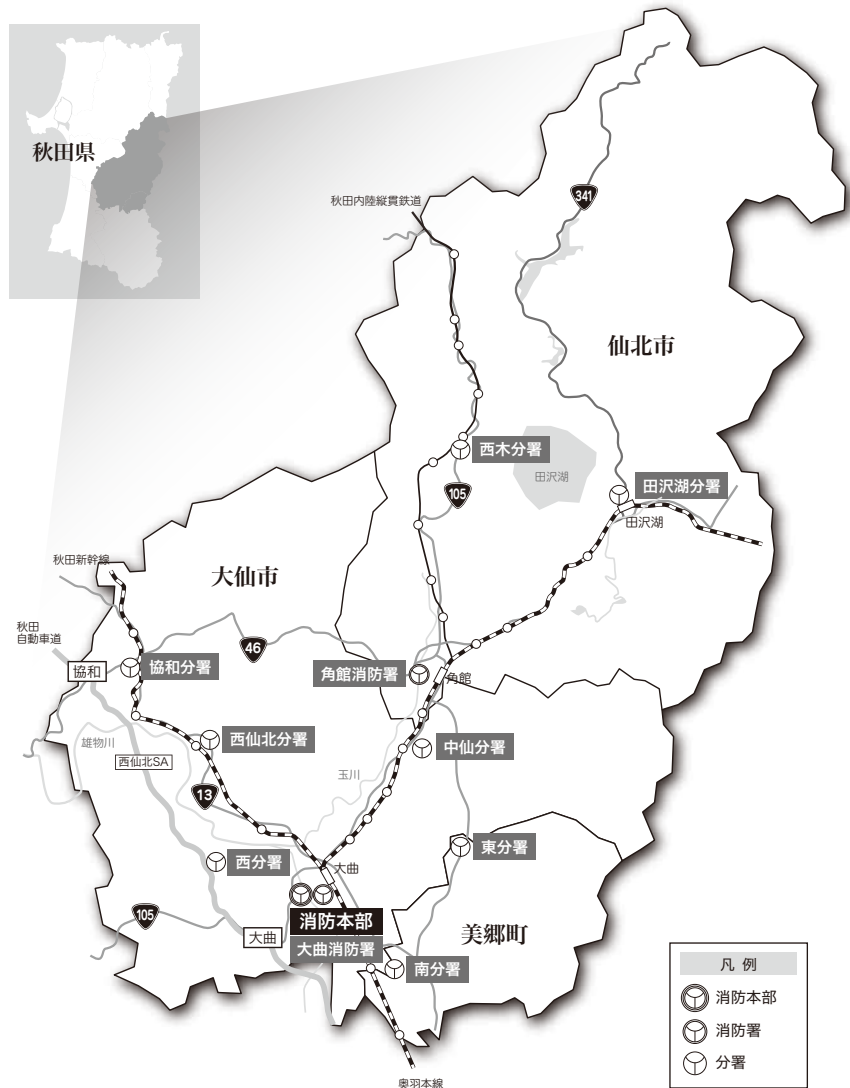
令和2年3月31日現在

	面積 (km <sup>2</sup> )	人口			世帯数	人口密度 (1 km <sup>2</sup> 当)
		総数 人	男 人	女 人		
合計	2,128.67	124,797	58,621	66,176	48,650	58.63
大仙市	866.79	79,930	37,580	42,350	31,461	92.21
仙北市	1,093.56	25,642	11,958	13,684	10,561	23.45
美郷町	168.32	19,225	9,083	10,142	6,628	114.22

## 大曲仙北広域市町村圏組合消防本部の管轄区域

- 大曲消防署管内
- 大曲消防署**  
〒014-0061  
大仙市大曲栄町13-47  
TEL.0187-63-0151
- 南分署**  
〒019-1237  
仙北郡美郷町佐野字倉合172  
TEL.0187-87-8119
- 東分署**  
〒019-1602  
大仙市太田町三本扇字野沢268-9  
TEL.0187-88-2119
- 西分署**  
〒019-1853  
大仙市南外字坊田黒沢152  
TEL.0187-73-1197
- 西仙北分署**  
〒019-2112  
大仙市刈和野字上ノ台荒屋敷134-42  
TEL.0187-75-1119
- 協和分署**  
〒019-2413  
大仙市協和上淀川字中嶋17-1  
TEL.018-892-3119

- 角館消防署管内
- 角館消防署**  
〒014-0378  
仙北市角館町西野川原25-10  
TEL.0187-54-2302
- 田沢湖分署**  
〒014-1201  
仙北市田沢湖生保内字上清水674  
TEL.0187-43-1139
- 中仙分署**  
〒014-0203  
大仙市北長野字茶畑96  
TEL.0187-56-4119
- 西木分署**  
〒014-0602  
仙北市西木町松木内字高屋132-1  
TEL.0187-48-2324



- 凡例
- 消防本部
  - 消防署
  - 分署

# 広域消防の沿革

昭和22年12月の消防組織法公布にともない、昭和23年3月に大曲町消防本部・消防署、翌昭和24年4月には、角館町消防本部・消防署が設置され、それぞれ独自に運用されていた。当時圏域内町村では他に、六郷町・神岡町・西仙北町・中仙町・田沢湖町・千畑村等で常備消防が組織されていた。

昭和29年5月、大曲町は、周辺5か村との合併により大曲市となり、あわせて大曲市消防本部が設置された。

昭和47年4月、大曲仙北広域市町村圏組合（1市8町5村）が設置され、当初定数202名、1本部・2消防署・12分署・2出張所をもって発足した。

平成8年3月、救助工作車Ⅲ型を配置、国より緊急消防援助隊救助部隊の指定を受け、東北・北海道エリアに派遣されることとなった。現在は都道府県大隊指揮隊1隊、救助小隊1隊、消火小隊5隊、救急小隊1隊、後方支援小隊3隊の計11隊を緊急消防援助隊として登録しており、大規模災害発生時には要請・指示を受け全国各地に派遣される。

平成12年1月1日、高規格救急車の運用を開始し、平成23年には広域圏民が高度な救急救命処置を等しく受けられるよう「救急業務高度化推進計画」を策定し、平成30年度までに全所属に高規格救急車を配置した。

広域再編計画に基づき、平成13年12月1日に太田・千畑・仙北の3分署を統合して東分署、次いで平成16年10月20日に六郷・仙南分署と大曲消防署南出張所を統合して南分署、さらに平成20年12月1日に神岡・南外分署と大曲消防署北出張所を統合して西分署とし、それぞれ運用を開始した。

平成17年3月1日、消防本部に高機能消防指令センター（Ⅱ型）が完成、「発信地表示システム」をはじめとする最先端技術の導入により、迅速かつ確実な消防防災体制が実現した。同年4月1日には通信指令課を新設して高機能消防指令センターの運用を開始し、より効率的な消防防災・救急救助活動を確立した。

平成26年4月1日、消防救急無線をデジタル化整備、従来の無線不感エリアについても各基地局を介し消防指令センターから一元的にコントロールすることが可能となり、より迅速かつ高度な消防通信運用を確立している。

平成30年3月23日、消防本部・大曲消防署新庁舎建設に併せ、当本部にとって2世代目となる高機能消防指令センターが運用を開始している。また、同年5月25日には消防本部・大曲消防署新庁舎庁舎棟が完成、同年6月11日から地域防災の新たな拠点として運用を開始した。

現在は職員290人、1本部・2消防署・8分署、指揮車3台、消防ポンプ車16台・はしご車2台・化学車1台・救助工作車2台・資機材搬送車2台・高規格救急車10台・救急車2台・広報連絡車等12台をもって、広域圏民13万人の安全確保のため日夜精励している。

# 広域消防のあゆみ

47. 4. 1	1市8町5村で大曲仙北広域市町村圏組合消防本部発足
〃	(1本部・2署・12分署・2出張所) 条例定数 202 名
	初代消防長に佐々木佳夫氏就任
7. 19	消防本部に広報車 (ニッサングロリア・バン) 購入配置
8. 31	大曲消防署・角館消防署に連絡車 (トヨタランドクルーザー) 購入配置
11. 30	角館消防署に水槽付消防ポンプ自動車 (いすゞ A-2 級 1,800 ℓ) 購入配置
12. 2	神岡分署庁舎新築落成
12. 8	大曲消防署に普通消防ポンプ自動車 (いすゞ A-2 級) 購入配置
〃	南外分署に普通消防ポンプ自動車 (いすゞ A-2 級) 購入配置
48. 1. 4	千畑分署庁舎新築落成
1. 5	南外分署庁舎新築落成
1. 8	大曲消防署に救急自動車 (ニッサンシビリアン 3 級・B 型) 購入配置 (S 56. 4 隊員搬送車に改装)
3. 20	協和分署庁舎新築落成
4. 10	太田分署庁舎新築落成
5. 1	角館消防署に救急自動車 (トヨタ 2 B 型) 購入配置
5. 25	西木分署庁舎新築落成
7. 20	消防本部に小型動力ポンプ積載車 (トヨタダイナ) 購入配置
10. 1	大曲消防署に救助隊発足、隊員 11 名
10. 20	六郷分署庁舎新築落成
10. 22	西仙北分署に普通消防ポンプ自動車 (ニッサン A-2 級) 購入配置
11. 28	大曲消防署に水槽付消防ポンプ自動車 (いすゞ A-2 級 2,000 ℓ) 購入配置
12. 27	仙南分署庁舎新築落成
49. 1. 19	中仙分署庁舎新築落成
3. 30	消防本部に一斉指令装置完成 (東消式 B 型)
〃	角館消防署に一斉指令装置完成 (東消式 B 型)
〃	消防本部消防課を廃止し、総務課、警防課、予防課の三課を新設
4. 19	仙北分署庁舎新築落成
5. 1	西仙北分署庁舎新築落成
5. 23	北出張所庁舎新築落成
6. 21	田沢湖分署庁舎新築落成
9. 26	六郷分署に水槽付消防ポンプ自動車 (いすゞ A-2 級 1,500 ℓ) 購入配置
11. 29	協和分署に救急自動車 (トヨタ 2 B 型) 購入配置
12. 27	田沢湖分署に救急自動車 (トヨタ 2 B 型) 購入配置 (S 61.12 角館救助隊資機材搬送車に改装)
50. 7. 18	六郷分署に救急自動車 (トヨタ 2 B 型) 購入配置
7. 31	田沢湖分署に普通消防ポンプ自動車 (トヨタ A-2 級) 購入配置
〃	南出張所に普通消防ポンプ自動車 (トヨタ A-2 級) 購入配置

50. 7. 31	西木分署に普通消防ポンプ自動車（トヨタA-2級）購入配置
51. 4. 1	角館消防署に救助隊発足・隊員5名
7. 29	中仙分署に普通消防ポンプ自動車（ニッサンA-2級）購入配置
〃	北出張所に普通消防ポンプ自動車（ニッサンA-2級）購入配置
7. 31	仙北分署に普通消防ポンプ自動車（トヨタA-2級）購入配置
52. 2. 22	大曲消防署に救急自動車（トヨタ2B型）配置 社団法人日本自動車工業会寄贈
2. 25	消防本部に指令車（トヨタクラウン）購入配置
4. 1	条例改正により定数204名
〃	西仙北分署に大曲消防署の救急自動車（トヨタIB型）配置
7. 1	消防本部に広報車（トヨタクラウンバン）購入配置
8. 4	神岡分署に普通消防ポンプ自動車（トヨタA-2級）購入配置
〃	千畑分署に普通消防ポンプ自動車（トヨタA-2級）購入配置
〃	太田分署に普通消防ポンプ自動車（トヨタA-2級）購入配置
53. 4. 1	条例改正により定数206名
〃	大曲消防署・角館消防署に連絡車（ニッサンブルーバードバン）購入配置
8. 3	角館消防署に普通消防ポンプ自動車（ニッサンA-2級）購入配置
〃	協和分署に普通消防ポンプ自動車（ニッサンA-2級）購入配置
〃	仙南分署に普通消防ポンプ自動車（ニッサンA-2級）購入配置
12. 14	西仙北分署に救急自動車（トヨタ2B型）配置 秋田県共済農業協同組合連合会寄贈
54. 4. 1	条例改正により定数207名
6. 1	2代目消防長に米谷辰之助氏就任
10. 2	大曲消防署に普通消防ポンプ自動車（トヨタA-1級）配置 社団法人日本損害保険協会寄贈
55. 2. 15	大曲消防署に救急自動車（ニッサン2B型）配置 社団法人日本損害保険協会寄贈
4. 11	救急自動車を角館消防署に配置
9. 2	六郷分署に普通消防ポンプ自動車（ニッサンA-2級）購入配置
56. 1. 27	大曲消防署に救急自動車（ニッサン2B型）配置 秋田県共済農業協同組合連合会寄贈
4. 1	3代目消防長に渡部長一氏就任
〃	大曲消防署に隊員搬送車配置
57. 3. 13	消防本部庁舎、大曲消防署庁舎、第二車庫及び訓練塔新築落成
〃	緊急情報現示装置完成（富士写真フィルム）
4. 1	4代目消防長に千羽孝氏就任
〃	条例改正により定数221名
6. 29	消防本部に広報車（ニッサンブルーバードバン）購入配置
12. 22	大曲消防署に救助工作車（シャシーいすゞ、ぎ装森田ポンプ）購入配置
59. 3. 3	田沢湖分署に救急自動車（トヨタ2B型）配置 社団法人日本損害保険協会寄贈
5. 16	角館消防署に連絡車（ニッサンブルーバードバン）購入配置 更新
9. 25	角館消防署に水槽付消防ポンプ自動車（日野A-2級2,000ℓ）購入配置 更新
9. 26	協和分署に救急自動車（ニッサン2B型）配置 財団法人日本消防協会寄贈
9. 28	南外分署に消防ポンプ自動車CD-I（ミツビシA-2級）購入配置 更新
11. 28	消防本部に防火広報車（トヨタ）配置 財団法人日本消防協会寄贈

60. 4. 1	5代目消防長に熊澤龍雄氏就任
12. 20	大曲消防署に消防ポンプ自動車CD-II (いすゞA-2級) 購入配置 更新
〃	西仙北分署に消防ポンプ自動車CD-I (いすゞA-2級) 購入配置 更新
61. 3. 31	消防本部に指令車(トヨタクラウン) 購入配置 更新
6. 2	大曲消防署に連絡車(トヨタマークIIバン) 購入配置 更新
6. 6	大曲市を会場に東北地方建設局雄物川水防演習が開催される
8. 22	南出張所庁舎移転新築落成
9. 22	六郷分署に水槽付消防ポンプ自動車(いすゞA-2級2,000ℓ) 購入配置 更新
12. 24	六郷分署に救急自動車(トヨタ2B型) 購入配置 更新
〃	角館消防署に救助資機材搬送車配置
62. 9. 7	大曲消防署に消防資機材搬送車(いすゞエルフダンプ) 購入配置
11. 12	田沢湖分署に消防ポンプ自動車CD-I (ミツビシ4WD・A-2級) 購入配置 更新
〃	西木分署に消防ポンプ自動車CD-I (ミツビシ4WD・A-2級) 購入配置 更新
12. 4	大曲消防署に水槽付消防ポンプ自動車(いすゞA-2級3,000ℓ) 購入配置 更新
63. 3. 31	角館消防署に救急自動車(ニッサン2B型) 配置 社団法人日本自動車工業会寄贈
9. 3	大曲消防署に救急自動車(ニッサン2B型) 配置 財団法人日本消防協会寄贈
9. 30	消防本部に広報車(トヨタマークIIバン) 購入配置 更新
12. 28	仙北分署に消防ポンプ自動車CD-I (いすゞ4WD・A-2級) 購入配置 更新
〃	中仙分署に消防ポンプ自動車CD-I (いすゞ4WD・A-2級) 購入配置 更新
〃	南出張所に消防ポンプ自動車CD-I (いすゞ4WD・A-2級) 購入配置 更新
H1. 4. 1	消防本部に救急救助課を新設
6. 17	西仙北分署に救急自動車(トヨタ2B型) 購入配置 更新
10. 9	中仙分署救急業務開始、救急自動車配置
10. 11	神岡分署に消防ポンプ自動車CD-I (いすゞ4WD・A-2級) 購入配置 更新
〃	太田分署に消防ポンプ自動車CD-I (いすゞ4WD・A-2級) 購入配置 更新
〃	千畑分署に消防ポンプ自動車CD-I (いすゞ4WD・A-2級) 購入配置 更新
2. 4. 1	6代目消防長事務取扱に千田宏二氏就任
4. 5	中仙分署に救急自動車(ニッサン2B型) 配置 社団法人日本自動車工業会寄贈
5. 8	7代目消防長事務取扱に高橋司氏就任
7. 27	8代目消防長事務取扱に西村茂氏就任
10. 8	西木分署救急業務取扱開始、救急自動車配置
10. 23	大曲消防署にはしご付消防ポンプ自動車(25m級) 購入配置
11. 9	協和分署に消防ポンプ自動車CD-I (いすゞ4WD・A-2級) 購入配置 更新
〃	仙南分署に消防ポンプ自動車CD-I (いすゞ4WD・A-2級) 購入配置 更新
12. 20	仙南分署庁舎移転新築落成
3. 2. 6	消防本部に消防緊急情報システム装置完成(II型)
4. 1	条例改正により定数241名
7. 17	協和分署に救急自動車(トヨタ2B型) 購入配置
8. 10	協和分署庁舎移転新築落成

3.10.16	南外分署救急業務開始、救急自動車配置
12.1	消防本部通信指令室に気象情報収集装置配置
12.3	角館消防署庁舎新築落成
4.1.16	角館消防署に消防緊急情報指令施設完成（I型）
2.4	消防本部通信指令室に消防無線固定局（第4装置）増設
2.13	角館消防署に救助補助訓練塔完成
3.4	南外分署に救急自動車（トヨタ2B型）配置 社団法人日本損害保険協会寄贈
4.1	9代目消防長に富樫俊悦氏就任
〃	田沢湖、中仙町、西木村の119番を角館消防署に集約
5.26	角館消防署に連絡車（トヨタマークII）購入配置
7.10	西木分署に救急自動車（トヨタ2B型）購入配置
8.21	六郷町、西仙北町の119番を消防本部通信指令室に集約
9.1	大曲市を会場に秋田県総合防災訓練が開催される
10.1	田沢湖分署に救急自動車（トヨタ2B型）配置更新 財団法人日本消防協会寄贈
11.30	北出張所に消防ポンプ自動車CD-I（トヨタ4WD・A-2級）購入配置 更新
12.14	消防本部通信指令室、角館消防署に固定無線局配置 更新
5.5.18	消防本部警防課に広報車（トヨタカルディナ）購入配置 更新
9.6	大曲消防署に救急自動車（いすゞ2B型）配置更新 財団法人日本消防協会寄贈
10.6	角館消防署に救助工作車（いすゞフォワード・ぎ装森田）配置 社団法人日本損害保険協会寄贈
12.3	田沢湖分署庁舎移転新築落成
6.1.31	角館消防署に消防ポンプ自動車CD-I（いすゞ4WD・A-2級）購入配置 更新
3.31	中仙分署庁舎新築落成
4.1	10代目消防長に山崎敏彦氏就任
11.4	田沢湖分署にはしご付消防ポンプ自動車（30m級）購入配置
〃	大曲消防署に消防ポンプ自動車CD-I（いすゞ4WD・A-2級）購入配置 更新
11.11	田沢湖分署救急無線基地局設置
7.2.5	角館消防署通信指令室に設置されている救急無線基地局 更新
〃	田沢湖分署消防無線基地局設置
11.22	西木分署庁舎移転新築落成
8.3.26	大曲消防署に救助工作車III型（日野レンジャー4WD・ぎ装森田）購入配置 更新
4.1	11代目消防長に山崎堅治氏就任
11.26	六郷分署に救急自動車（トヨタ2B型）購入配置 更新
12.19 ～20	緊急消防援助隊北海道、東北ブロック第1回合同訓練に救助部隊で参加（仙台市）
9.1.30	南外分署に消防ポンプ自動車CD-I（いすゞエルフ4WD・A-2級）購入配置 更新
7.12	大曲消防署に防火広報車（トヨタハイエース）配置 京呉服川崎屋寄贈
8.5	大曲消防署に救急自動車（トヨタ2B型）購入配置 更新
8.28	消防本部に公用車（トヨタクラウン）購入配置 更新
10.15	西木分署に無線基地局（消防波・救急波）設置
10.22	西仙北分署に消防ポンプ自動車CD-I（いすゞエルフ4WD・A-2級）購入配置



10. 4. 1	県南3消防本部（大曲仙北広域・横手平鹿広域・湯沢雄勝広域）自動車電話・携帯電話 119番 受信開始（集約大曲消防本部）
6. 23	消防本部予防課に広報車（トヨタ・マークIIクオリス）購入配置 更新
7. 1	六郷分署に消防ポンプ自動車CD-I（いすゞエルフ4WD・A-2級） 購入配置 更新
10. 17	西仙北分署庁舎移転新築落成
〃	西仙北分署に消防無線基地局（消防波・救急波）設置
12. 2	角館消防署に救急自動車（トヨタ2B型）購入配置 更新
11. 3. 30	大曲消防署に広報・連絡車（トヨタクラウン・バン）配置 株式会社川端寄贈
11. 7	中仙分署に防火広報車（ホンダアクティ・バン）配置 中仙ライオンズクラブ寄贈
11. 29	大曲消防署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック4WD）購入配置
12. 8	大曲消防署に消防ポンプ自動車CD-II（日野4WD・A-2級）購入配置 更新
12. 3. 17	消防本部予防課に広報車（トヨタランドクルーザープラド）配置 財団法人日本消防協会寄贈
〃	消防本部予防課の広報車（トヨタ・マークIIクオリス）を角館消防署連絡車として異動配置
4. 1	大曲仙北広域消防体制の再編計画を策定（第一次）
9. 25	角館消防署に水槽付消防ポンプ自動車（日野4WD・A-2級2,000ℓ） 購入配置 更新
10. 16	西仙北分署に救急自動車（トヨタ2B型）購入配置 更新
13. 9. 5	大曲市を会場に秋田県総合防災訓練が開催される
10. 23	大曲仙北広域市町村圏組合消防30周年記念式典開催
〃	大曲消防署に化学消防ポンプ自動車（日野レンジャー4WD・化学I型）配置 社団法人日本損害保険協会寄贈
11. 22	中仙分署に救急自動車（トヨタ2B型）購入配置 更新
11. 30	太田、千畑、仙北分署を統合し、東分署庁舎、訓練塔及び常設ヘリポート新築落成
12. 1	東分署運用開始、勤務体制に3部制を試行導入
〃	大曲消防署の勤務体制に3部制を試行導入
〃	東分署に救急自動車（トヨタ2B型）購入配置
〃	東分署に広報・連絡車（トヨタカルディナバン4WD）設置 太田町寄贈
〃	東分署に消防無線基地局（消防波）設置
14. 2. 1	消防本部消防無線基地局に全国共通波（3波）設置
2. 4	角館消防署消防無線基地局に第2装置（県内共通波）設置
4. 1	条例改正により定数245名
〃	12代目消防長に里見喜代治氏就任
5. 1	大曲仙北広域消防体制の再編計画を策定（第二次）
7. 19	消防本部警防課に連絡車（トヨタハリヤー4WD）購入配置 更新
10. 29	協和分署に救急自動車（トヨタ2B型4WD）購入配置 更新
15. 2. 5	田沢湖分署、西木分署に消防ポンプ自動車CD-1（三菱4WD・A-2級） 購入配置 更新
12. 18	角館消防署に高規格救急車（トヨタハイメディック4WD）購入配置
16. 2. 19	中仙分署に消防ポンプ自動車CD-1（いすゞ4WD・A-2級）購入配置 更新

16. 2. 23	大曲消防署に水槽付消防ポンプ自動車水-II (いすゞ 4WD・A-2級 3,000ℓ水槽) 購入配置 更新
10. 20	六郷分署・仙南分署・大曲消防署南出張所を統合し、南分署庁舎を新築落成
11. 1	南分署運用開始、勤務体制に3部制を試行導入
17. 2. 18	南分署に消防無線基地局(消防波)設置
3. 1	消防本部に高機能消防指令センター(II型)完成
4. 1	消防本部に通信指令課を新設。高機能消防指令センターの運用開始
〃	大曲消防署、東分署及び南分署の勤務体制に3部制を導入
8. 1	大曲仙北広域消防体制の再編計画を策定(第三次)
12. 28	南外分署に救急自動車(トヨタ2B型4WD)購入配置 更新
18. 2. 9	神岡分署に消防ポンプ自動車CD-I(日野4WD・A-2級)購入配置 更新
12. 13	大曲消防署はしご付消防ポンプ自動車 オーバーホール実施
19. 1. 1	広域消防情報管理システムの運用開始
2. 8	田沢湖分署に救急自動車(トヨタ2B型4WD)購入配置 更新
4. 1	13代目消防長に佐藤富男氏就任
7. 31	田沢湖分署に災害対策支援車(三菱デリカ4WD)購入配置
10. 3	協和分署に広報・連絡車(トヨタカローラフィールダー4WD)配置 更新
12. 14	西木分署に救急自動車(トヨタ2B型4WD)購入配置 更新
20. 2. 7	東分署に消防ポンプ自動車CD-I(日野4WD・A-2級)購入配置 更新
2. 29	田沢湖分署はしご付消防ポンプ自動車 オーバーホール実施
4. 1	条例改正により定数255名
10. 15	平成20年度緊急消防援助隊 北海道・東北ブロック合同訓練が大仙市大曲地区を ～16 会場として開催される
11. 26	神岡分署、南外分署、大曲消防署北出張所を統合し、西分署を新築落成
〃	西分署に広報・連絡車(トヨタカローラフィールダー4WD)配置
12. 1	西分署運用開始、勤務体制に3部制を試行導入
〃	通信指令課及び角館消防署の勤務体制に3部制を試行導入
21. 4. 1	14代目消防長に高橋庄孝氏就任
〃	西分署の勤務体制に3部制を導入
〃	通信指令課及び角館消防署の勤務体制を3部制に移行
7. 30	東分署、南分署、西木分署に広報・連絡車(トヨタカローラフィールダー4WD) 配置 更新
9. 29	大曲消防署に資機材搬送車(いすゞエルフ4WD・2tロングボディ)購入配置 更新
22. 1. 15	東分署、協和分署に消防ポンプ自動車CD-I(日野デュトロ4WD・A-2級・CAFS) 購入配置 更新
2. 19	大曲消防署に高規格救急車(トヨタ・ハイメディック4WD)、南分署に救急自動車 (トヨタ・2B型4WD)購入配置 更新
6. 8	高機能消防指令センターに統合型位置情報通知システムを導入
7. 23	大曲消防署に指揮車(三菱デリカ4WD)購入配置 更新
7. 28	西仙北分署、中仙分署に広報・連絡車(トヨタカローラフィールダー4WD)配置 更新
10. 18	大仙市大曲地区を会場として秋田県総合防災訓練が開催される

23. 1. 7	角館消防署、西分署に消防ポンプ自動車CD-I（日野4WD・A-2級・CAFS）、大曲消防署に消防ポンプ自動車CD-I（日野4WD・A-2級）購入配置 更新
3. 11	田沢湖分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック4WD）配置 全国共済農業協同組合連合会寄贈
4. 1	条例改正により定数 267 名
〃	15 代目消防長に伊藤和美氏就任
〃	田沢湖分署の勤務体制を 3 部制に移行
8. 25	角館消防署に指揮車（ニッサン・エクストレイル4WD）配置 更新
8. 30	救急業務高度化推進計画を策定
9. 1	消防本部に広報連絡車（トヨタ・ノア4WD）配置 更新
11. 23	西仙北分署に救急自動車（トヨタ2B型4WD）購入配置 更新
24. 2. 6	南分署に消防ポンプ自動車CD-I（日野・デュトロ4WD・A-2級・CAFS） 購入配置 更新
8. 10	田沢湖分署庁舎 3 部制移行に伴い 28.65㎡増築
9. 20	大曲消防署に燃料補給車（三菱・キャンター4WD・軽油 990 リットル）配置 総務省消防庁無償使用
9. 24	協和分署の勤務体制を 3 部制に移行
11. 1	協和分署に高規格救急自動車（トヨタ・ハイメディック4WD）購入配置 更新
12. 17	西仙北分署に消防ポンプ自動車CD-I（日野・デュトロ4WD・A-2級・CAFS）購入配置 更新
25. 2. 28	協和分署庁舎 3 部制移行に伴い 23.08㎡増築
3. 22	大曲消防署に資機材搬送車（三菱キャンター4WD・3 t ロングボディ）配置 総務省消防庁無償使用
〃	角館消防署に資機材搬送車（いすゞエルフ4WD・2 t ロングボディ）を大曲消防署から移動配置
3. 27	角館消防署に救助工作車II型（いすゞフォワード4WD・消防ポンプ付・ぎ装平和機械） 購入配置 更新
4. 1	16 代目消防長に菅原達美氏就任
9. 19	角館消防署庁舎女性職員配置に伴い 79.36㎡増築
9. 20	角館消防署、南分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック4WD）購入配置 更新
12. 9	南分署に消防ポンプ自動車CD-I（いすゞ・エルフ4WD・A-2級） 購入配置 更新
26. 2. 13	消防本部予防課に広報車（トヨタ・ランドクルーザー4WD）配置 更新 総務省消防庁無償使用（機動連絡車）
3. 15	消防救急無線をデジタル化整備し運用開始
3. 27	大曲消防署に高規格救急車（ニッサン・パラメディック4WD）配置 座間市寄贈
4. 1	17 代目消防長に三浦肇氏就任
5. 7	大曲厚生医療センター内に大曲仙北救急ワークステーションを設置し運用開始 （試行期間6ヶ月、大曲消防署、南分署、協和分署、角館消防署、田沢湖分署対象）
11. 1	大曲仙北救急ワークステーション本運用開始（全署対象）
11. 10	中仙分署に高規格準拠救急車（トヨタ・ハイメディック4WD）購入配置 更新
27. 3. 27	大曲消防署に救助工作車II型（日野・レンジャー4WD・ぎ装モリタ）購入配置

27. 6. 29	大曲仙北広域消防職員配置再編計画を策定
8. 9	仙北市全域を会場として秋田県総合防災訓練が開催される
10. 13	西分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック4WD）購入配置 更新
28. 1. 21	大曲消防署に消防ポンプ自動車CD-I（日野・デュトロ4WD・A-2級・CAFS） 購入配置 更新
4. 1	条例改正により定数 291 名 18 代目消防長に森川正明氏就任
4. 23	消防本部警防課に災害対策用UAV（Phantom3 Professional）購入配備
9. 28	東分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック4WD）購入配置 更新
11. 10	中仙分署庁舎 48.85㎡増築
12. 9	西木分署庁舎 29.74㎡増築
29. 1. 25	角館消防署に水槽付消防ポンプ自動車水-Ⅱ（いすゞ・フォワード4WD・A-2級 3,000ℓ水槽）購入配置 更新
9. 17	中仙分署の勤務体制を3部制に移行
9. 17	西木分署の勤務体制を3部制に移行
10. 24	中仙分署の高規格準拠救急車へ高度救命資機材を積載し、高規格運用を開始
10. 24	西木分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック4WD）購入配置 更新
12. 27	田沢湖分署に消防ポンプ自動車CD-I（日野・デュトロ4WD・A-2級・CAFS） 購入配置 更新
30. 2. 1	消防本部警防課に指揮車（トヨタ・レジアスエース4WD）購入配置 更新
3. 23	消防本部新庁舎に高機能消防指令センター（Ⅱ型）完成 運用開始
4. 1	19 代目消防長に鈴木良則氏就任
5. 25	消防本部・大曲消防署新庁舎庁舎棟完成引渡
6. 11	消防本部・大曲消防署新庁舎移転運用開始
9. 19	西仙北分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック4WD）購入配置 更新
12. 13	南分署庁舎 28.71㎡増築
31. 4. 25	消防本部・大曲消防署新庁舎訓練棟完成引渡 消防本部・大曲消防署新庁舎竣工
R 1. 5. 28	消防本部警防課に災害対策用UAV（Phantom4 ADVANCED+）購入配備
11. 27	大曲消防署にはしご付き消防ポンプ自動車（伸縮水路管付き35m級）購入配置 更新 田沢湖分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック4WD）購入配置 更新
12. 18	西仙北分署庁舎 56.64㎡増築
2. 1. 15	西木分署に消防ポンプ自動車CD-I（日野・デュトロ4WD・A-2級・CAFS） 購入配置 更新
4. 1	20 代目消防長に佐藤広樹氏就任

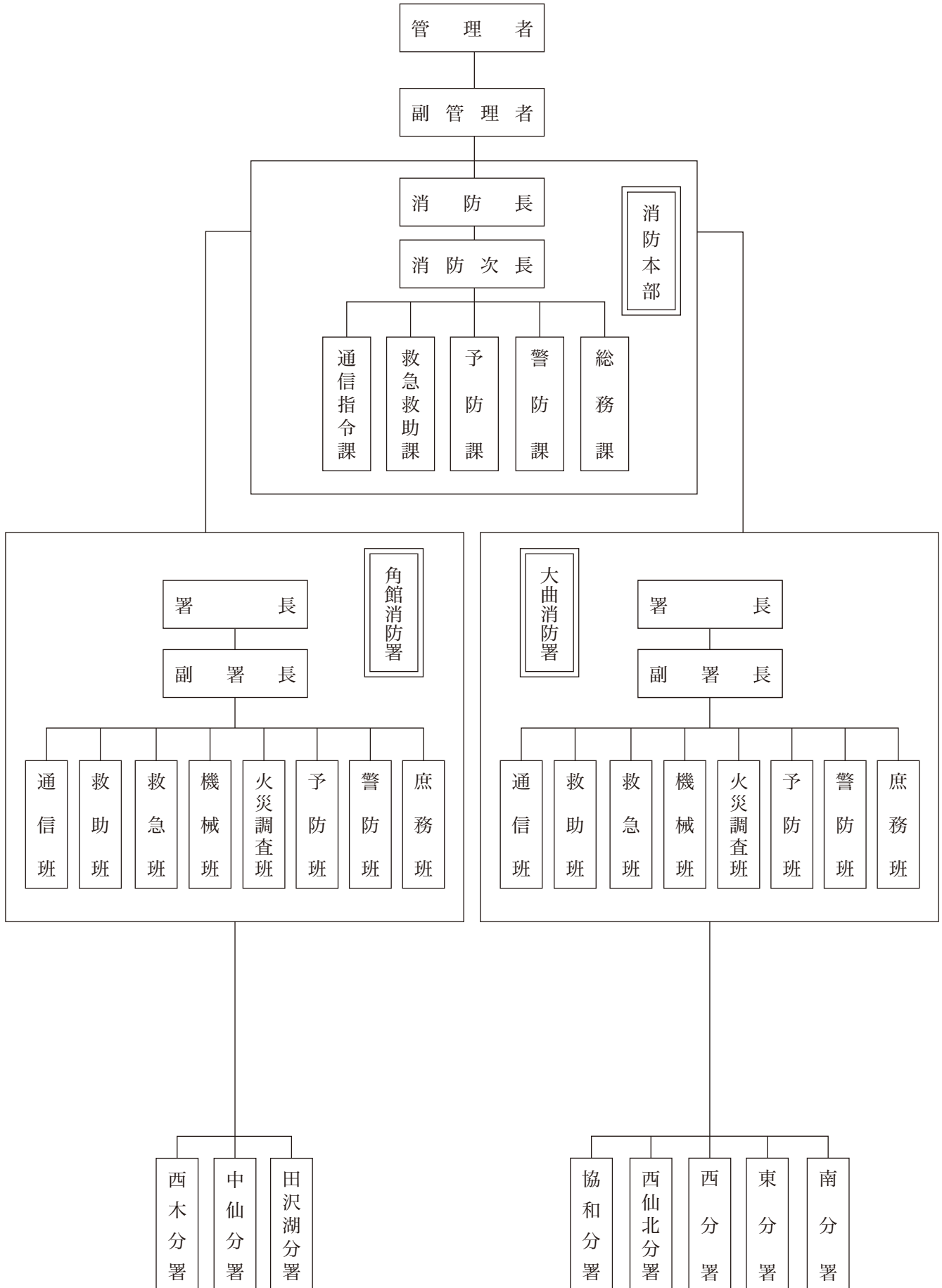
# 総務課関係



県南3消防本部女性消防職員懇談会  
第1回 開催地 大曲仙北広域消防本部  
令和2年2月25日



# 消防組織図



# 消防本部事務分掌

## 総務課

### •総務班

- (1) 組織及び運営に関すること。
- (2) 職員の任免、承認、賞罰、服務その他身分に関すること。
- (3) 職員の福利厚生に関すること。
- (4) 職員の公務災害補償手続に関すること。
- (5) 公印の新調、改廃及びその手続に関すること。
- (6) 条例、規則等の制定、改廃及び公布に関すること。
- (7) 文書の収受、発送及び整理保存に関すること。
- (8) 予算、決算及び経理に関すること。
- (9) 職員の給与に関すること。
- (10) 物品の調達、被服等の給貸与に関すること。
- (11) 儀式に関すること。
- (12) 消防職員委員会に関すること。
- (13) その他、他課に属さない事項に関すること。

## 警防課

### •警防班

- (1) 水火災その他の災害の警戒及び防ぎよに関すること。
- (2) 職員及び消防団員の教養並びに訓練に関すること。
- (3) 警防計画に関すること。
- (4) 消防地理水利の調査及び保全に関すること。
- (5) 火災警報発令、解除及び気象情報に関すること。
- (6) 各関係機関と結ぶ協定に関すること。
- (7) 消防相互応援協定に関すること。
- (8) 緊急消防援助隊に関すること。
- (9) 消防車両の整備に関すること。
- (10) 消防機械器具に関すること。
- (11) 消防統計に関すること。
- (12) その他、警防に関すること。



- 救 助 班

- (1) 救助業務計画に関すること。
- (2) 救助技術及び訓練に関すること。
- (3) 救助統計に関すること。
- (4) その他、救助に関すること。

## 予 防 課

- 予 防 班

- (1) 火災予防の立入検査に関すること。
- (2) 火災予防の広報及び企画に関すること。
- (3) 消防法令に適合している旨の通知書の交付に関すること。
- (4) 立入検査計画及び技術に関すること。
- (5) 建築同意事務の指導に関すること。
- (6) 防火対象物の違反指導に関すること。
- (7) 特定防火対象物等の意見書に関すること。
- (8) 防火対象物に係る特例認定に関すること。
- (9) 防火管理者の資格取得講習及び指導に関すること。

- 危険物班

- (1) 危険物製造所等の許可、承認等に関すること。
- (2) 危険物製造所等の立入検査に関すること。
- (3) 危険物取扱者及び危険物保安監督者の指導に関すること。
- (4) 予防規程の認可に関すること。
- (5) 液化石油ガス販売事業等の許可に対する意見に関すること。
- (6) 火薬類の販売及び設置の許可に対する意見に関すること。
- (7) 危険物関係事故の原因調査及び報告に関すること。
- (8) その他、危険物全般に関すること。

- 火災調査班

- (1) 火災の原因及び損害調査に関すること。
- (2) 警察との連絡に関すること。
- (3) その他、調査全般に関すること。

## 救急救助課

- (1) 救急業務の管理及び計画に関すること。
- (2) 救急技術の指導、訓練及び教育に関すること。
- (3) 救急装備品等の配置運用及び整備並びに維持管理に関すること。
- (4) 救急統計に関すること。
- (5) 救急医療機関との連絡調整に関すること。
- (6) 応急手当の普及啓発に関すること。
- (7) メディカルコントロール体制に関すること。
- (8) 救急業務の高度化推進に関すること。
- (9) その他、救急に係る救助に関すること。

## 通信指令課

- (1) 災害通報の受信及び指令業務に関すること。
- (2) 指令システム、通信施設、情報システムの整備及び管理に関すること。
- (3) 消防無線、通信施設及び情報システムの整備及び管理に関すること。
- (4) 通信業務における各種記録の管理に関すること。
- (5) 気象の観測及び警報、注意報の伝達に関すること。
- (6) 消防通信に関すること。
- (7) 救急医療情報の収集に関すること。
- (8) 報道対応に関すること。
- (9) その他、通信に関すること。

# 消防署事務分掌

## 庶務班

- (1) 令達及び例規に関すること。
- (2) 文書の収受、発送、処理及び保存に関すること。
- (3) 庁舎及び附属施設の保守管理に関すること。
- (4) 署員の衛生管理に関すること。
- (5) 行事及び会議に関すること。
- (6) 署員の福利厚生に関すること。
- (7) その他、他の班に属しないこと。

## 警防班

- (1) 火災警報発令、解除及び気象情報に関すること。
- (2) 非常警備に関すること。
- (3) 消防統計及び消防情報に関すること。
- (4) 消防地理水利の保守に関すること。
- (5) 緊急消防援助隊に関すること。
- (6) その他警防に関すること。

## 予防班

- (1) 火災予防の査察及び普及広報に関すること。
- (2) 火災予防条例の規定による届出に関すること。
- (3) 建築同意事務に関すること。
- (4) 工事整備対象設備等の着工届及び検査に関すること。
- (5) 危険物に関すること。
- (6) 防火対象物の管理指導及び訓練に関すること。
- (7) その他予防に関すること。

## 火災調査班

- (1) 火災の原因及び損害調査に関すること。
- (2) 警察との連絡に関すること。
- (3) 火災調査全般に関すること。

## **機 械 班**

- (1) 消防機械器具の整備計画に関すること。
- (2) 消防機械器具の改善研究に関すること。
- (3) 消防機械器具の運用技術の指導に関すること。
- (4) 消防車両の燃料に関すること。
- (5) 庁舎車両の保守管理に関すること。

## **救 急 班**

- (1) 救急装備品等の保管及び管理に関すること。
- (2) 応急手当の普及啓発に関すること。
- (3) 救急の搬送証明に関すること。
- (4) 救急出動の記録及び救急統計に関すること。
- (5) その他救急業務に必要な事項に関すること。

## **救 助 班**

- (1) 災害救助活動に関すること。
- (2) 救助資機材の点検整備及び保全に関すること。
- (3) 救助訓練に関すること。
- (4) 救助出動の記録及び救助統計に関すること。
- (5) 山岳及び水難救助に関すること。
- (6) 緊急消防援助隊装備品の管理及び保全に関すること。
- (7) その他救助業務に必要な事項に関すること。

## **通 信 班**

- (1) 消防通信の統制及び通信機器の整備保全に関すること。

# 消 防 庁 舎 の 現 況

(令和2年4月1日現在)

区 分 署 別	現 住 所	電話番号	敷地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	延面積 (㎡)	建築完成 年月日 (増改築等)
消 防 本 部	〒014-0061 大仙市大曲栄町13-47	0187 63-0150	4,690.66	1,484.92	4,300.82	H30.5.25
大曲消防署		0187 63-0151				
南 分 署	〒019-1237 美郷町佐野字倉合172	0187 87-8119	4,109.00	494.29	598.46	H16.10.20 (H30.12.13)
東 分 署	〒019-1602 大仙市太田町三本扇 字野沢268-9	0187 88-2119	4,098.23	482.04	516.22	H13.11.30
西 分 署	〒019-1853 大仙市南外字坊田黒沢152	0187 73-1197	4,382.87	554.43	659.36	H20.11.26
西仙北分署	〒019-2112 大仙市刈和野 字上ノ台荒屋敷134-42	0187 75-1119	1,381.20	356.35	356.35	H10.11.12 (R 1.12.18)
協 和 分 署	〒019-2413 大仙市協和上淀川 字中嶋17-1	018 892-3119	1,388.99	328.25	325.77	H3.8.10 (H25.2.28)
角館消防署	〒014-0378 仙北市角館町西野川原25-10	0187 54-2302	2,903.54	580.05	819.50	H3.12.3 (H25.9.19)
田沢湖分署	〒014-1201 仙北市田沢湖生保内 字上清水674	0187 43-1139	1,829.50	414.80	410.81	H5.12.3 (H24.8.10)
中 仙 分 署	〒014-0203 大仙市北長野字茶畑96	0187 56-4119	1,431.00	348.79	348.79	H6.3.31 (H28.11.10)
西 木 分 署	〒014-0602 仙北市西木町桧木内 字高屋132-1	0187 48-2324	2,054.00	329.26	329.26	H7.11.22 (H28.12.9)

## 令和2年度消防費（当初予算）

（歳出）

款	項	目	区 分 ・ 金 額	千円
5. 消防費	1. 消防費			2,659,192
		1. 常備消防費		2,246,784
			1. 報 酬	0
			2. 給 料	933,783
			3. 職 員 手 当	648,650
			4. 共 済 費	442,004
			8. 報 償 費	90
			9. 旅 費	8,480
			10. 交 際 費	50
			11. 需 用 費	81,048
			12. 役 務 費	22,613
			13. 委 託 料	81,428
			14. 使用料及び手数料	9,170
			16. 原 材 料 費	80
			18. 備 品 購 入 費	3,689
			19. 負担金補助及び 交 付 金	14,198
			27. 公 課 費	1,501
		2. 施設整備費		412,408
			9. 旅 費	307
			13. 委 託 料	1,309
			15. 工 事 請 負 費	23,399
			18. 備 品 購 入 費	387,393

## 最近5年間の構成市町消防費負担金（当初予算）

（単位：千円）

市町名 \ 年度	令和2年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
大 仙 市	1,393,553	1,706,329	1,987,714	4,441,530	1,575,884
仙 北 市	840,517	779,161	624,863	1,216,464	608,319
美 郷 町	403,686	570,219	416,597	815,681	402,494
合 計	2,637,756	3,055,709	3,029,174	6,473,675	2,586,697

## 令和2年度構成市町予算額に対する消防予算額（当初予算）

（単位：千円）

市町名 \ 区分	市町総予算額 (A)	市町消防予算額 (B)	比 率 B/A %	常備消防費 (C)	比 率 C/A %
大 仙 市	42,406,200	1,681,140	3.96	1,393,553	3.29
仙 北 市	21,460,000	1,039,042	4.84	840,517	3.92
美 郷 町	11,104,396	462,072	4.16	403,686	3.64
合 計	74,970,596	3,182,254	4.24	2,637,756	3.52

# 職 員 配 置 状 況

(令和2年4月1日現在)

		消防正監	消防監	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	計
現 在 数		1	3	12	42	57	39	57	79	290
消 防 本 部		1	1	5	7	4	5	7		30
大 曲 消 防 署 管 内	大曲消防署		1	3	4	14	5	13	20	60
	南 分 署			1	3	5 (2)	4 (1)	5	8	26
	東 分 署				4	4 (1)	3 (1)	2	8	21
	西 分 署				4	3 (1)	5 (1)	3	6	21
	西仙北分署				3	2	4 (1)	3	6	18
	協 和 分 署				3	3	4 (1)	3	5	18
角 館 消 防 署 管 内	角館消防署		1	3	3	10	1	10	7	35
	田沢湖分署				4	4	3	4	6	21
	中 仙 分 署				3	4	2	4	7	20
	西 木 分 署				3	3	3 (2)	3	6	18
他 機 関 派 遣					1	1				2

※( )は再任用



## 職員階級別年齢表

(令和2年4月1日現在)

階級 年 齢	計	消防正監	消防監	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士
20 才 未 満	9								9
20才以上～25才未満	49								49
25才以上～30才未満	60							39	21
30才以上～35才未満	32						14	18	
35才以上～40才未満	21					4	17		
40才以上～45才未満	18					17	1		
45才以上～50歳未満	33				3	30			
50才以上～55才未満	24			1	22	1			
55 才 以 上	33	1	3	11	17	1			
再 任 用	11					4	7		
計	290	1	3	12	42	57	39	57	79
平均年齢(再任用除く)	36.0	56.0	58.3	57.1	53.4	44.5	35.1	28.4	22.6

## 職員勤続年数表

(令和2年4月1日現在)

階級 年 数	計	消防正監	消防監	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士
1 年 未 満	11								11
1年以上～5年未満	50							3	47
5年以上～10年未満	68						7	40	21
10年以上～15年未満	33					2	17	14	
15年以上～20年未満	11					3	8		
20年以上～25年未満	20				2	18			
25年以上～30年未満	28				1	27			
30 年 以 上	58	1	3	12	39	3			
再 任 用	11					4	7		
計	290	1	3	12	42	57	39	57	79
平均年数(再任用除く)	16.0	38.0	40.3	38.6	34.0	24.9	12.1	7.9	3.2

# 消防職員意見発表会出場者

(県大会以上)

年次	出場者名	所属(当時)	成績		
			県大会	東北大会	全国大会
昭和53年	高川恒雄	大曲消防署	入賞		
昭和54年	大澤善樹	中仙分署	優秀賞		
昭和55年	加藤隆一	大曲消防署	努力賞		
昭和56年	佐々木邦夫	西木分署	優秀賞		
昭和57年	門脇民夫	西木分署	入賞		
昭和58年	長澤典雄	仙北分署	最優秀賞	優秀賞	
昭和59年	原茂樹	仙北分署	優秀賞		
昭和60年	佐藤良美	仙北分署	優秀賞		
昭和61年	鈴木良則	仙北分署	最優秀賞	優秀賞	
昭和62年	鈴木尚老	仙北分署	優秀賞		
昭和63年	柏谷伸幸	仙北分署	優秀賞		
平成元年	栗林一吉	田沢湖分署	優秀賞		
平成2年	伊藤定夫	南外分署	最優秀賞	最優秀賞	入賞
平成3年	伊藤清隆	協和分署	最優秀賞	優秀賞	
平成4年	山崎慎	六郷分署	入賞		
平成5年	伊藤博文	田沢湖分署	優秀賞		
平成6年	戸島浩樹	神岡分署	最優秀賞	優秀賞	
平成7年	畠山満輝	角館消防署	入賞		
平成8年	武藤亮幸	大曲消防署	入賞		
平成9年	稲葉和也	大曲消防署	入賞		
平成10年	八木克司	六郷分署	優秀賞		
平成11年	後藤恵太	神岡分署	最優秀賞	入賞	
平成12年	小松知巳	角館消防署	最優秀賞	最優秀賞	入賞
平成13年	鈴木一伊	大曲消防署	優秀賞		
平成14年	伊藤岳	大曲消防署	最優秀賞	入賞	
平成15年	小友亘	大曲消防署	入賞		
平成16年	田口勝彦	大曲消防署	優秀賞		
平成17年	清水川良弘	角館消防署	入賞		
平成18年	高橋俊幸	角館消防署	優秀賞		
平成19年	佐藤玲緒奈	大曲消防署	入賞		
平成20年	進藤秀俊	西仙北分署	優秀賞		
平成21年	高野和春	角館消防署	入賞		
平成22年	河原智海	大曲消防署	入賞		
平成23年	高橋洋平	中仙分署	優秀賞		
平成24年	佐藤勝昭	田沢湖分署	最優秀賞	入賞	
平成25年	阿部和範	西木分署	最優秀賞	入賞	
平成26年	中谷壮志	大曲消防署	最優秀賞	入賞	
平成27年	新田理沙	角館消防署	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞
平成28年	石郷岡美幸	角館消防署	最優秀賞	優秀賞	
平成29年	茂木雄大	東分署	最優秀賞	入賞	
平成30年	吉田瑞穂	角館消防署	最優秀賞	最優秀賞	入賞
平成31年	藤井和磨	角館消防署	最優秀賞	優秀賞	
令和2年	齊藤佳祐	大曲消防署	優秀賞		

# 警 防 関 係

令和元年度新たに更新配備となった車両



大曲消防署配備  
はしご付き消防ポンプ自動車 (35m級)



角館消防署西木分署配備  
消防ポンプ自動車 (CD-1 CAFS搭載)



角館消防署田沢湖分署配備  
高規格救急車



# 消防車両及び無線局配置状況

(令和2年4月1日現在)

区分 所属		消防ポンプ自動車・その他の車両												無線局（デジタル）				
		車両 総計	ポン プ車	水槽付 ポンプ車	は しご 車	化 学 車	救 助 工 作 車	救 急 車	指 揮 車	広 報 ・ 連 絡 車 等	資 機 材 搬 送 ・ 燃 料 補 給	ボ ー ト ト レ ー ラ ー	救 助 艇	基 地 局	移 動 局			
															可 搬 型	卓 上 型	車 載	携 帯
計		50	14	2	2	1	2	12	3	11	3	1	2	7	1	10	50	67
消 防 本 部		4							1	3				1	1		3	3
大 曲 消 防 署 管 内	大曲消防署	12	2	1	1	1	1	3	1		2	1	1			1	13	13
	南 分 署	4	2					1		1						1	4	6
	東 分 署	4	2					1		1						1	4	6
	西 分 署	4	2					1		1				1		1	4	6
	西仙北分署	3	1					1		1				1		1	3	5
	協 和 分 署	3	1					1		1				1		1	3	5
角 館 消 防 署 管 内	角館消防署	6	1	1			1	1	1		1		1	1		1	6	7
	田沢湖分署	4	1		1			1		1				1		1	4	6
	中仙分署	3	1					1		1						1	3	5
	西木分署	3	1					1		1				1		1	3	5

# 現有車両明細

(令和2年4月1日現在)

区分 所属	種別	車両 メーカー	車両番号	年式	機装 メーカー	車齢 (年度)	摘要		
消防本部	公用車	トヨタ	秋田 300 た 2445	H14		17			
	指揮車	トヨタ	秋田 830 す 1801	H30		2	警防課		
	機動連絡車	トヨタ	秋田 800 す 1940	H26		6	予防課 総務省消防庁無償使用車両		
	指揮・連絡車	トヨタ	秋田 830 す 1108	H23		8			
大曲消防署	水槽付きポンプ車	いすゞ	秋田 831 た 119	H16	モリタ	16	水-II型 (水槽3,000ℓ)		
	ポンプ1号車	日野	秋田 830 さ 1601	H28	モリタ	4	CD-I型 (CAFS装置付き) 水槽600ℓ		
	ポンプ2号車	日野	秋田 830 す 1101	H23	モリタ	9	CD-I型 (非常用予備車)		
	救助工作1号車	日野	秋田 830 さ 1503	H27	モリタ	5	救助工作車II型		
	はしご車	日野	秋田 830 す 1911	R1	モリタ	0	35m級先端屈折伸縮水路管付き		
	化学車	日野	秋田 800 は 135	H13	岩手 ポンプ	18	化学-I型 (水槽1000ℓ、 薬液槽300ℓ×2)		
	資機材搬送車	三菱	秋田 800 す 1371	H25		7	総務省消防庁無償使用車両		
	指揮・連絡車	三菱	秋田 830 さ 1007	H22		9			
	燃料補給車	三菱	秋田 800 す 1072	H24		7	軽油990ℓ 総務省消防庁無償使用車両		
	救急1号車	トヨタ	秋田 831 に 119	H22		10	高規格救急車		
	救急2号車	トヨタ	秋田 831 と 119	H19		11	2B型救急車(非常用救急車)		
	救急3号車	トヨタ	秋田 831 は 119	H23		8	2B型救急車		
	管内	南分署	ポンプ1号車	日野	秋田 830 さ 1201	H24	モリタ	8	CD-I型 (CAFS装置付き) 水槽600ℓ
			ポンプ2号車	いすゞ	秋田 830 す 1312	H25	モリタ	6	CD-I型
救急車			トヨタ	秋田 831 や 119	H25		6	高規格救急車	
連絡車			トヨタ	秋田 830 す 907	H21		10		
東分署		ポンプ1号車	日野	秋田 830 そ 1001	H22	モリタ	10	CD-I型 (CAFS装置付き) 水槽600ℓ	
		ポンプ2号車	日野	秋田 830 す 802	H20	モリタ	12	CD-I型	
		救急車	トヨタ	秋田 830 さ 1609	H28		3	高規格救急車	
		連絡車	トヨタ	秋田 830 さ 907	H21		10		

所属	区分	種別	車 両 メーカー	車 両 番 号	年式	機 装 メーカー	車 齢 (年度)	摘 要	
大 曲 消 防 署 管 内	西 分 署	ポンプ1号車	日 野	秋田830そ 1101	H23	モリタ	9	CD-I型 (CAFS装置付き) 水槽600ℓ	
		ポンプ2号車	日 野	秋田800さ 6698	H18	モリタ	14	CD-I型	
		救 急 車	トヨタ	秋田830さ 1510	H27		4	高規格救急車	
		連 絡 車	トヨタ	秋田830す 810	H20		11		
	西 仙 北 分 署	ポ ン プ 車	日 野	秋田830た 1212	H24	モリタ	7	CD-I型 (CAFS装置付き) 水槽600ℓ	
		救 急 車	トヨタ	秋田830さ 1809	H30		1	高規格救急車	
		連 絡 車	トヨタ	秋田830す 1007	H22		9		
	協 和 分 署	ポ ン プ 車	日 野	秋田830た 1001	H22	モリタ	10	CD-I型 (CAFS装置付き) 水槽600ℓ	
		救 急 車	トヨタ	秋田831ほ 119	H24		7	高規格救急車	
		連 絡 車	トヨタ	秋田800さ 7971	H19		12		
	角 館 消 防 署 管 内	角 館 消 防 署	水槽付きポンプ車	いすゞ	秋田830さ 1701	H29	長野ポンプ	3	水-II型 (水槽3,000ℓ)
			ポ ン プ 車	日 野	秋田830せ 1101	H23	モリタ	9	CD-I型 (CAFS装置付き) 水槽600ℓ
救助工作車			いすゞ	秋田830す 1303	H25	平和機械	7	救助工作車II型、消防ポン プ積載	
資機材搬送車			いすゞ	秋田830さ 909	H21		10		
指揮・連絡車			ニッサン	秋田830さ 1108	H23		8		
救 急 車			トヨタ	秋田831も 119	H25		6	高規格救急車	
田 沢 湖 分 署		ポ ン プ 車	日 野	秋田830す 1712	H29	モリタ	2	CD-I型 (CAFS装置付き) 水槽600ℓ	
		は し ご 車	いすゞ	秋田 88ゆ 938	H6	モリタ	24	30m級	
		救 急 車	トヨタ	秋田830さ 1911	R1		0	高規格救急車	
		災害対策支援車	三 菱	秋田830せ 707	H19		11		
		中 仙 分 署	ポ ン プ 車	いすゞ	秋田830さ 2004	H16	モリタ	15	CD-I型
			救 急 車	トヨタ	秋田831ら 119	H26		5	高規格救急車
			連 絡 車	トヨタ	秋田830せ 1007	H22		9	
西 木 分 署		ポ ン プ 車	三 菱	秋田830つ 2001	R2	モリタ	0	CD-I型 (CAFS装置付き) 水槽600ℓ	
		救 急 車	トヨタ	秋田830さ 1709	H29		2	高規格救急車	
		連 絡 車	トヨタ	秋田830せ 907	H21		10		

# 火 災 出 動 区 分

## 大曲消防署管内

発生場所		区 分	第 1 出 動	第 2 出 動	第 3 出 動	出 動 台 数			
						第1	第2	第3	
大 仙 市	大 地 曲 域	市街地No.1	大曲(2) 南(1) 西(1) 東(1)	南(1) 中仙	東(1) 角館(1)	5	7	9	
		市街地No.2	大曲(2) 南(2) 西(1)	東(1) 中仙	西(1) 角館(1)	5	7	9	
		花 館	大曲(2) 南(1) 西(2)	東(1) 中仙	角館(1)	5	7	8	
		角間川・ 藤 木	大曲(2) 南(2) 西(1)	東(1) 西(1)	東(1)	5	7	8	
		四 ツ 屋	大曲(2) 西(2) 中仙	南(1) 東(1)	角館(1)	5	7	8	
		内小友・ 大川西根	大曲(2) 南(1) 西(1)	南(1) 西(1)	中仙	4	6	7	
	神 岡 地 域		西(2) 西仙北	大曲(1) 協和	中仙	3	5	6	
	西 仙 北 地 域	土 川 以 外	西仙北 西(1) 協和	大曲(1) 西(1)	中仙	3	5	6	
		土 川	西仙北 西(1) 中仙	大曲(1) 角館(1)	東(1)	3	5	6	
	太 地 田 域	長 信 田	東(2) 中仙	大曲(1) 角館(1)	南(1)	3	5	6	
		横 沢 ・ 国 見	東(2) 中仙	角館(1) 南(1)	大曲(1)	3	5	6	
	仙 北 地 域	高 梨	東(2) 大曲(1) 南(1)	南(1) 中仙	大曲(1)	4	6	7	
		横 堀	東(2) 大曲(1) 中仙	角館(1) 南(1)	大曲(1)	4	6	7	
	協 和 地 域	荒 川	協和 西仙北 角館(1)	大曲(1) 西(1)	西(1)	3	5	6	
		荒川以外	協和 西(1) 西仙北	大曲(1) 角館(1)	西(1)	3	5	6	
	南 外 地 域	南 檜 岡	西(2) 大曲(1)	西仙北 南(1)	中仙	3	5	6	
		外 小 友	西(2) 大曲(1)	南(1) 西仙北	大曲(1)	3	5	6	
	美 郷 町	六 郷 地 域		南(2) 東(1)	大曲(1) 東(1)	大曲(1)	3	5	6
		千 畑 地 域	千 屋	東(2) 南(1)	大曲(1) 中仙	南(1)	3	5	6
			畑 屋	東(2) 南(1)	大曲(1) 南(1)	大曲(1)	3	5	6
仙 南 地 域		南(2) 大曲(1)	大曲(1) 東(1)	西(1)	3	5	6		



## 角館消防署管内

発生場所		区分	第1出動	第2出動	第3出動	出動台数		
						第1	第2	第3
大仙市	中仙地域		中仙 角館(1) 東(1)	大曲(1) 東(1)	南(1)	3	5	6
仙北市	角館地域	角 館	角館(2) 中仙	西木 東(1)	大曲(1) 田沢湖	3	5	7
		白 岩	角館(2) 中仙	田沢湖 東(1)	東(1)	3	5	6
		雲 沢	角館(2) 中仙	西木 東(1)	西仙北	3	5	6
		中 川	角館(2) 中仙	西木 東(1)	東(1)	3	5	6
	田沢湖地域		田沢湖 角館(1) 西木	中仙 東(1)	大曲(1)	3	5	6
	西木地域	上・下 桧木内	西木 角館(1) 田沢湖	中仙 東(1)	大曲(1)	3	5	6
		西明寺	西木 角館(1) 中仙	田沢湖 東(1)	大曲(1)	3	5	6

※ ( ) 内は出動台数とする。

※ 指令により火災発生場所の第1出動隊は、直ちに出動すること。  
危険区域は、第2出動を第1出動とする。

※ 火災規模・種別・その他の状況により隊編成が変更となる。

※ 救助工作車・はしご自動車・化学車の出動については、個別指令により運用する。

※ 特定地域については、次のとおりとする。  
なお、細部については隣接する所属において決定運用する。  
市街地No.1 ……丸子川以北地域の出動編成  
市街地No.2 ……丸子川以南地域の出動編成

※ 圏外応援出動 南分署(1) ……横手市金沢本町、金沢中野、安本、黒川、寺村  
南分署(1) ……横手市大雄地区(福島、野崎地内)  
大曲消防署(1) ……横手市大森地区(板井田地内)

※ 上記出動区分はあくまでも基準であり、災害発生時には災害状況に応じ、管轄車両及び現場直近車両等を指令システムにより選定し、運用されるものである。

# 消防・救助用特殊資機材一覧表

(令和2年4月1日現在)

種 別	消防本部	大曲管内	角館管内	合計	種 別	消防本部	大曲管内	角館管内	合計
画像探索機Ⅰ型		1		1	ハンマードリル		2	1	3
画像探索機Ⅱ型		1		1	携帯用コンクリート破壊器具		2	2	4
地中音響探知機		1		1	削岩機		2		2
熱画像直視装置		6	4	10	ペダルカッター			1	1
夜間暗視装置		1		1	マット型空気ジャッキ		1	2	3
放射線測定器 (サーベイメーター)	9	2	1	12	可搬式ウインチ		4	4	8
放射線個人線量計	4	14	12	30	車両移動器具 (ゴージャック)		2	1	3
可燃性・有毒ガス・ 酸素測定器		3	5	8	空気式救助マット		1	2	3
送排風機		1	2	3	マンホール救助器具 (救助用支点器具)		1	1	2
耐熱服		4		4	緩降機		2	1	3
放射線防護服		3		3	三連はしご		11	8	19
化学防護服 (レベル A 対応)		5		5	ワイヤーはしご		1	1	2
化学防護服 (レベル A 対応以外)		5	9	14	バスケット担架		5	3	8
防毒衣			3	3	携帯 GPS			4	4
防毒マスク		26	29	55	平担架		1	1	2
除染シャワー		1		1	サーバイバースリング		2	3	5
帯電用具		9	4	13	救命索発射銃		1		1
大型油圧救助器具		3	1	4	インパルス消火装置			3	3
電動救助工具 (マルチカッター)		1	1	2	背負式消火水のう (ジェットシューター)		78	28	106
ポートパワー			2	2	空気呼吸器		67	37	104
プランジャーラム		1		1	酸素呼吸器			4	4
エンジンカッター		3	3	6	簡易呼吸器		2		2
チェーンソー		9	6	15	電動ソー		2	3	5
エアーツール		1	1	2	救助艇		2	1	3
充電式鉄線カッター		1		1	救命胴衣	4	97	25	126
ガス溶断機		1	1	2	災害対策用 UAV (ドローン)		1	1	2

# 職員の免許等取得状況

(令和2年4月1日現在)

階級別 免許・資格別	計	消防 正監	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士
大型自動車	213	1	2	12	35	54	33	51	25
中型自動車(8t限定)	155	1	3	12	42	56	35	6	
準中型自動車	5								5
準中型自動車(5t限定)	113					1	4	52	56
大型特殊自動車	65			4	15	14	13	13	6
自動二輪	55			3	12	17	12	7	4
けん引車	12			1	3	5	1	2	
小型車両系建設機械	115			9	24	31	17	26	8
車両系建設機械	13			1	6	3	1	2	
小型移動式クレーン	39			1	6	18	6	6	2
玉掛け技能	44		1	2	7	16	9	7	2
小型船舶操縦士	56			3	11	17	13	11	1
特殊無線技士	243	1	1	6	34	53	33	57	58
酸素欠乏・硫化水素 危険作業主任者	26				6	7	5	8	
特定化学物質作業主任者(EOG)	17			1	3	8	2	3	
アマチュア無線技士	39		1	7	18	12	1		
衛生管理者	9			3	1	4	1		
電気工事士	9				1	1	1	2	4
アセチレンガス溶接士	24			1	4	13	5		1
ボイラー技士	7			2	1	2	1	1	
消防設備士	35			4	7	8	5	5	6
危険物取扱者 甲	10				1	2	3	3	1
危険物取扱者 乙	245	1	2	10	27	53	34	56	62
危険物取扱者 丙	17				11	2	1	2	1
商業簿記三級以上	23				2	5	5	2	9
救急救命士	62			2	3	18	17	16	6
救急課程	226	1	3	9	39	49	32	50	43
応急手当指導員	222	1	3	12	42	56	38	53	17
石油機器技術者	11			3	1	4	1	2	
潜水士	32				7	11	7	5	2
予防技術検定(消防用設備等)	20		2	2	7	4	4	1	
予防技術検定(査察)	63		1	2	11	13	14	19	3
予防技術検定(危険物)	18		1		4	7	4	1	1

# 職員教養訓練実施状況

(令和元年度)

区分		階級別	延べ人員	回数	消防司令上長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
学校 教育 等	消防 大学 校	上級幹部科								
		幹部科	1			1				
		警防科								
		予防科								
		救急科								
		救助科	1				1			
		国民保護コース	2			2				
	救急救命研修所	4								
	県 消防 学校	初任教育	11							11
		警防科	3							3
		予防科	3						3	
		火災調査科	4						2	2
		救急科	14							14
		救助科	4						1	3
		特殊災害科	2					2		
		救急特別講習	4					4		
		追加処置認定講習	4						3	1
		ビデオ喉頭鏡追加講習	7					3	4	
		幹部教育	2				2			
		消防操法指導員講習	6				1	3	2	
緊急自動車運転技能者講習		1					1			
本部・署 教育訓練 実務	機関講習	2,393	462	34	371	505	344	351	788	
	救助艇操縦講習	44	4		2	6	13	9	14	
	交通法規講習	667	45	9	43	155	89	113	258	
	火災防ぎょ訓練	2,670	278	48	354	486	341	440	1,001	
	救助訓練	2,522	338	6	170	593	352	448	953	
	訓練礼式	2,469	211	22	216	481	350	461	939	
	函上訓練	1,537	156	15	228	306	221	210	557	
	消防操法	2,598	216	30	392	553	353	356	914	
	救急隊員講習	2,509	479		158	548	423	405	975	

# 消 防 水 利 の 状 況

(令和2年4月1日現在)

地 域 別	水 利 合 計	消 火 栓		防 火 水 槽				プ ー ル	指 定 消 防 水 利
		公 設	私 設	有 蓋		無 蓋			河 川 池・沼 井戸等
				4 0 t 以 上	4 0 t 未 満	4 0 t 以 上	4 0 t 未 満		
大仙市	2,463	1,238	7	1,010	172	1		32	3
仙北市	992	598	10	331	38	2	1	12	
美郷町	986	704		229	47	1		5	
合 計	4,441	2,540	17	1,570	257	4	1	49	3

# 緊急消防援助隊

緊急消防援助隊は、平成7年（1995年）1月17日の阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、国内で発生した地震等の大規模災害時における人命救助活動をより効果的かつ迅速に実施し得るよう、全国の消防機関相互による援助体制を構築するため、全国の消防本部の協力を得て、平成7年6月に創設されました。

この緊急消防援助隊は、平常時においては、それぞれの地域（市町村）における消防責任の遂行に全力を挙げる一方、いったん、国内のどこかにおいて大規模災害が発生した場合には、消防庁長官の求め・指示により全国から当該災害に対応するための消防部隊が被災地に集中的に出動し、人命救助等の消防活動を実施するというシステムです。

## 緊急消防援助隊の登録状況（令和2年4月1日現在）

部隊種別	県指揮隊	消火部隊	救助部隊	救急部隊	後方支援部隊	合計
登録隊数	1隊	5隊	1隊	1隊	3隊	11隊

## 緊急消防援助隊の派遣状況（令和2年4月1日現在）

### ●平成20年岩手・宮城内陸地震

派遣期間	平成20年6月14日～17日（4日間）					
出動先	岩手県奥州市、宮城県栗原市					
活動概要	岩手県奥州市に出動するが、活動拠点（奥州市水沢公園）にて宮城県栗原市への転戦指示を受け駒ノ湯温泉における行方不明者の検索救助活動および栗駒スポーツセンターでの救急搬送支援活動にあたる。					
派遣規模	県指揮隊	消火隊	救助隊	救急隊	後方支援隊	合計
	1隊4名	1隊5名	1隊5名	1隊3名	1隊4名	5隊21名 (のべ20隊84名)

### ●岩手県沿岸北部を震源とする地震

派遣期間	平成20年7月24日（1日間）					
出動先	岩手県久慈市					
活動概要	進出拠点（盛岡市アイスアリーナ）にて待機する。					
派遣規模	県指揮隊	消火隊	救助隊	救急隊	後方支援隊	合計
	1隊3名	1隊5名	1隊5名	－	1隊2名	4隊15名 (のべ4隊15名)

### ●東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）

派遣期間	平成23年3月11日～4月28日（うち30日間）					
出動先	岩手県宮古市（3月11日～）、宮城県南三陸町（4月13日～）					
活動概要	岩手県宮古市	指揮隊・救助隊・消火隊は行方不明者の検索救助活動及び消火活動にあたる。救急隊は救急対応にあたる。				
	宮城県南三陸町	救急隊による救急活動にあたる。				
派遣規模 (1次隊～8次隊まで)	県指揮隊	消火隊	救助隊	救急隊	後方支援隊	合計
	1隊9名	2隊20名	1隊15名	1隊21名	3隊20名 (隊員搬送隊含む)	8隊85名※ (のべ104隊325名)

※その他引揚支援等に20名派遣

## ●北海道胆振東部地震

派遣期間	平成30年9月6日～9月11日（6日間）					
出動先	北海道厚真町（9月6日～）					
活動概要	北海道厚真町 救助隊による行方不明者の検索救助活動にあたる。					
派遣規模 (1次隊及び2次隊)	県指揮隊	消火隊	救助隊	救急隊	後方支援隊	合計
	—	—	2隊10名※	—	—	2隊10名

※統合機動部隊救助隊として9月6日～9月10日まで1次隊が派遣となり、9月9日～9月11日まで2次隊が派遣となる。

## ●令和元年東日本台風（台風19号）

派遣期間	令和元年10月13日～10月18日（6日間）					
出動先	宮城県伊具郡丸森町（10月13日～）					
活動概要	丸森町 指揮隊・消火隊は行方不明者の検索救助活動にあたる。 救急隊は救急対応にあたる。					
派遣規模 (1次隊及び2次隊)	県指揮隊	消火隊	救助隊	救急隊	後方支援隊	合計
	1隊8名	1隊10名	—	1隊6名	1隊6名	4隊30名

※9月6日～9月10日まで1次隊が派遣となり、9月9日～9月11日まで2次隊が派遣となる。



**令和元年東日本台風に派遣となった緊急消防援助隊秋田県隊の活動状況**

## 緊急消防援助隊合同訓練への参加状況

緊急消防援助隊が発足した平成7年以降、5年ごとに全国合同訓練が実施されており、また、全国6ブロックごとに毎年地域ブロック合同訓練が実施されている。

訓練への参加状況は以下のとおりである。

訓練区分	開催年月日	開催地		参加部隊、参加状況等
第1回全国合同	H 7.11.28-29	東京都	江東区豊洲	視察
平成8年度北海道・東北ブロック	H 8.12.19-20	宮城県	仙台市	救助小隊
平成9年度北海道・東北ブロック	H 9. 7.28-29	北海道	札幌市	救助小隊
平成10年度北海道・東北ブロック	H10. 7.28-29	青森県	青森市	救助小隊
平成11年度北海道・東北ブロック	H11.11. 4- 5	岩手県	矢巾町 (消防学校)	救助小隊
平成12年度北海道・東北ブロック	H12. 8. 1- 2	秋田県	秋田市	県内応援隊として救助小隊参加
第2回全国合同	H12.10.23-24	東京都	江東区有明	救助小隊
平成13年度北海道・東北ブロック	H13.11. 6- 7	山形県	山形市	救助小隊
平成14年度北海道・東北ブロック	H14.10.30-31	福島県	福島市	救助小隊
平成15年度北海道・東北ブロック	H15.11. 6- 7	新潟県	新潟市	救助小隊
平成16年度北海道・東北ブロック	H16.10.28-29	宮城県	仙台市	新潟中越地震のため訓練中止
平成17年度北海道・東北ブロック	H17. 9. 6- 7	北海道	函館市	台風14号の影響により 参集訓練のみ実施
第3回全国合同	H17. 6.10-11	静岡県	静岡市	不参加
平成18年度北海道・東北ブロック	H18.10.19-20	青森県	八戸市	救助小隊
平成19年度北海道・東北ブロック	H19.10.18-19	岩手県	一関市	救助小隊、後方支援小隊
平成20年度北海道・東北ブロック	H20.10.15-16	秋田県	大仙市	地元開催
平成21年度北海道・東北ブロック	H21.10.13-14	山形県	鶴岡市	救助小隊、後方支援小隊
第4回全国合同	H22. 6. 4- 5	愛知県	知多市	不参加
平成22年度北海道・東北ブロック	H22.11. 8- 9	福島県	郡山市	秋田県防災訓練大仙市開催のため不参加
平成23年度北海道・東北ブロック	—	—	—	東日本大震災のため中止
平成24年度北海道・東北ブロック	H24.10. 7- 8	宮城県	利府市ほか	視察（図上訓練のみ）
平成25年度北海道・東北ブロック	H25.10.11-12	北海道	苫小牧市	都道府県指揮隊、後方支援小隊
平成26年度北海道・東北ブロック	H26.10.22-23	青森県	弘前市	都道府県指揮隊、後方支援小隊
平成27年度北海道・東北ブロック	H27.10.28-29	岩手県	北上市	救助小隊、後方支援小隊
平成28年度北海道・東北ブロック	H28.10.12-13	秋田県	能代市	指揮隊、救助小隊、後方支援小隊
平成29年度北海道・東北ブロック	H29.10. 6- 7	山形県	米沢市	指揮隊、救助小隊、後方支援小隊
平成30年度北海道・東北ブロック	H30.11.17-18	福島県	いわき市	救助小隊、後方支援小隊
平成31年度北海道・東北ブロック	—	—	—	令和元年東日本台風のため中止



# 消防相互応援協定等の締結状況

消防組織法第39条に基づくもの

(令和2年4月1日現在)

協定の名称	締結年月日	対象災害	協定等締結市町村
横手平鹿・大曲仙北広域消防相互応援協定	S48.4.1	全ての災害	横手市
仙岩トンネル及び十和田八幡平国立公園八幡平地域における消防相互応援協定	S51.10.28 (H24.4.24全部改正)	トンネル災害 及び全ての災害	盛岡地区 消防組合
仙岩トンネル及び十和田八幡平国立公園八幡平地域における消防相互応援協定に基づく覚書	S51.10.28 (H24.4.24全部改正)	トンネル災害 及び全ての災害	盛岡地区広域消 防組合消防本部
秋田自動車道消防相互応援協定	H3.7.15	高速道路災害	秋田市 横手市
秋田県広域消防相互応援協定	H6.12.1 (H29.3.27再締結)	全ての災害	秋田県内 12市町・組合
秋田県広域消防相互応援協定に基づく覚書	H6.12.1 (H29.3.27再締結)	全ての災害	秋田県内12市町・ 組合消防本部
秋田県消防防災ヘリコプター応援協定	H11.4.1	全ての災害	秋田県内 12市町・組合
日本海東北自動車道消防相互応援協定	H13.6.22	高速道路災害	秋田市
榎森トンネル消防相互応援協定	H15.8.20	トンネル災害等	北秋田市
榎森トンネル消防相互応援協定に基づく覚書	H15.8.20	トンネル災害等	北秋田市
十和田八幡平国立公園八幡平地域における消防相互応援協定	H26.3.27	秋田県広域消防 相互応援協定に 定める大規模災 害以外の災害	鹿角広域 行政組合
十和田八幡平国立公園八幡平地域における消防相互応援協定に基づく覚書	H26.3.27	秋田県広域消防 相互応援協定に 定める大規模災 害以外の災害	鹿角広域行政 組合消防本部
八幡平山頂レストハウス付近で発生した災害に対する対応体制について(3消防本部申し合わせ)	H26.4.16	八幡平山頂付近 で発生した災害	盛岡地区広域消 防組合消防本部 鹿角広域行政 組合消防本部

## その他

協定の名称	締結年月日	対象災害	協定等締結機関
鉄道災害発生時における消防活動に関する協定	H20.9.17	鉄道災害	JR秋田支社 JR盛岡支社
鉄道災害発生時における消防活動に関する協定	H20.12.25	鉄道災害	北秋田市 秋田内陸縦貫 鉄道株式会社
災害時における消防用水の確保に関する協定	H30.11.28	火災・風水害等	秋田県南地区 生コンクリート協同組合



# 予 防 関 係



文化財防火デー防災訓練  
～ 古四王神社 ～



# 市町別中高層建築物

(令和2年4月1日現在)

市町別 階数別	大 仙 市	仙 北 市	美 郷 町	計
3 階	233	72	24	329
4 階	56	11	5	72
5 階	26	15		41
6 階	2	3		5
7 階	2	1		3
8 階	2			2
9 階				
10 階	1			1
11 階	1			1
12 階	1			1
計	324	102	29	455

# 防火対象物一覽並びに立入検査状況

(令和2年4月1日現在)

用途	区分		大仙市		仙北市		美郷町		合計	
	イ	ロ	対象物数	立入検査延べ回数	対象物数	立入検査延べ回数	対象物数	立入検査延べ回数	対象物数	立入検査延べ回数
1 項	劇場、映画館等		13	5	4	4	6	23	9	
	集会場等		99	17	25	8	21	145	26	
2 項	キャバレー等									
	遊技場等		14	8	1		1	16	8	
3 項	その他風俗店等									
	カラオケボックスその他		1					1		
4 項	料理店等		11	1	9	4	1	21	6	
	飲食店等		104	52	45	55	9	158	113	
5 項	百貨店等、マーケット、店舗等		160	32	60	20	16	236	67	
	旅館、ホテル等		58	50	133	210	5	196	260	
6 項	寄宿舎、共同住宅等		701	13	159	7	42	902	31	
	特定病院		3					3		
7 項	特定診療所				3	1		3	1	
	非特定医療機関(有床)		9	2	2	2		11	4	
8 項	非特定医療機関(無床)		63	8	15	13	8	86	28	
	高齢者施設関係		82	30	32	32	33	147	66	
9 項	救護施設									
	乳児院									
10 項	障害者入所施設									
	障害者支援施設		2	1			1	3	1	
11 項	老人デイサービスセンター等		24	11	7	11	1	32	22	
	更生施設									
12 項	保育所・幼保連携型認定こども園		30	12	10	10	3	43	22	
	児童発達支援センター等		3		1	3		4	3	
13 項	障害者支援施設等		21	3	7	6	8	36	10	
	幼稚園又は特別支援学校		2	3	2	1		4	4	
14 項	各種学校等		111	3	31	27	19	161	30	
	図書館、美術館等		15	5	12	2	1	28	8	
15 項	蒸気、熱気浴場等									
	イ以外の公衆浴場		4	3	6	3	2	12	6	
16 項	車両の停車場等		2	1	4	1	1	7	2	
	神社、寺院等		88	15	32	37	39	159	52	
17 項	工場、作業場		550	113	194	70	140	884	191	
	映画スタジオ等									
18 項	自動車庫、駐車場		83	10	32	6	20	135	16	
	飛行機格納庫									
19 項	倉庫		508	74	96	19	107	711	94	
	前各号に該当しない事業所		740	66	192	37	103	1,035	109	
20 項	特定複合用途防火対象物		347	41	158	44	80	585	96	
	上記以外の複合用途対象物		176	14	42	9	51	269	24	
16の2	地下街									
16の3	雑地下街									
17 項	重要文化財、重要民俗資料等		5	3	15	2	3	23	5	
18 項	延長50メートル以上のアーケード									
合計			4,029	596	1,329	644	721	6,079	1,314	

# 防火対象物階数別一覽表

(令和2年4月1日現在)

用途	区分	広域										計	昨年 同期					
		1階	2階	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階			11階	12階	13階	14階	地階 のみ
1 項	イ ロ	劇場、映画館等	7	13	2	1											23	22
		集会場等 キャハレー等	92	48	4	1												145
2 項	イ ロ ハ	遊技場等	6	10													16	16
		その他風俗店等 カラオケボックスその他		1														1
3 項	イ ロ	料理店等	2	18	1												21	23
		飲食店等	61	87	10												158	153
4 項	イ ロ	百貨店等、マーケット、店舗等	165	61	10												236	235
		旅館、ホテル等	44	112	21	6	6	4	1	1	1						196	200
5 項	イ ロ	寄宿舎、共同住宅等	25	737	83	27	29										902	899
		(1) 特定病院 (2) 特定診療所	1	2	1												3	3
6 項	イ ロ	(3) 非特定医療機関(有床) (4) 非特定医療機関(無床)	2	5	1	3											11	11
		(1) 高齢者施設関係 (2) 救護施設 (3) 乳児院 (4) 障害者入所施設 (5) 障害者支援施設	27	52	7													86
7 項	イ ロ	(1) 老人デイサービスセンター等 (2) 更生施設	108	27	7	5											147	146
		(3) 保育所・幼保連携型認定こども園 (4) 児童発達支援センター等 (5) 障害者支援施設等	39	4	4													43
8 項	イ ロ	幼稚園又は特別支援学校	17	15	4												36	34
		各種学校等	1	3													4	4
9 項	イ ロ	図書館、美術館等 蒸気、熱気浴場等	60	71	25	5											161	161
		イ以外の公衆浴場 車両の停車場等	16	11	1												28	27
10 項	イ ロ	神社、寺院等	11	1													12	12
		工場、作業場 映画スタジオ等	4	3													7	7
11 項	イ ロ	自動車庫、駐車場 飛行機格納庫	55	103	1												159	158
		倉庫 前各に該当しない事業所	483	389	11	1											884	886
12 項	イ ロ	特定複合用途防火対象物 上記以外の複合用途対象物	100	31	1	3											135	136
		地下街 準地下街	463	243	5												711	722
13 項	イ ロ	重要文化財、重要民俗資料等 延長50メートル以上のアーケード	512	448	64	7	3	1									1,035	1,019
		延長50メートル以上のアーケード	51	468	52	12	2										585	590
14 項	イ ロ	合計	2,417	3,207	329	72	41	5	3	2	1	1	1	1			6,079	6,074
		合計	24	222	18	1	1	1	1	1	1	1	1	1			269	267
15 項	イ																	
16 項	イ																	
17 項	イ																	
18 項	イ																	
16の2	イ																	
16の3	イ																	
17 項	イ																	
18 項	イ																	
合計																		

# 用途別建築同意件数

(令和元年度)

用途			区分	総数	新築	増築	改築	その他
1項	イ		劇場、映画館等	1				1
	ロ		集会場等	2	2			
2項	イ		キャバレー等					
	ロ		遊技場等					
	ハ		その他風俗店等					
	ニ		カラオケボックスその他					
3項	イ		料理店等					
	ロ		飲食店等	1		1		
4項			百貨店等、マーケット、店舗等	10	9	1		
5項	イ		旅館、ホテル等	3		3		
	ロ		寄宿舍、共同住宅等	7	7			
6項	イ	(1)	特定病院					
		(2)	特定診療所					
		(3)	非特定医療機関（有床）					
		(4)	非特定医療機関（無床）	1		1		
	ロ	(1)	高齢者施設関係	5	3	2		
		(2)	救護施設					
		(3)	乳児院					
		(4)	障害者入所施設					
		(5)	障害者支援施設					
	ハ	(1)	老人デイサービスセンター等	1	1			
		(2)	更生施設					
		(3)	保育所・幼保連携型認定こども園	1	1			
		(4)	児童発達支援センター等	1				1
		(5)	障害者支援施設等	3	3			
ニ		幼稚園又は特別支援学校						
7項			各種学校等					
8項			図書館、美術館等					
9項	イ		蒸気、熱気浴場等					
	ロ		イ以外の公衆浴場					
10項			車両の停車場等					
11項			神社、寺院等	1		1		
12項	イ		工場、作業場	24	18	6		
	ロ		映画スタジオ等					
13項	イ		自動車車庫、駐車場	3	1	2		
	ロ		飛行機格納庫					
14項			倉庫	21	16	5		
15項			前各号に該当しない事業所	36	31	5		
16項	イ		特定複合用途防火対象物	1	1			
	ロ		上記以外の複合用途対象物	5	3	2	1	
その他				120	97	21		1
総数				247	193	50	1	3



# 火災予防条例に基づく各種届出

(令和元年度)

区 分 \ 署・分署別	大曲消防署	東分署	南分署	西分署	協和分署	西仙北分署	角館消防署	田沢湖分署	中仙分署	西木分署	合計
裸火使用	12						7		5	1	25
防火対象物使用開始	63	32	30	38	6	9	40	40	13	8	279
火を使用する設備等	16	3	2	5	2	2	3			5	38
発電設備	3	2	2	2		2	3	2	2	3	21
変電設備	11	3	5	5	2	1	3	1	1	4	36
蓄電池設備	3	1		3	7	2	5	8	1	1	31
ネオン管灯設備											
水素ガス気球設備											
火災とまぎらわしい行為	23	27	26	19	7	2	12	12	12	4	144
山野火入											
煙火打上げ仕掛け	244	18	80	74	10	7	32	16	30	1	512
催物開催	1		8		2				2		13
水道断減水			15								15
指定洞道等											
道路工事	74	27	41	16	15	14	47	16	16	5	271
少量危険物貯蔵取扱	12	12	4	8	2	2	7	6	3	7	63
指定可燃物貯蔵取扱				7							7
露店等開設	131	28	36	24	11	14	117	47	5	13	426
合計	593	153	249	201	64	55	276	148	90	52	1,881

# 市町別危険物施設一覽

(完成検査済証交付施設)

(令和2年4月1日現在)

施設別		市町別			
		大 仙 市	仙 北 市	美 郷 町	合 計
製 造 所					
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	41	9	6	56
	屋外タンク貯蔵所	30	14	3	47
	屋内タンク貯蔵所	2	4		6
	地下タンク貯蔵所	159	77	28	264
	簡易タンク貯蔵所	1			1
	移動タンク貯蔵所	176	50	36	262
	屋 外 貯 蔵 所	2	5		7
取 扱 所	給 油 取 扱 所	75 (23)	33 (13)	17 (1)	125 (37)
	第1種販売取扱所				
	第2種販売取扱所	1			1
	移 送 取 扱 所				
	一 般 取 扱 所	72	35	20	127
合 計		559	227	110	896

( ) は自家用給油取扱所

# 数量別危険物施設

(完成検査済証交付施設)

(令和2年4月1日現在)

施設別 数量別	製造所	貯蔵所							取扱所					合計
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	第1種販売取扱所	第2種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所	
5倍以下		26	16	5	146	1	254	5	9				59	521
5倍超え		16	20	1	70			2	15				46	170
10倍超え		12	10		42		2		22		1		20	109
50倍超え		2			5		6		24				2	39
100倍超え			1						20					21
150倍超え									13					13
200倍超え					1				22					23
1,000倍超え														0
5,000倍超え														0
10,000倍超え														0
合計		56	47	6	264	1	262	7	125		1		127	896

## 容量別屋外タンク貯蔵所

(令和2年4月1日現在)

容量別	種 類	合 計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類
合 計		47				47		
100 kℓ 未 満		46				46		
100 kℓ 以上 500 kℓ 未満		1				1		
500 kℓ 以上1,000 kℓ 未満								

## 類 別 危 険 物 施 設

(令和2年4月1日現在)

施設別 種 類	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				合 計	
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	第 1 種 販 売 取 扱 所	第 2 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所		一 般 取 扱 所
第 1 類														0
第 2 類														0
第 3 類														0
第 4 類		51	47	6	264	1	262	7	125		1		127	891
第 5 類														0
第 6 類														0
混 在		5												5
合 計		56	47	6	264	1	262	7	125		1		127	896

# 危険物許認可等調べ

(令和元年度)

施設別 処理状況	製造所	貯 蔵 所							取 扱 所					合 計
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	第1種販売取扱所	第2種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所	
設置許可		2		1	1		12						1	17
変更許可					1		5		26				1	33
水張検査														0
水圧検査									1					1
設置完成検査		1		1			12						1	15
変更完成検査					1		4		27				1	33
廃止届					3		9		3					15
仮使用承認									16					16
仮貯蔵承認													1	
仮取扱承認													0	

# 火災予防組合等結成調べ

(令和2年4月1日現在)

区分 市町名	少年消防クラブ	婦人防火クラブ	火災予防組合	自主防災組織	計
大 仙 市	1			390	391
仙 北 市				35	35
美 郷 町				115	115
合 計	1			540	541

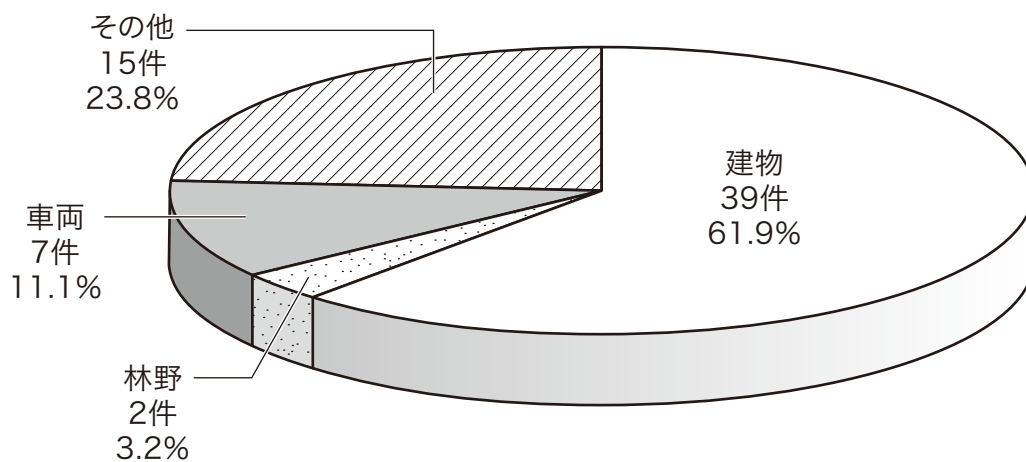
# 火 災 統 計

## 1. 平成31年・令和元年の火災概要

平成31年・令和元年の火災件数は63件で、前年の46件と比べて17件増加した。種別ごとの件数を前年と比較すると、建物火災は9件増加、林野火災は2件増加、車両火災は2件減少、その他火災は8件増加した。

種別ごとに占める割合は、建物火災が全体の61.9%、その他火災が23.8%、車両火災が11.1%、林野火災が3.2%となっている。

### 火 災 種 別 の 内 訳



## 2. 損害及びり災状況

火災による損害額は4億6,448万6千円で、前年（6,495万4千円）より3億9,953万2千円増加した。

一日あたりに換算すると約127万3千円、火災1件当たりでは約737万3千円の損害を被ったことになる。

建物の焼損棟数は92棟で、前年の49棟に比べ43棟増加している。建物火災1件当たりになると約2棟が焼損したことになる。

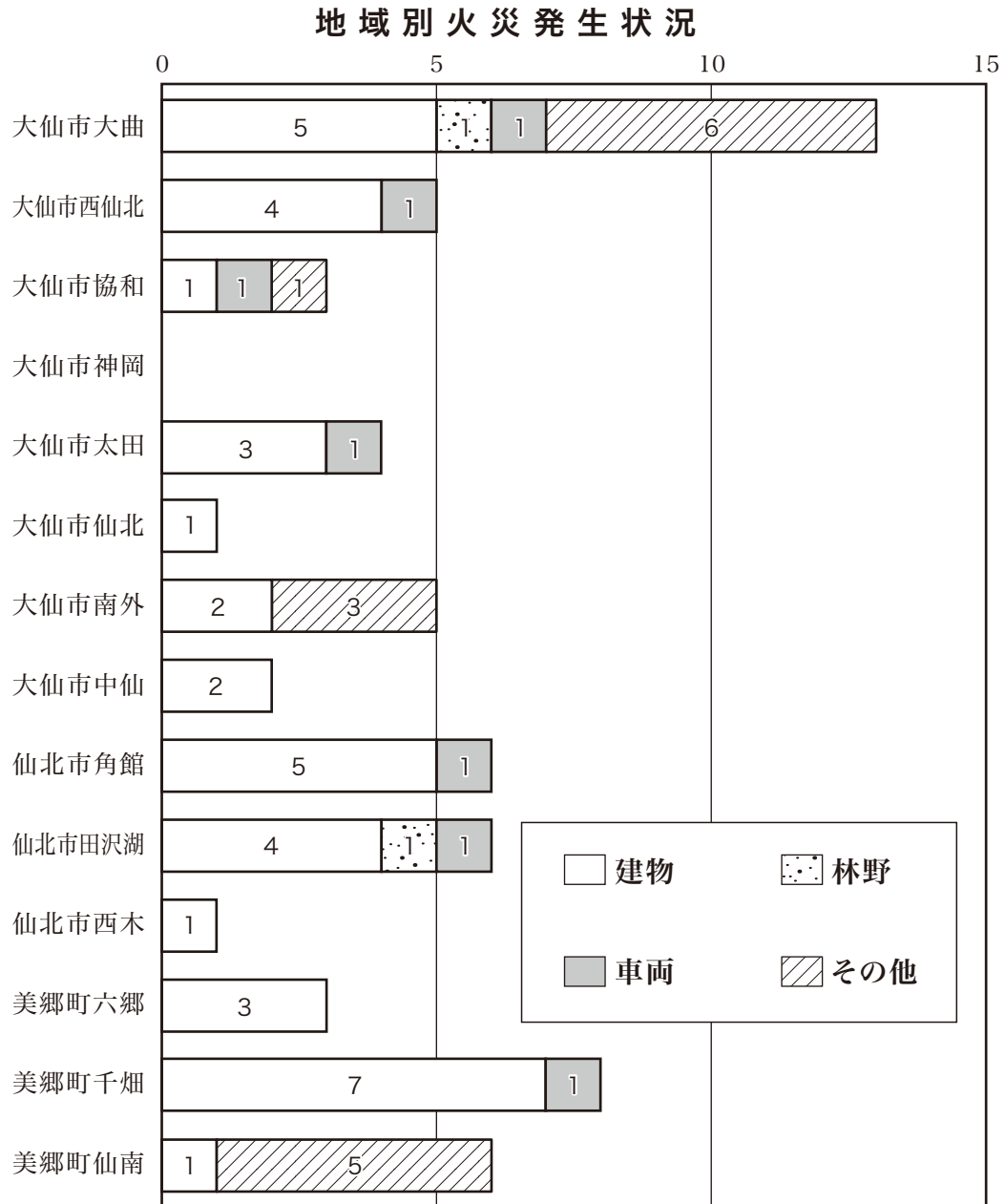
焼損面積（床面積）の合計が8,953㎡で、これは前年の2,039㎡に比べ増加している。

り災世帯数は前年より18世帯増の42世帯、り災人員は123人となっている。

### 3. 地域別火災発生状況

地域別で最も火災が多かったのは、大仙市大曲地域の13件、その次に美郷町千畑地域の8件と続いている。

また、大仙市神岡地域では無火災となっている。



※ 火災種別の分類

建物火災：建物又はその収容物が焼損した火災

林野火災：森林、原野又は牧野が焼損した火災

車両火災：自動車車両、鉄道車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災

その他火災：上記以外（空地、田畑、道路、河川敷、ごみ集積場、電柱類など）の火災

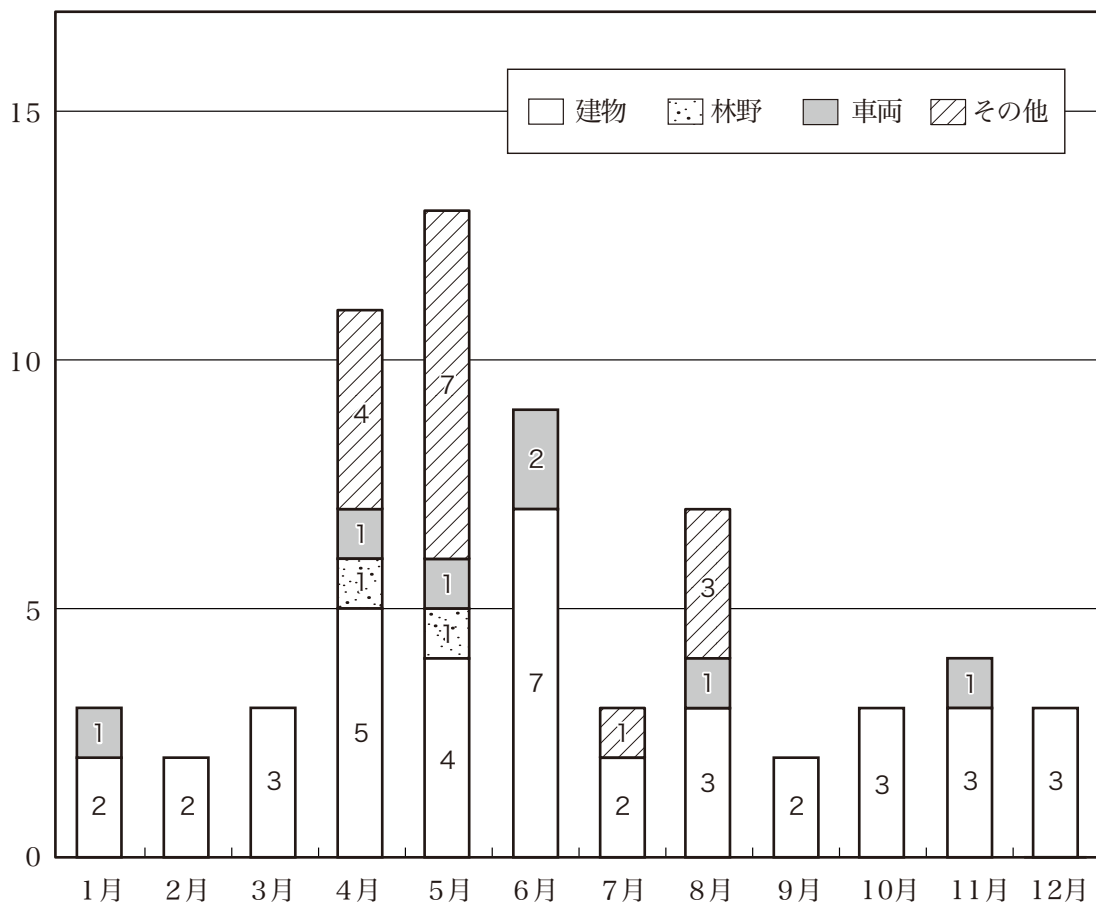
#### 4. 月別・曜日別・時間別火災発生状況

月別では、空気が乾燥しやすい4月から5月にかけて集中的に火災が発生しており、4月に11件、5月に13件の火災が発生した。このうち建物火災が9件、林野火災が2件、その他火災が11件となっている。この2ヶ月間だけで年間の火災件数の4割近くを占めている。その他の月を見ると、6月の9件、8月の7件を除いて、2件から4件とほぼ横ばいである。

曜日別では、日曜日が17件と最も多く、反対に最も少ないのが金曜日で5件となっている。全体の割合として月曜日から金曜日が59%、土日は38%であり、土日の火災発生率はこの3カ年のうち最も高い。

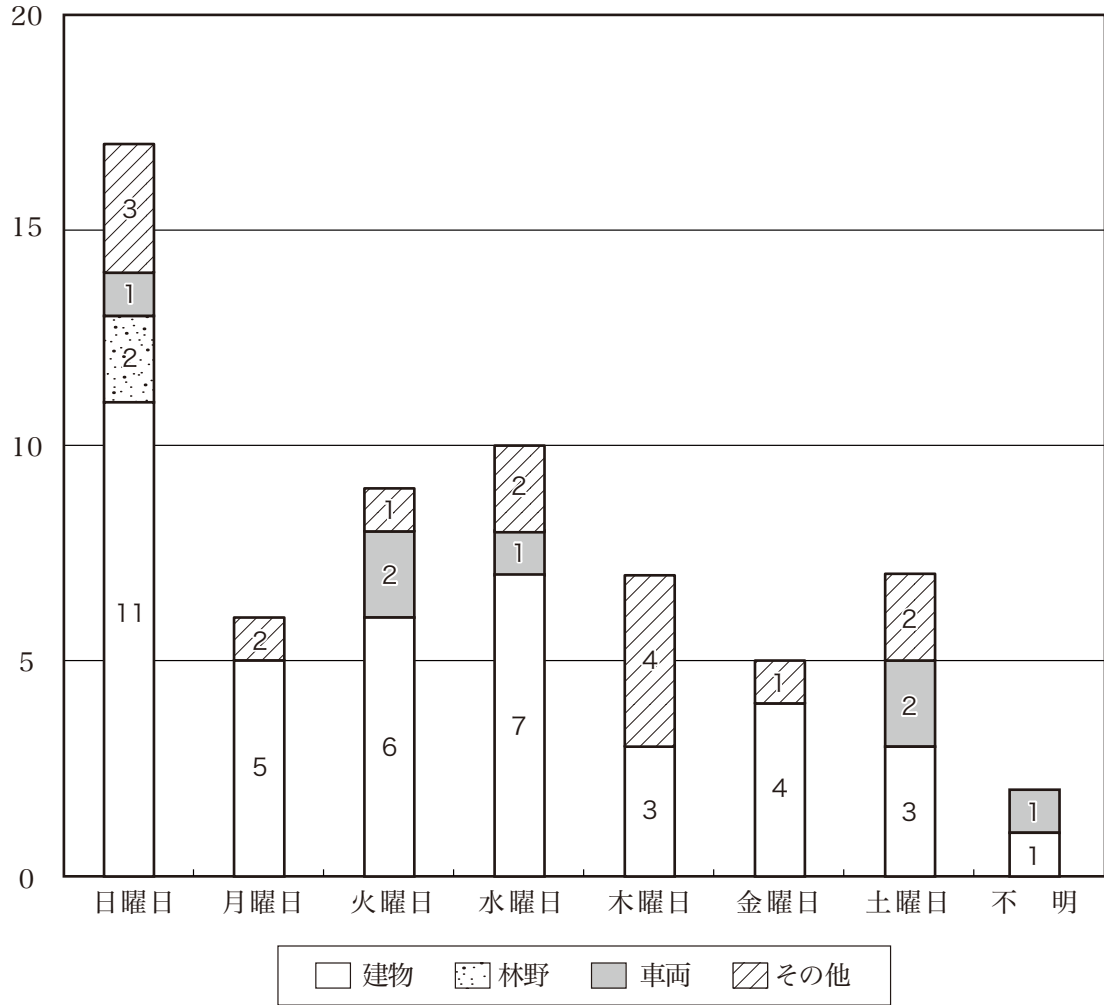
時間別に見ると、未明から朝（0時台～8時台）にかけて9件、日中（9時台～17時台）が37件、夜（18時台～23時台）が13件となっており、なかでも12時台が9件と最も多く、次いで11時台の6件となっており、日中における火災の発生が多い。

月別火災発生状況

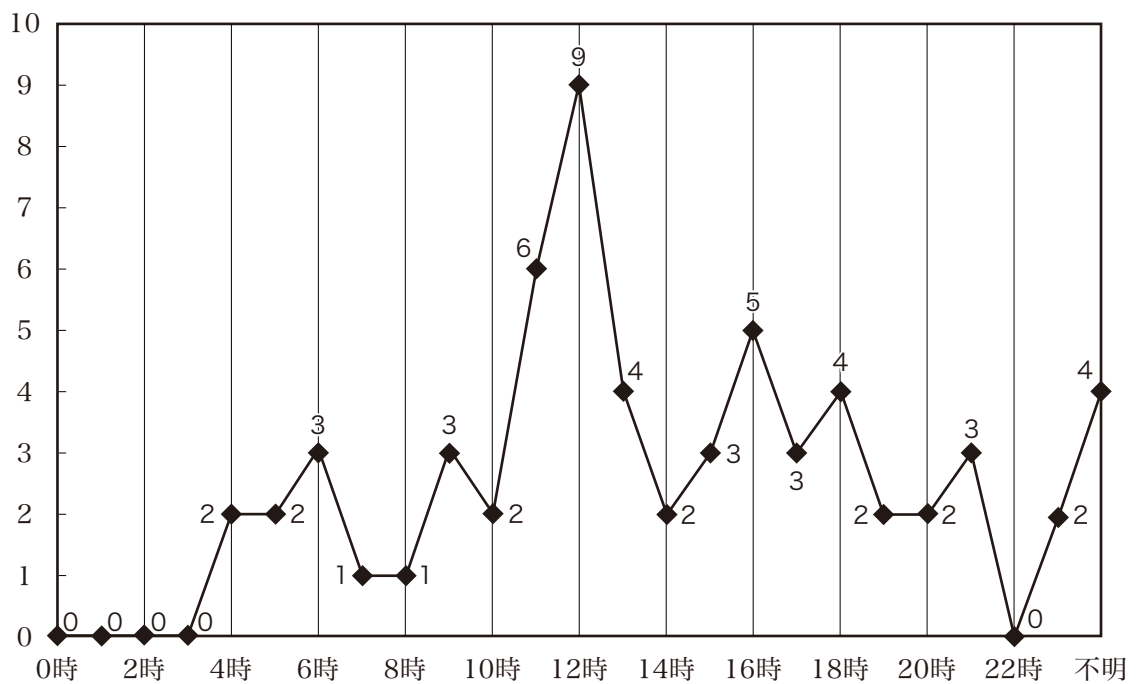




### 曜日別火災発生状況



### 時間別火災発生状況



## 5. 死傷者の状況

火災による死者は前年より2名減り2名（男性1名・女性1名）となっている。火災による負傷者は前年の9名から2名減り7名であった。

火災による死者の推移

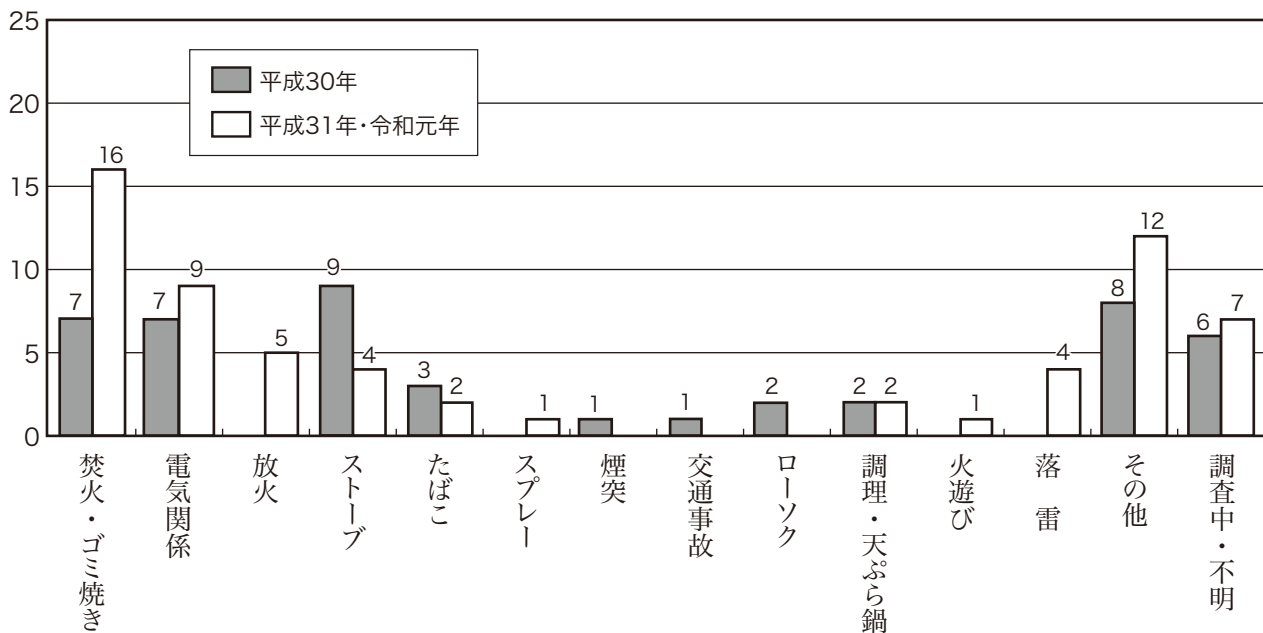
性別\年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年・令和元年
男	1	1	1	3	1
女	1	4	0	1	1
計	2	5	1	4	2

## 6. 原因別火災発生状況

原因別の火災発生状況では「焚火・ゴミ焼き」が前年より9件増加し原因中で最多の16件、「落雷」が前年は0件であったが、本年は4件の発生となっている。この落雷による火災4件のうち3件は一日に発生したものである。

また、「ストーブ」に関しては、前年に比べて5件減少して4件となっている。前年に全国で最も多い火災原因であった「たばこ」による火災は当管内では2件となっている。他にこの数年当管内で発生していなかった「放火」による火災が5件発生した。これらの原因には、季節特有のものもあるため、住民に対し効果的な予防広報を行わなければならない。

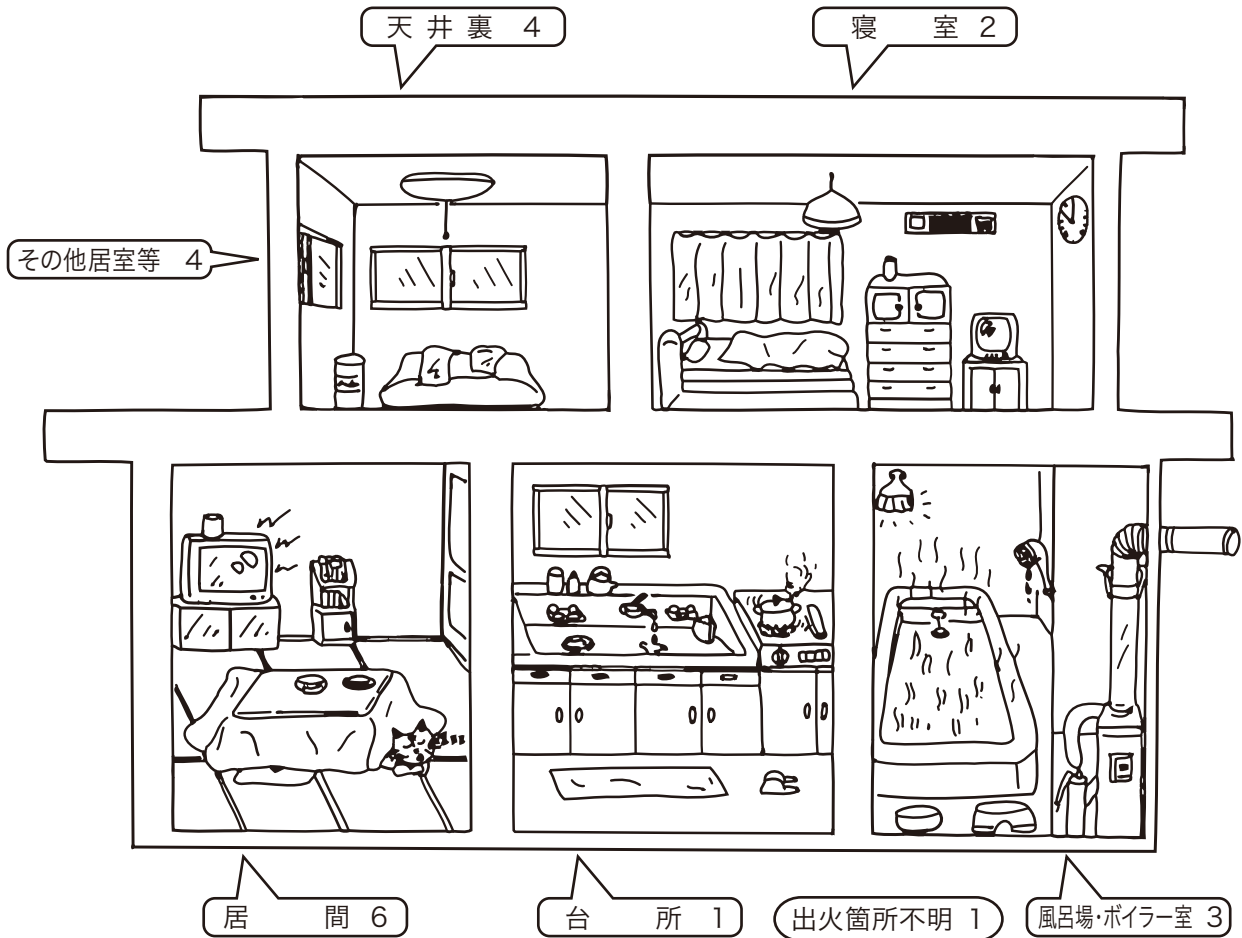
原因別火災発生状況



# 住宅火災の出火箇所と主な原因

(平成31年1月～令和元年12月)

21件中



## 住宅火災21件を分析

出火箇所	件数	原因別 (推定含む)
居間	6	・ストーブ3件 ・電気・たばこ・不明各1件
寝室	2	・放火1件 ・不明1件
台所	1	・ガスコンロ1件
風呂場・ボイラー室等	3	・電気2件 ・ストーブ1件
その他居室等	4	・電気・落雷・ゴミ焼き・不明各1件
天井裏	4	・落雷2件 ・電気1件 ・不明1件
不明	1	・電気1件

# 地 域 別 火 災

地 域 別	火 災 件 数	種 別						放水した ポンプ台数		出動人員		焼 損 棟 数								
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	署	団	住 家				非 住 家						
										全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や			
大 仙 市	大 曲	13	5	1	1			6	36	7	261	134	5		6		2		1	
	西仙北	5	4		1				18	6	129	92	4		1		2			
	協 和	3	1		1			1	6	1	67	61					1			
	神 岡																			
	太 田	4	3		1				17	13	116	129	3	1	1		2		2	
	仙 北	1	1						6	7	49	55	2				5			
	南 外	5	2					3	5		56	17			1				1	
	中 仙	2	2						10	13	76	92	3				2	1		
小 計	33	18	1	4			10	98	47	754	580	17	1	9		14	1	4		
仙 北 市	角 館	6	5		1				13	11	137	166	1	1	1	1	2		1	
	田沢湖	6	4	1	1				18	11	152	214	3		2		13	2		
	西 木	1	1						3	5	37	39	1						2	
小 計	13	10	1	2				34	27	326	419	5	1	3	1	15	2	3		
美 郷 町	六 郷	3	3						3	6	55	30				2		1		
	千 畑	8	7		1				14	3	129	113	1		1	1	4	1	3	
	仙 南	6	1					5	9	4	112	112					2			
小 計	17	11		1			5	26	13	296	255	1		1	3	6	2	3		
合 計	63	39	2	7			15	158	87	1,376	1,254	23	2	13	4	35	5	10		

# 発 生 状 況

(平成31年1月～令和元年12月)

焼 損 面 積 等				り 災 世 帯	り 災 人 員	死 者	負 傷 者	損 害 見 積 額 (千円)							
床 面 積 ( $m^2$ )	表 面 積 ( $m^2$ )	林 野 等 (a)	車 両 等 (台)					建 物	内 容 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	合 計
976	62	30	3	9	24		2	67,499	4,722		600			475	73,296
1,152		10	2	5	9		1	23,655	13,035	225	870			416	38,201
130			2					341	88		1,814			366	2,609
1,235	37		3	5	18			40,918	102,046		596				143,560
1,339				2	4		1	23,965	889						24,854
	19			1	7			16	386						402
1,503	223			5	13			76,002	9,997						85,999
6,335	341	40	10	27	75		4	232,396	131,163	225	3,880			1,257	368,921
518	32		1	4	13		1	9,307	6,498		573				16,378
1,237	113	12	2	5	15	2	2	29,932	10,517	23	210				40,682
346	17			1	6			7,397	3,747						11,144
2,101	162	12	3	10	34	2	3	46,636	20,762	23	783				68,204
37				2	4			169	953						1,122
315	175		1	3	10			6,839	17,092		120				24,051
165								1,786	402						2,188
517	175		1	5	14			8,794	18,447		120				27,361
8,953	678	52	14	42	123	2	7	287,826	170,372	248	4,783			1,257	464,486

# 月 別 火 災

月 別	火 災 件 数	種 別						放水した ポンプ台数		出動人員		焼 損 棟 数							
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他					住 家				非 住 家			
								署 団	署 員	団 員	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	
1月	3	2		1				9	7	69	53	1	1	1	1	1			
2月	2	2						5		52	26	1		1					
3月	3	3						10	8	94	117	2		1				3	
4月	11	5	1	1			4	37	27	281	305	10		3		11	1	1	
5月	13	4	1	1			7	20	3	178	117	1			1	2			
6月	9	7		2				21	18	206	197	1	1	1		6	3	2	
7月	3	2					1	5	2	67	56					2		1	
8月	7	3		1			3	14	6	137	101	1		1		3	1		
9月	2	2						7	3	42	53					2			
10月	3	3						11	6	71	80	1				4		1	
11月	4	3		1				6	3	76	64	1		1	1	2			
12月	3	3						13	4	103	85	4		4	1	2		2	
合計	63	39	2	7			15	158	87	1,376	1,254	23	2	13	4	35	5	10	

平成 30年	46	30		9			7	90	29	886	750	8	1	14	1	14	2	9	
前年比	17	9	2	-2			8	68	58	490	504	15	1	-1	3	21	3	1	

# 発 生 状 況

(平成31年1月～令和元年12月)

焼 損 面 積 等				り 災 世 帯	り 災 人 員	死 者	負 傷 者	損 害 見 積 額 (千円)							
床 面 積 ( $m^2$ )	表 面 積 ( $m^2$ )	林 野 等 (a)	車 両 等 (台)					建 物	内 容 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	合 計
721	21		2	4	13			26,255	83,918		556				110,729
148				2	4			7,302	737						8,039
569	33			3	12			15,080	4,612						19,692
3,909	246	30	2	15	42		2	128,528	42,878		160				171,566
309		22	2	2	8		2	19,878	1,167	170	210				21,425
725	86		4	3	12		1	11,834	8,328	23	1,876			726	22,787
168	161							951	14,042					115	15,108
383	31		1	2	5		2	7,594	3,419		6				11,019
498								3,452	2,422	55	744			416	7,089
600	2		2	1	2		1	18,414	1,709		658				20,781
273	32		1	3	10			3,695	4,345		573				8,613
650	66			7	15		1	44,843	2,795						47,638
8,953	678	52	14	42	123		2	287,826	170,372	248	4,783			1,257	464,486
2,039	353		11	24	45		4	43,391	16,301		5,231			31	64,954
6,914	325	52	3	18	78		-2	244,435	154,071	248	-448			1,226	399,532

## 最近5カ年間の火災発生状況

年		平成31年 令和元年	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	
項目							
火災件数		63	46	47	57	54	
種別	建物	39	30	28	31	30	
	林野	2		2	4	7	
	車両	7	9	2	9	2	
	船舶						
	航空機						
	その他	15	7	15	13	15	
放水したポンプ台数		署	158	90	101	110	93
		団	87	29	55	62	57
出動人員		署員	1,376	886	989	1,111	1,050
		団員	1,254	750	983	1,073	958
焼損棟数	住家	全焼	23	8	8	13	9
		半焼	2	1	5	1	
		部分焼	13	14	6	8	9
		ぼや	4	1	5	4	3
	非住家	全焼	35	14	8	17	11
		半焼	5	2	2	3	2
		部分焼	10	9	11	10	8
		ぼや			3	5	6
焼損面積等	床面積 (㎡)	8,953	2,039	5,086	10,961	3,098	
	表面積 (㎡)	678	353	319	563	293	
	林野等 (a)	52		81	1,203	1,665	
	車両等 (台)	14	11	1	8	8	
り災世帯		42	24	32	32	19	
り災人員		123	45	83	86	53	
死者		2	4	1	5	2	
負傷者		7	9	4	5	7	
損害見積額 (千円)	建物	287,826	43,391	163,293	217,251	116,997	
	内容物	170,372	16,301	63,077	115,240	21,570	
	林野	248		2,639	35,881	24,179	
	車両	4,783	5,231	60	1,208	656	
	船舶						
	航空機						
	その他	1,257	31	103,167	599	1,667	
	合計	464,486	64,954	332,236	370,179	165,069	



# 救急救助関係



第48回全国消防救助技術大会出場  
(岡山県岡山市)

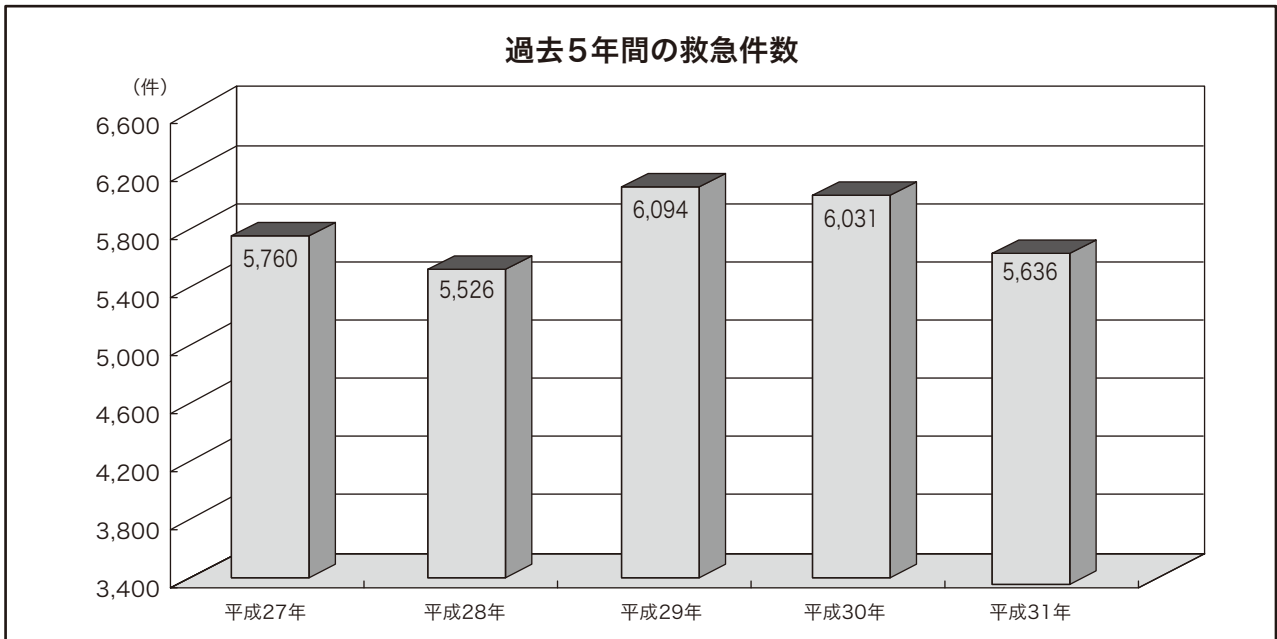


# 救 急 統 計

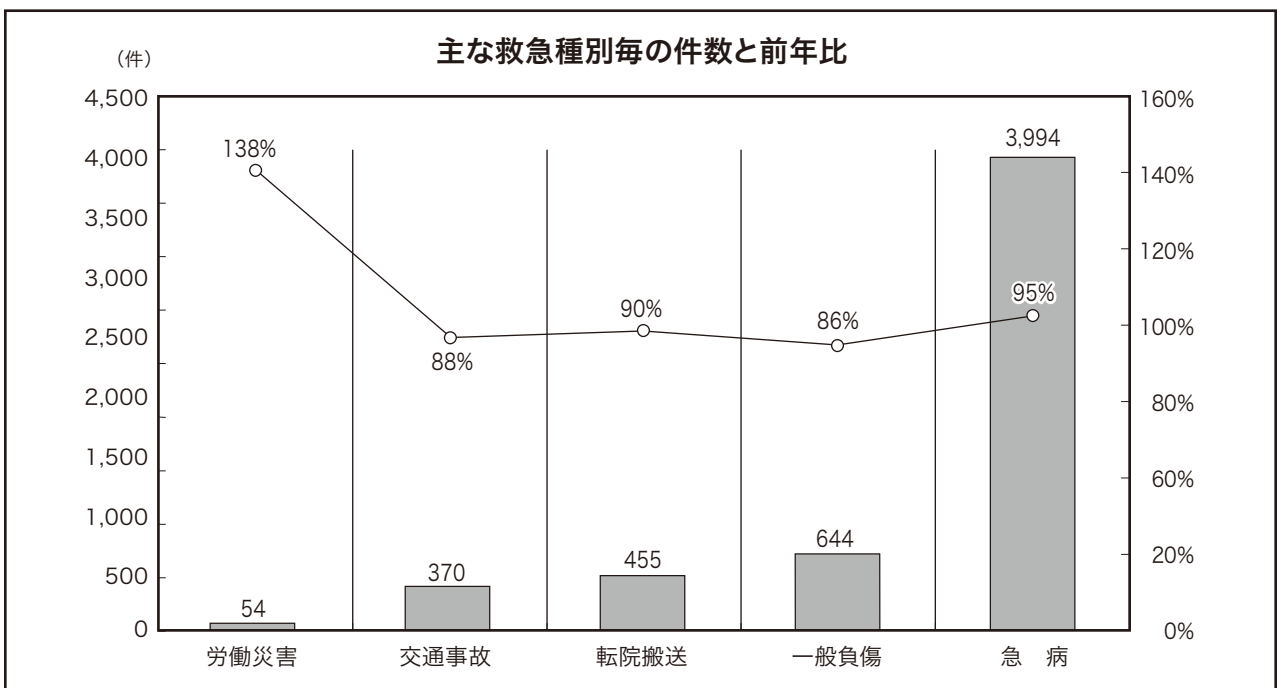
## 1. 救急出動件数と内容

平成31年中の救急出動件数は5,636件で前年と比べると395件の減少となり、3年ぶりに6,000件を下回った。一日あたりの出動件数は15.4件で、93分に1回の割合で出動したことになる。

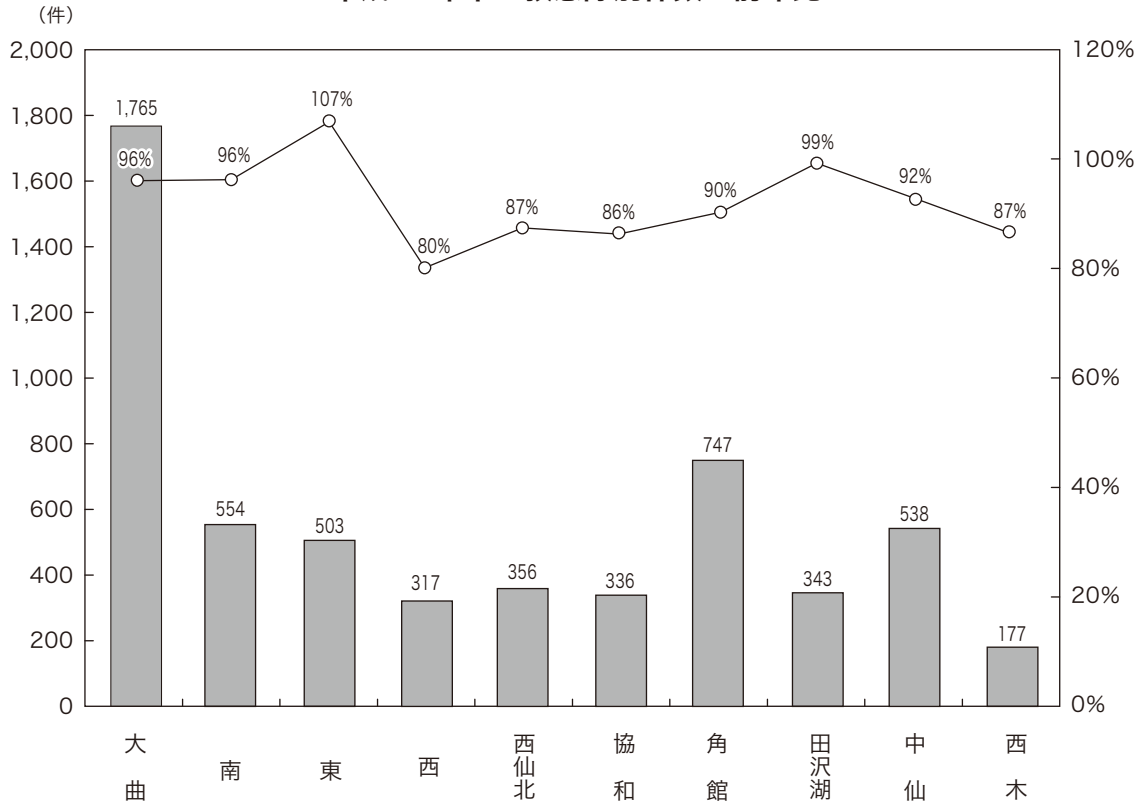
平成30年、31年と2年連続で減少したことから、今後の推移を見守りたい。



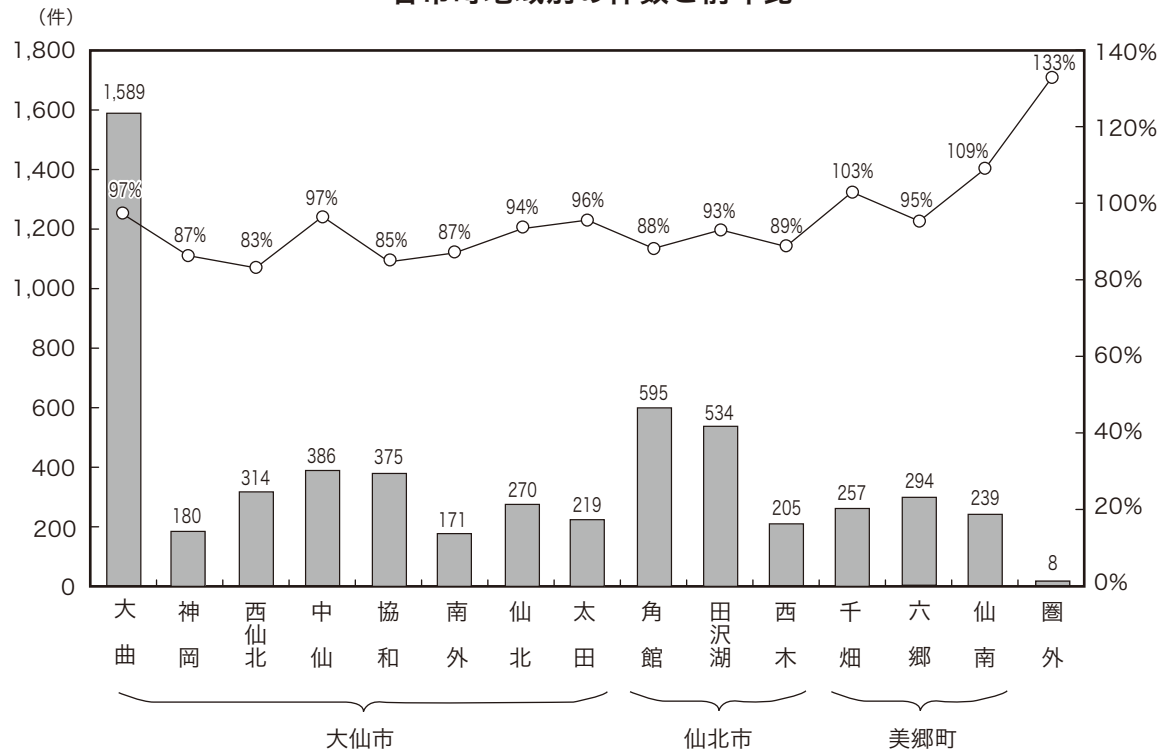
救急出動件数のうちもっとも多かった事故種別は、急病（3,994件、71%）、次いで一般負傷（644件、11%）である。前年と比べると、この事故種別ごとの割合は毎年ほぼ同じであり、大きな変化はみられない。



平成31年中の救急隊別件数と前年比

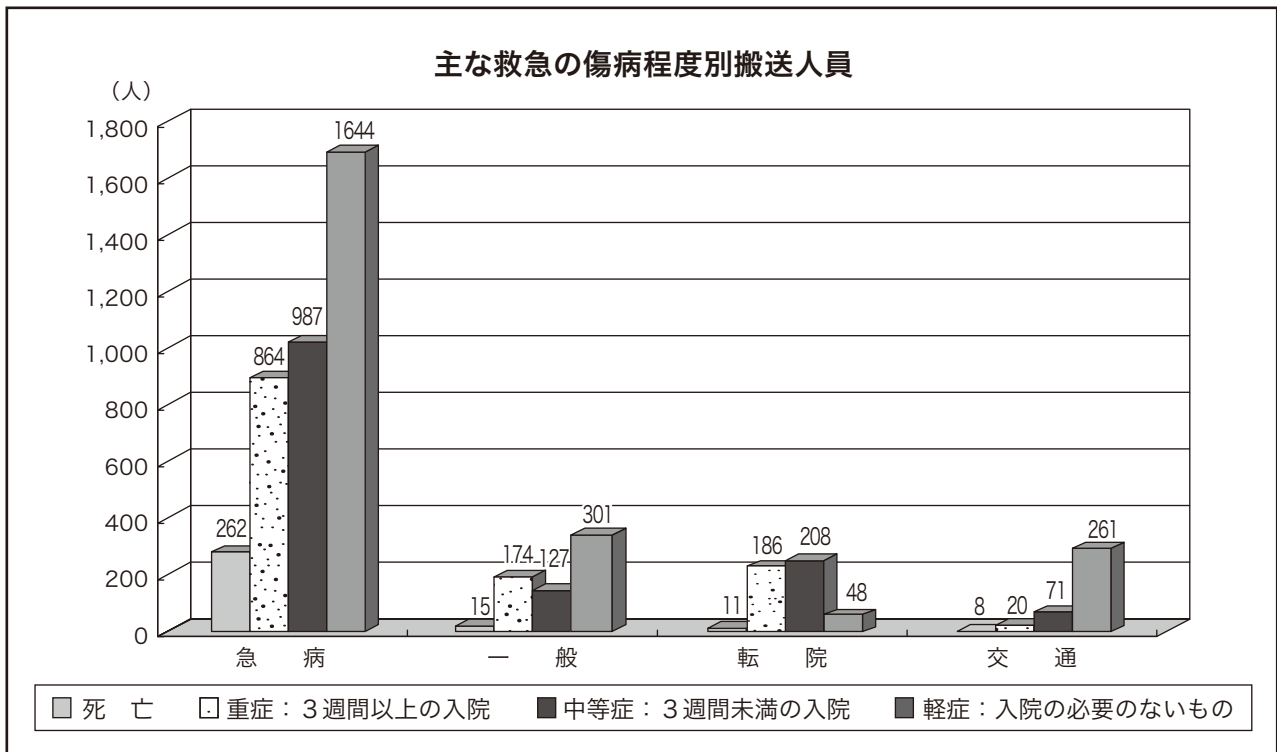


各市町地域別の件数と前年比

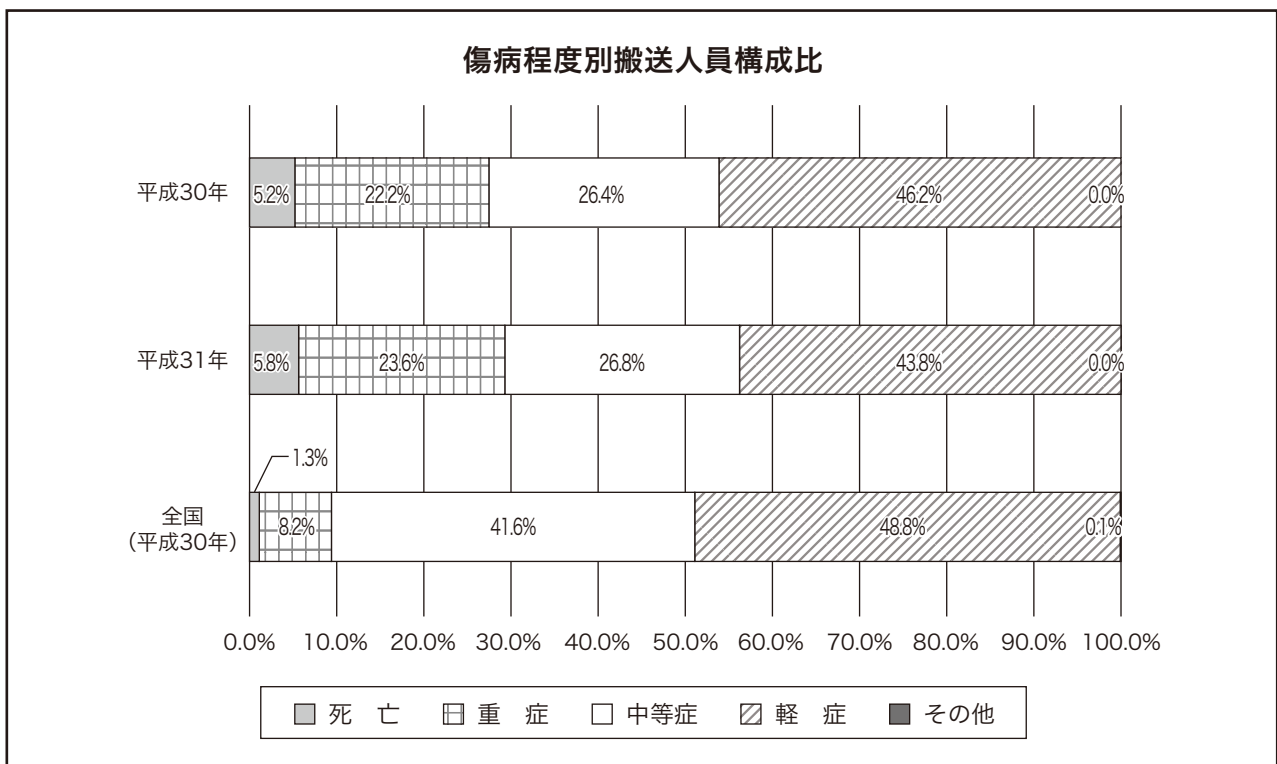


## 2. 救急搬送人員とその内容

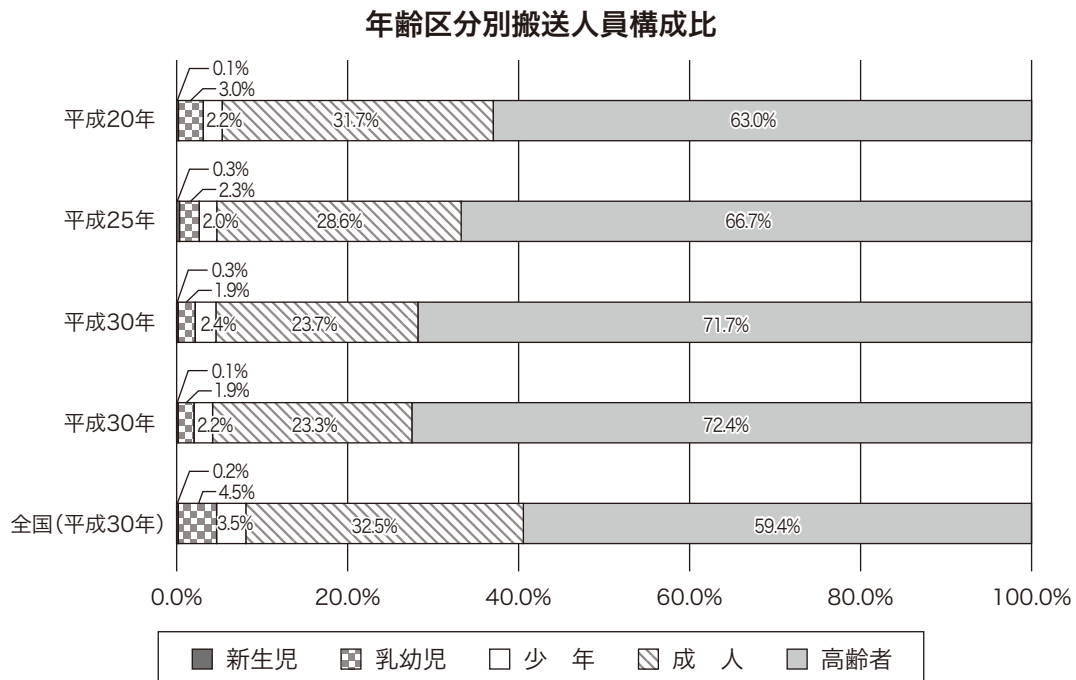
搬送人員は5,324人で、管内人口の約24人に1人、世帯割では約9世帯に1人が搬送されたことになる。急病(3,757人、71%)が多数を占め、傷病程度別をみると重症以上が占める割合は、急病(1,126人、30%)、一般負傷(189人、31%)、転院搬送(197人、44%)である。



傷病程度別構成比をみると、全国と比べ重症以上の割合が高く、比較的救急車の適正な利用がされているものと分析する。引き続き救急車の適正利用について啓発していきたい。

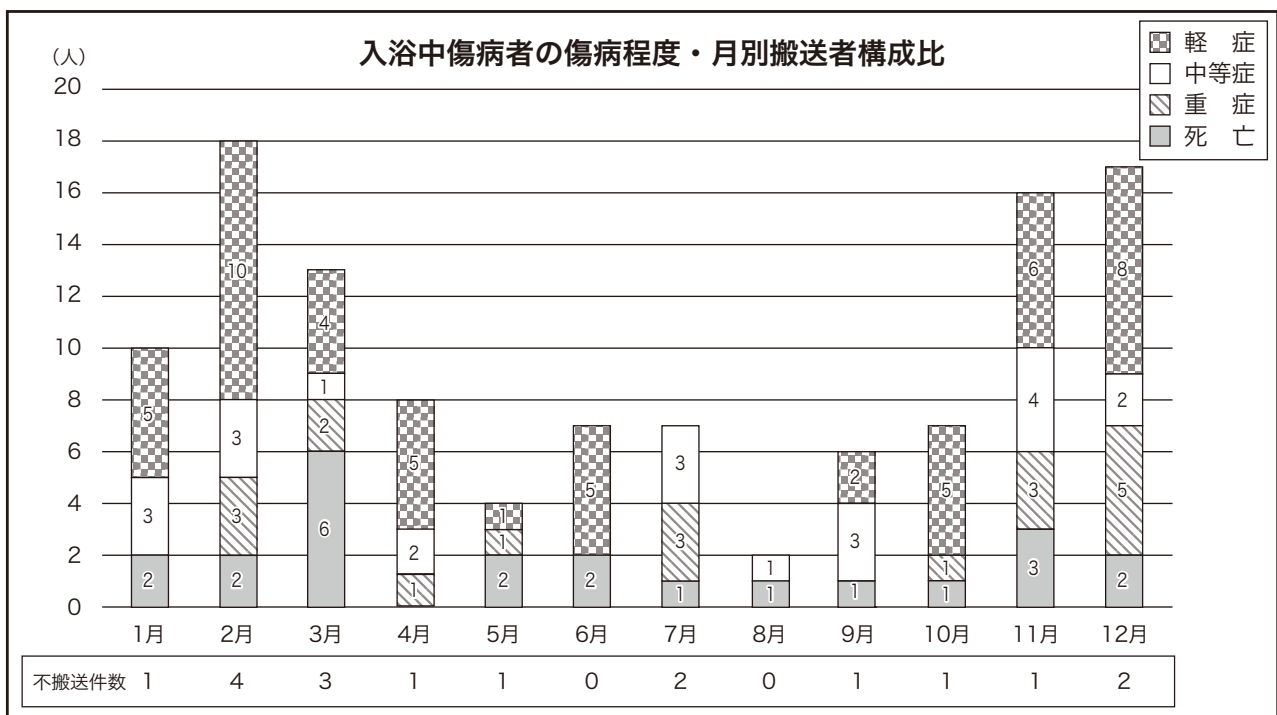


年齢別搬送人員をみると、高齢者の割合が年々増加し全国と比較しても高い割合を占める。当地域の高齢化への人口構造の変化がここからもみて取れる。



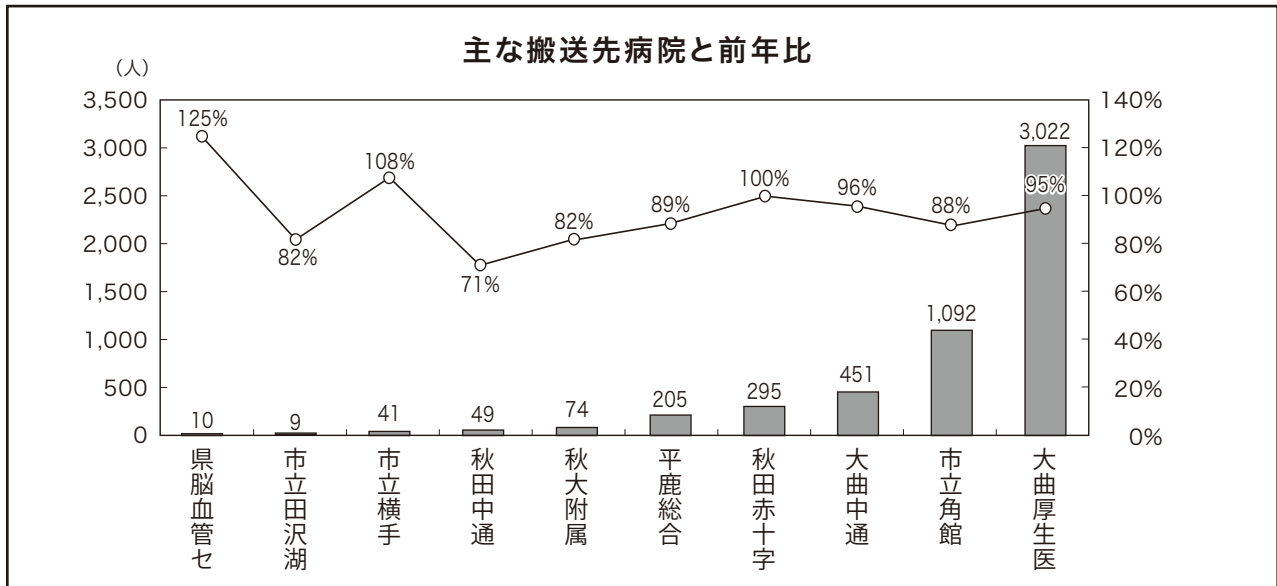
入浴に関する事故は、年間132件発生している。搬送者数は115人であり、うち100人（87%）は65歳以上である。不搬送であった17人については、搬送拒否の7名と緊急性なしの2名を除く8人が発見時すでに社会死状態で搬送に至らなかったものである。不搬送を含めた月別件数は2月（22件）、12月（19件）、11月（17件）が多い。搬送者の重症度をみると、軽症が51人（44%）ともっとも多く、死亡は23人（20%）である。

不搬送の社会死を含めると31人が入浴中に亡くなっており、交通事故の搬送死亡者である8人の4倍多い。関係機関と連携し、あらゆる機会を捉え入浴事故防止を啓発していく必要がある。

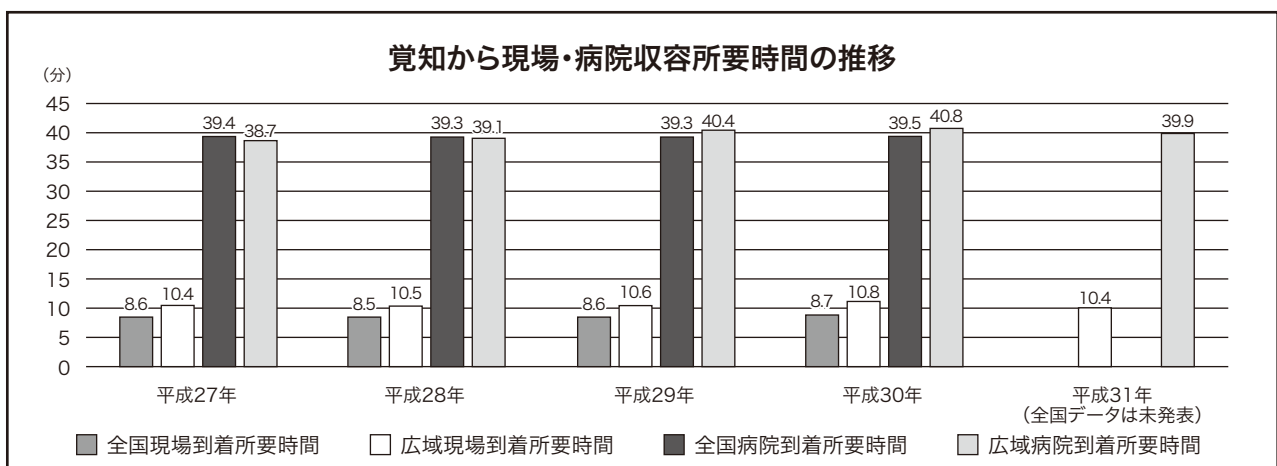
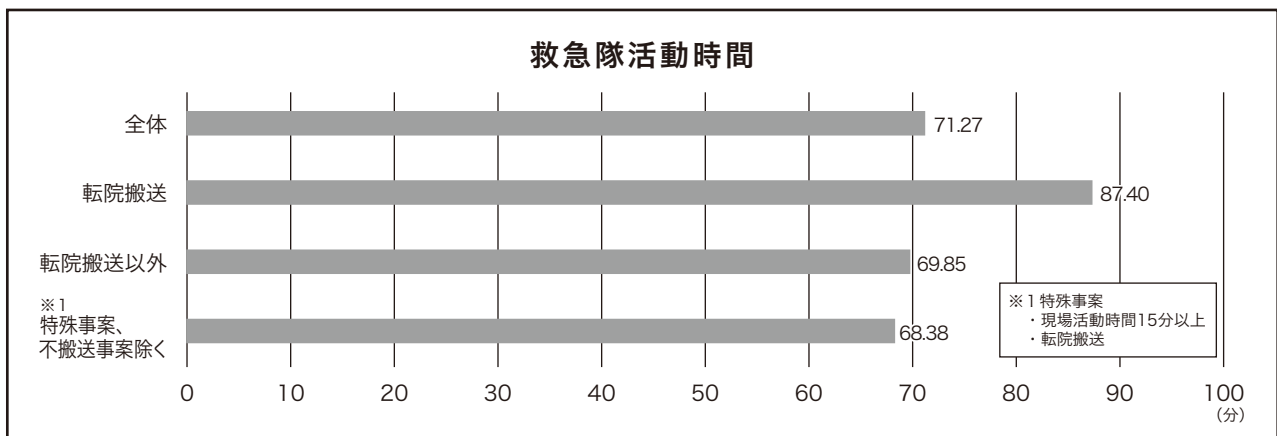


### 3. 搬送先病院と現場到着・病院到着所要時間

搬送先病院は、中核二次病院である大曲厚生医療センター（57%）と市立角館病院（21%）が多数を占める。また、秋田市内の病院への搬送は転院搬送が主である。

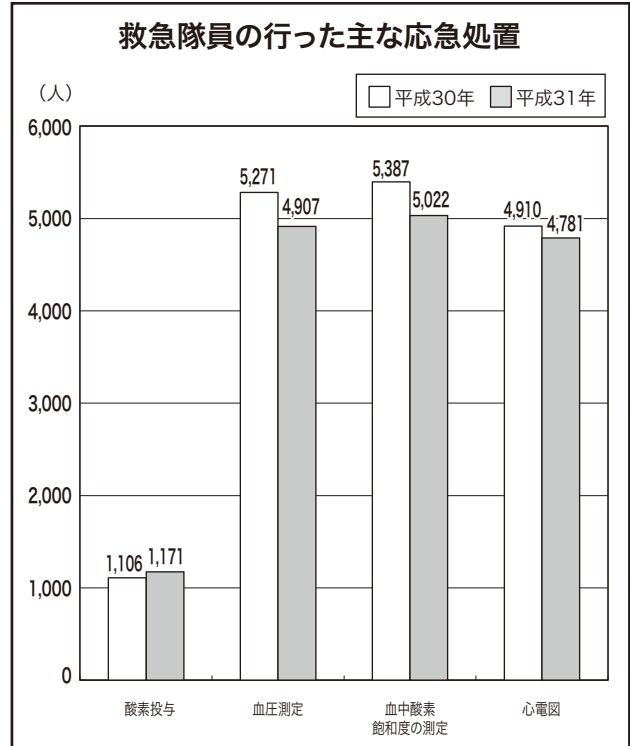
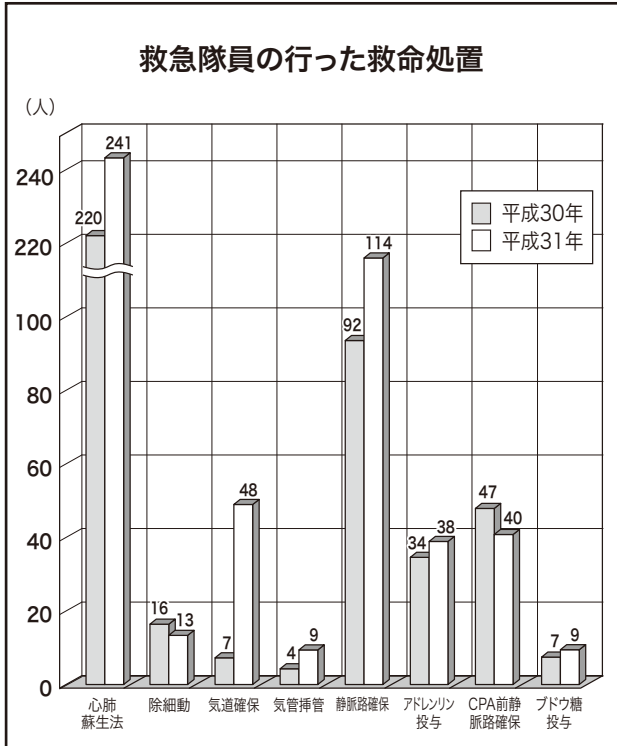


救急隊の平均活動時間をみると、全体では約71分であり、転院搬送では、約87分である。転院搬送のうち37%が管外病院への搬送であり、空白地域発生による、現場到着時間の延長が危惧される。



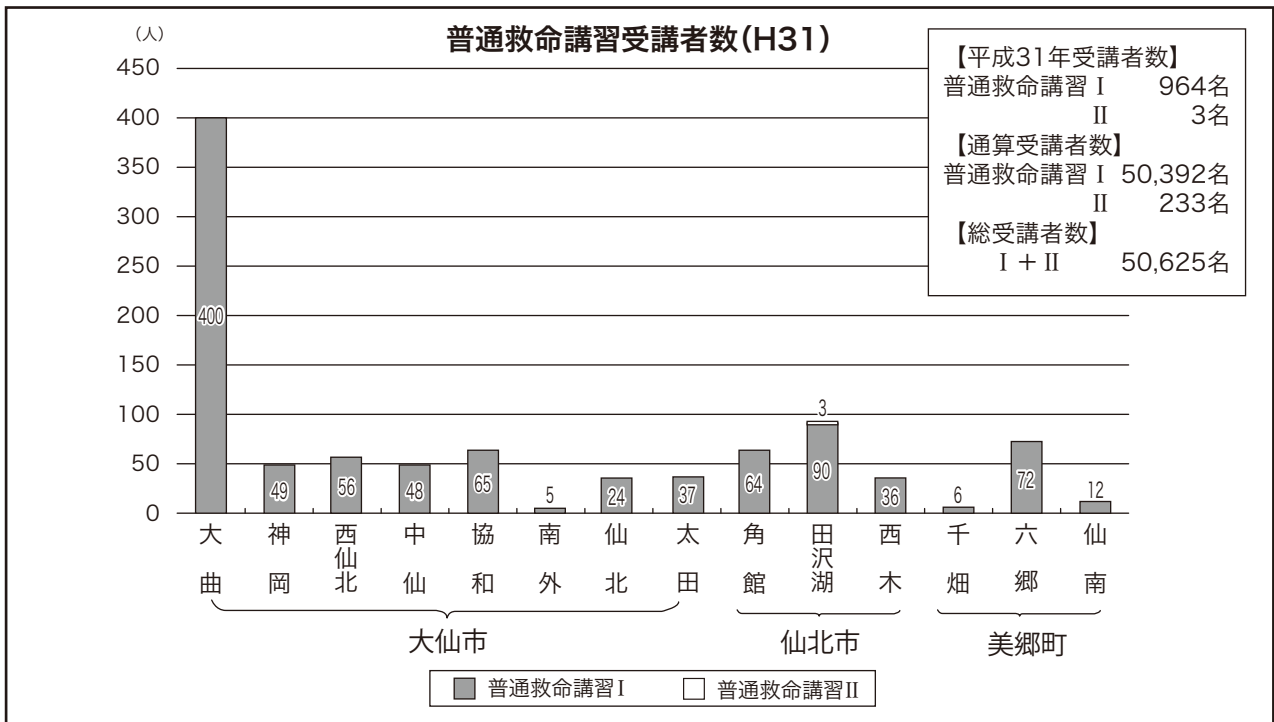
#### 4. 高度救命処置

平成26年4月1日から処置拡大として可能となったCPA前静脈路確保は40人に、低血糖に対するブドウ糖投与は9人に実施している。



#### 5. 救命講習

普通救命講習（Ⅰ・Ⅱ）受講者は50,625人を数えるまでとなり、1世帯に1人以上の受講者が存在することになる。近年、地震や集中豪雨などの自然災害により、住民の自助・共助への機運がさらに高まっており、引き続き救命手当の重要性を訴えていきたい。

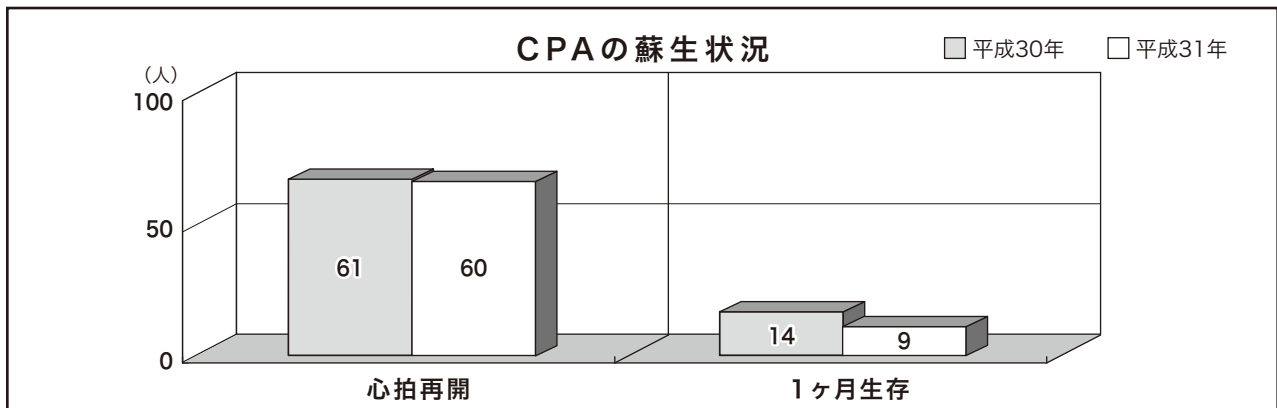




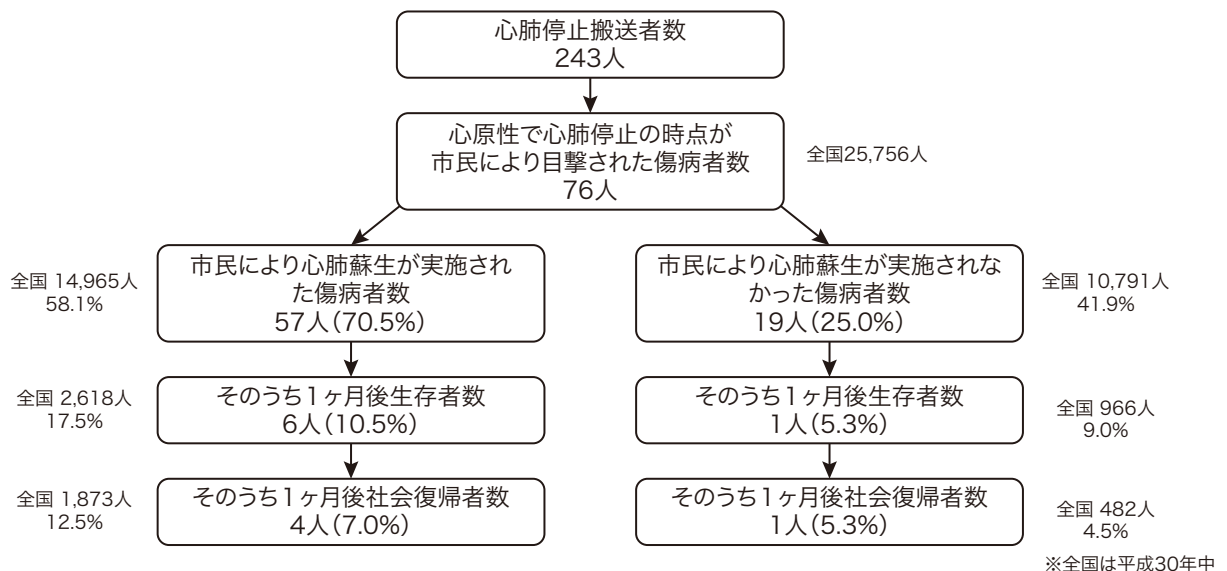
## 6. CPA蘇生状況

搬送されたCPA（心肺機能停止）傷病者は243人（4.6%）であり、そのうち心拍再開者は60人・24.7%（前年24.7%）、一ヶ月生存者は9人・3.7%（前年5.7%）であった。

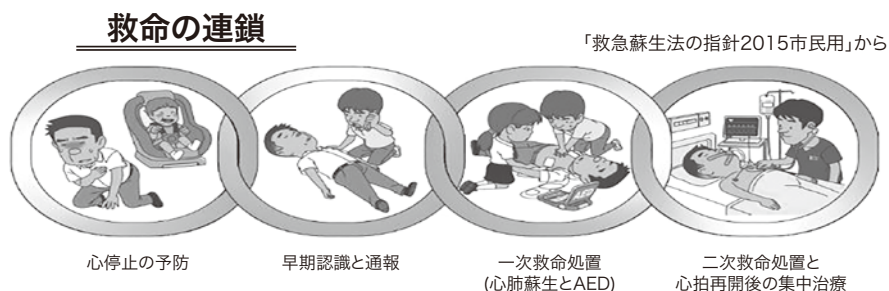
今後とも圏民とともに救命率の向上を目指していきたい。



### 市民により目撃された心原性心肺停止傷病者のうち、市民による心肺蘇生等実施の有無別の生存率・社会復帰率



心原性（心臓等が原因）で心肺停止の時点が目撃された傷病者76人についてみると、市民により心肺蘇生が実施された傷病者の割合が57人、75.0%と全国の58.1%を大きく上回った。そのうちの6人が1ヶ月生存しており、4人が社会復帰している。その反面、市民により心肺蘇生が実施されなかった19人をみると、社会復帰した方が1名しかおらず、その場に居合わせた人の救命処置がいかに重要かはっきりと分かる。私たち救急隊も更にレベルアップし、市民と協力し「救命の連鎖」により一人でも多くの命を救っていきたい。



# 地域別救急出動状況

平成31年・令和元年 1月～12月

地域別	区分	合計	前年比	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				平成30年	平成29年	平成28年	平成27年
														転院	医師	資器材	その他				
大曲地域	出動件数	1,589	-41	2			90	10	8	164	5	13	1,110	186			1,630	1,556	1,448	1,533	
	搬送人員	1,495	-71	1			88	10	8	158	3	10	1,031	186			1,566	1,478	1,370	1,440	
	出動件数	180	-28				19	2	2	16		1	138	2			208	204	168	198	
	搬送人員	177	-23				22	2	2	16		1	132	2			200	189	155	182	
	出動件数	314	-64	2			17	3	1	33		1	255	2			378	447	372	330	
	搬送人員	302	-41	1			19	3	1	33		1	243	2			343	416	336	308	
	出動件数	386	-14				20		2	50	1	3	298	12			400	429	357	396	
	搬送人員	358	-18				15		2	47	1	1	281	11			376	402	329	377	
	出動件数	375	-65				33	6	1	33		1	237	64			440	416	374	408	
	搬送人員	356	-56				32	6	1	33		1	220	64			412	394	342	392	
南外地域	出動件数	171	-25				12	2	21	21		3	129	4			196	184	169	173	
	搬送人員	170	-23				15	2	21	21		2	126	4			193	178	162	168	
	出動件数	270	-18				27	3	2	24			194	19			288	273	234	286	
	搬送人員	262	-15				28	3	2	23			187	19			277	259	222	274	
太田地域	出動件数	219	-10				12	3	1	35		4	159	4			229	255	226	229	
	搬送人員	208	-13				12	3	1	33		4	151	4			221	241	204	210	
小計	出動件数	3,504	-265	4			230	29	17	376	6	26	2,520	293			3,769	3,764	3,348	3,553	
	搬送人員	3,328	-260	2			231	29	17	364	4	18	2,371	292			3,588	3,557	3,120	3,351	
角館地域	出動件数	595	-81	1			22	3	3	66		4	410	86			676	736	628	655	
	搬送人員	557	-83	1			20	3	3	62		2	381	85			640	693	588	608	
	出動件数	534	-40	3		3	47	12	11	79		10	342	26	1		574	612	603	595	
	搬送人員	484	-59	1			41	12	11	70		3	320	26			543	569	569	550	
西木地域	出動件数	205	-25				13	2	1	32	2	5	148	2			230	212	201	226	
	搬送人員	197	-21				14	2	1	31	2	5	140	2			218	196	183	212	
小計	出動件数	1,334	-146	4		3	82	17	15	177	2	19	900	114	1		1,480	1,560	1,432	1,476	
	搬送人員	1,238	-163	2			75	17	15	163	2	10	841	113			1,401	1,458	1,340	1,370	
千畑地域	出動件数	257	8				21	4	2	27		4	192	7			249	241	216	248	
	搬送人員	245	11				21	4	3	27		1	182	7			234	231	194	232	
六郷地域	出動件数	294	-14				24	1	3	36		1	210	18			308	276	298	232	
	搬送人員	280	-18				20	1	3	35		1	203	18			298	274	284	223	
仙南地域	出動件数	239	20				8	3	4	27		3	171	22			219	249	230	242	
	搬送人員	226	17				9	3	4	27		2	159	22			209	234	212	227	
小計	出動件数	790	14				53	8	9	90		8	573	47	2		776	766	744	722	
	搬送人員	751	10				50	8	10	89		3	544	47			741	739	690	682	
圏外	出動件数	8	2				5			1			1	1			6	4	2	9	
	搬送人員	7	3				4			1			1	1			4	2	3	4	
合計	出動件数	5,636	-395	8		3	370	54	41	644	8	53	3,994	455	1		6,031	6,094	5,526	5,760	
	搬送人員	5,324	-410	4			360	54	42	617	6	31	3,757	453			5,734	5,756	5,153	5,407	

# 月別救急出動状況

平成31年・令和元年 1月～12月

月別	区分	合計	救急事故種別													
			火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院	医師	資機材	その他	
1月	出動件数	524				25	2	1	66	2	3	384	41			
	搬送人員	483				21	2	1	60	1	1	356	41			
2月	出動件数	412				24	2	2	46		3	299	36			
	搬送人員	385				26	2	2	43		1	276	35			
3月	出動件数	484	1			24	4	2	47		8	356	41		1	
	搬送人員	440				23	4	2	43		3	324	41			
4月	出動件数	454	1			37	6	1	39		9	317	43		1	
	搬送人員	430				39	6	1	38		6	297	43			
5月	出動件数	464	2			29	2	1	55	1	5	336	33			
	搬送人員	437				31	2	1	52	1	4	313	33			
6月	出動件数	403	1			22	4	5	45		3	286	36		1	
	搬送人員	389	1			23	4	5	44		1	275	36			
7月	出動件数	475			1	28	6	7	50	1	3	342	37			
	搬送人員	446				27	6	7	46		1	322	37			
8月	出動件数	560	1			43	9	4	66	4	6	387	40			
	搬送人員	542	1			44	9	4	66	4	4	370	40			
9月	出動件数	438			1	39	4	16	53		2	296	26		1	
	搬送人員	422				37	4	17	53		2	283	26			
10月	出動件数	451	1			29	7		63		6	316	29			
	搬送人員	423	1			20	7		60		4	302	29			
11月	出動件数	463			1	32	3	1	60		1	327	38			
	搬送人員	447				35	3	1	59			311	38			
12月	出動件数	508	1			38	5	1	54		4	348	55		2	
	搬送人員	480	1			34	5	1	53		4	328	54			
合計	出動件数	5,636	8		3	370	54	41	644	8	53	3,994	455		1	5
	前年比	-395	-6		-1	-50	15	17	-106	-12	3	-208	-49		1	1
	搬送人員	5,324	4			360	54	42	617	6	31	3,757	453			
	前年比	-410	-1		-3	-58	17	17	-96	-11	3	-230	-48			
平成31年 令和元年	出動件数	6,031	14		4	420	39	24	750	20	50	4,202	504			4
	搬送人員	5,734	5		3	418	37	25	713	17	28	3,987	501			

# 曜日別救急出動状況

平成31年・令和元年 1月～12月

	事故種別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院	医師	資機材	その他
計	出動件数	5,636	8		3	370	54	41	644	8	53	3,994	455	1		5
	搬送人員	5,324	4			360	54	42	617	6	31	3,757	453			
日	出動件数	801	3		3	62	4	10	109	5	7	568	28	1		1
	搬送人員	757	2			75	4	11	102	4	4	527	28	/	/	
月	出動件数	832				42	4	4	98		9	597	78			
	搬送人員	783				35	4	4	94		6	562	78	/	/	
火	出動件数	834	2			52	10	1	87		11	589	82			
	搬送人員	800	1			52	10	1	86		6	563	81	/	/	
水	出動件数	804				55	11	4	80	1	12	574	65			2
	搬送人員	748				51	11	4	77	1	7	532	65	/	/	
木	出動件数	788	1			54	12	1	74	1	3	580	62			
	搬送人員	734				40	12	1	70	1	1	547	62	/	/	
金	出動件数	829				54	9	2	94		7	569	93			1
	搬送人員	787				53	9	2	88		4	539	92	/	/	
土	出動件数	748	2			51	4	19	102	1	4	517	47			1
	搬送人員	715	1			54	4	19	100		3	487	47	/	/	

# 救急隊員の行った応急処置

平成31年・令和元年 1月～12月

応急処置 対象人員 事故種別	応急処置 対象人員	止血	固定	人工呼吸	心臓マッサージ		心肺蘇生		酸素吸入	気道確保				保温	被覆
					うち自動	うち自動	うち自動	*1		*2	*3	*4			
急病	3,756	28	9	48	6	2	203	27	933	1	10	43	9	328	11
交通	355	26	97	1	2		9	0	25	10	0	1	0	23	18
一般負傷	617	71	54	2	1		14	2	64	17	0	3	0	52	44
その他	590	21	29	3	1	1	15	3	149	14	0	1	0	55	14
計	5,318	146	189	54	10	3	241	32	1,171	310	13	48	9	458	87

\*1には、経鼻エアウェイを使用して気道確保を行った件数を内数として記載。  
\*2には、喉頭鏡・鉗子等を使用して異物除去を行った件数を内数として記載。  
\*3には、救急救命士がラリングマスク等を使用して気道確保を行った件数を内数として記載。  
\*4には、救急救命士が気管挿管処置を実施して気道確保を行った件数を内数として記載。

応急処置 事故種別	在宅療法継続			ショックによる パニック 血圧保持	除細動	静脈路 確保 (輸血)	アドレナリン 投与	ブドウ糖 投与	聴診器による心音、 呼吸音等の聴取	血中酸素 飽和度の 測定	心電図		その他の 応急処置 応急処置	合計
	*A	*B	*C								うち伝送			
急病	11	3	4	5	13	135	32	9	734	3,531	3,546	0	3,576	20,636
交通	0	0	0	0	0	6	2	0	52	336	223	0	289	1,797
一般負傷	0	0	0	0	0	5	2	0	63	594	512	0	577	3,270
その他	1	0	0	1	0	8	2	0	59	561	500	0	543	3,110
計	12	3	4	6	13	154	38	9	908	5,022	4,781	0	4,985	28,813

\*Aには、在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴が施されている傷病者に対して応急処置を行った件数を内数として記載。  
\*Bには、気管切開孔又は、気管瘻・人工肛門等の外傷が施されている傷病者に対して応急処置を行った件数を内数として記載。  
\*Cには、\*A・\*B以外の在宅療法継続中の施されている傷病者に対して応急処置を行った件数を内数として記載。

# 事故種別救助出動件数・救助人員数

平成31年・令和元年 1月～12月

事故種別 発生場所	火		災 建物以外	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	爆発事故	その他 の事故	合 計
	建	物										
大 曲				15 ( 1)					1		3 ( 3)	19 ( 4)
神 岡				1								1
西 仙 北				3								3
中 仙				2							2 ( 1)	4 ( 1)
協 和				8								8
南 外				4							1	5
仙 北				5 ( 2)	1 ( 1)							6 ( 3)
太 田				3							1 ( 1)	4 ( 1)
角 館				3			1 ( 1)					4 ( 1)
田 沢 湖				14 ( 4)	4		2 ( 1)				7 ( 3)	27 ( 8)
西 木				3								3
千 畑				4							1	5
六 郷				7							2	9
仙 南				1 ( 1)							1 ( 1)	2 ( 2)
圏 外				2								2
合 計				75 ( 8)	5 ( 1)		3 ( 2)		1		18 ( 9)	102 ( 20)
平成 30 年	1			78 ( 16)	4 ( 3)		3 ( 2)				13 ( 4)	99 ( 25)
前 年 比	-1			-3 ( -8)	+1 ( -2)				+1		+5 (+5)	+3 ( -5)

注：( ) 内は救助人員数

# 全国消防救助技術大会 出場者一覧

年	回	開催地	種 目	隊 員 氏 名				
昭和52年	第6回	千葉市	ロープ登はん	鈴木幸一	—	—	—	—
昭和63年	第17回	横浜市	ロープブリッジ救	杉澤 衛	小笠原伸一	斉藤幸勇	湯川雅浩	—
平成元年	第18回	名古屋市	ロープ応用登はん	高橋幹夫	池田 透	—	—	—
			はしご登はん	進藤政喜	—	—	—	—
平成2年	第19回	広島市	ロープブリッジ救	杉澤 衛	小笠原伸一	斉藤幸勇	三浦 肇	—
平成3年	第20回	大阪市	ロープ応用登はん	後藤康文	池田 透	—	—	—
平成4年	第21回	千葉市	はしご登はん	嶋津寛興	—	—	—	—
			ロープ応用登はん	伊藤 清	高橋 倫	—	—	—
平成6年	第23回	京都市	ほふく救出	八木克司	進藤政喜	齋藤雅樹	—	—
平成10年	第27回	大阪市	ロープブリッジ救	佐藤玲緒奈	齋藤広幸	齋藤典之	湯川雅浩	—
平成11年	第28回	横浜市	ほふく救出	戸島浩樹	稲葉和也	佐々木伸吾	—	—
平成13年	第30回	東京都	ほふく救出	戸島浩樹	小山田芳成	高橋秀明	—	—
平成15年	第32回	仙台市	ロープブリッジ救	三浦祐樹	田口博康	齋藤典之	後藤正浩	—
平成16年	第33回	兵庫県三木市	ロープブリッジ救	三浦祐樹	田口博康	齋藤典之	後藤正浩	—
			ロープブリッジ救	佐藤玲緒奈	富樫 寛	伊藤 岳	加藤俊美	—
			ロープ応用登はん	鈴木一伊	伊藤貴之	—	—	—
平成18年	第35回	札幌市	はしご登はん	三浦寛幸	—	—	—	—
			ロープ応用登はん	鈴木一伊	伊藤貴之	—	—	—
			ほふく救出	高橋 篤	小山田芳成	高橋秀明	—	—
平成19年	第36回	東京都	はしご登はん	中嶋美彰	—	—	—	—
平成20年	第37回	北九州市	ロープ応用登はん	坂本 哲	木元智昭	—	—	—

年	回	開催地	種 目	隊 員 氏 名				
平成22年	第39回	京 都 市	ロープ応用 登 は ん	熊谷健太郎	木元智昭	—	—	—
			基 本 泳 法	佐藤玲緒奈	—	—	—	—
平成24年	第41回	東 京 都	はしご登はん	伊藤和馬	—	—	—	—
			溺 者 救 助	佐藤玲緒奈	木元智昭	武田 洋	—	—
平成25年	第42回	広 島 市	ロープ応用 登 は ん	右谷慎悟	熊谷健太郎	—	—	—
			はしご登はん	倉橋大地	—	—	—	—
平成26年	第43回	千 葉 市	引 揚 救 助	菊地剛仁	三浦祐樹	坂本 哲	伊藤貴之	佐々木 絢
平成27年	第44回	神 戸 市	はしご登はん	高橋大貴	—	—	—	—
			ロープブリッジ 救 出	高橋俊幸	右谷慎悟	中谷壮志	高橋明士	—
				佐藤巧也	伊藤弘己	岡本一毅	富樫亮太	—
平成28年	第45回	松 山 市	はしご登はん	滝沢清栄	—	—	—	—
			ほふく救出	小松田知至	高橋明士	進藤佳祐	—	—
			ロープ応用 登 は ん	愛甲祥之	伊藤和馬	—	—	—
平成29年	第46回	利 府 町	はしご登はん	高橋 広	—	—	—	—
平成30年	第47回	京 都 市	ロープ応用 登 は ん	大石知滉	倉橋重吾	—	—	—
平成31年 ・ 令和元年	第48回	岡 山 市	はしご登はん	佐々木竜之助	—	—	—	—
			ロープ応用 登 は ん	武藤修平	倉橋重吾	—	—	—
			ロープブリッジ 救 出	浅利貴司	高橋明士	小松田知至	高橋公也	—
			ほふく救出	鶴谷岳志	豊嶋圭人	進藤佳祐	—	—

※平成23年は東日本大震災のため、全国消防救助技術大会をはじめ、東北地区支部指導会、秋田県大会も中止となった。

※平成26年は8月20日に広島市で発生した土石流災害により甚大な被害が生じ、中国ブロックを中心とする緊急消防援助隊が派遣され、全国消防救助技術大会は中止となった。

※平成30年は非常に強い勢力の台風20号が日本列島に接近したことに伴い、全国消防救助技術大会は中止となった。



# 通信指令関係



高機能消防指令センター



# 消防無線局設置状況

(令和2年4月1日現在)

常置場所	名 称	呼出名称	デジタル送信周波数						備 考
			活動波				主運用波	統制波	
			1	2	3	4			
消防本部	曲消本部	きょくしょうほんぶ	○	○	○	○	○	○	基地局
	本部予防1	ほんぶよぼう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	本部警防1	ほんぶけいぼう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	本部指揮1	ほんぶしき1	○	○	○	○	○	○	車載型
	本部携帯1	ほんぶけいたい1	○	○	○	○	○	○	携帯型
	本部携帯2	ほんぶけいたい2	○	○	○	○	○	○	携帯型
	本部携帯3	ほんぶけいたい3	○	○	○	○	○	○	携帯型
	本部可搬1	ほんぶかはん1	○	○	○	○	○	○	可搬型
大曲消防署	大曲署1	おおまがりしょ1	○	○	○	○	○	○	卓上型
	大曲ポンプ1	おおまがりぼんぶ1	○	○	○	○	○	○	車載型
	大曲ポンプ2	おおまがりぼんぶ2	○	○	○	○	○	○	車載型
	大曲タンク1	おおまがりたんく1	○	○	○	○	○	○	車載型
	大曲救助1	おおまがりきゅうじょ1	○	○	○	○	○	○	車載型
	大曲救助2	おおまがりきゅうじょ2	○	○	○	○	○	○	車載型
	大曲資材1	おおまがりしぎい1	○	○	○	○	○	○	車載型
	大曲梯子1	おおまがりはしご1	○	○	○	○	○	○	車載型
	大曲化学1	おおまがりかがく1	○	○	○	○	○	○	車載型
	大曲指揮1	おおまがりしき1	○	○	○	○	○	○	車載型
	大曲補給1	おおまがりほきゅう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	大曲救急1	おおまがりきゅうきゅう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	大曲救急2	おおまがりきゅうきゅう2	○	○	○	○	○	○	車載型
	大曲救急3	おおまがりきゅうきゅう3	○	○	○	○	○	○	車載型
	大曲携帯1	おおまがりけいたい1	○	○	○	○	○	○	携帯型
	大曲携帯2	おおまがりけいたい2	○	○	○	○	○	○	携帯型
	大曲携帯3	おおまがりけいたい3	○	○	○	○	○	○	携帯型
	大曲携帯4	おおまがりけいたい4	○	○	○	○	○	○	携帯型
	大曲携帯5	おおまがりけいたい5	○	○	○	○	○	○	携帯型
	大曲携帯6	おおまがりけいたい6	○	○	○	○	○	○	携帯型
	大曲携帯7	おおまがりけいたい7	○	○	○	○	○	○	携帯型
	大曲携帯8	おおまがりけいたい8	○	○	○	○	○	○	携帯型
	大曲携帯9	おおまがりけいたい9	○	○	○	○	○	○	携帯型
	大曲携帯10	おおまがりけいたい10	○	○	○	○	○	○	携帯型
	大曲携帯11	おおまがりけいたい11	○	○	○	○	○	○	携帯型
	大曲携帯12	おおまがりけいたい12	○	○	○	○	○	○	携帯型
大曲携帯13	おおまがりけいたい13	○	○	○	○	○	○	携帯型	
南分署	南分署1	みなみぶんしょ1	○	○	○	○	○	○	卓上型
	南ポンプ1	みなみぼんぶ1	○	○	○	○	○	○	車載型
	南ポンプ2	みなみぼんぶ2	○	○	○	○	○	○	車載型
	南広報1	みなみこうほう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	南救急1	みなみきゅうきゅう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	南携帯1	みなみけいたい1	○	○	○	○	○	○	携帯型
	南携帯2	みなみけいたい2	○	○	○	○	○	○	携帯型
	南携帯3	みなみけいたい3	○	○	○	○	○	○	携帯型
	南携帯4	みなみけいたい4	○	○	○	○	○	○	携帯型
	南携帯5	みなみけいたい5	○	○	○	○	○	○	携帯型
南携帯6	みなみけいたい6	○	○	○	○	○	○	携帯型	

常置場所	名 称	呼出名称	デジタル送信周波数						備 考
			活動波				主運用波	統制波	
			1	2	3	4	1	1～3	
東分署	東分署1	ひがしぶんしょ1	○	○	○	○	○	○	卓上型
	東ポンプ1	ひがしぼんぷ1	○	○	○	○	○	○	車載型
	東ポンプ2	ひがしぼんぷ2	○	○	○	○	○	○	車載型
	東広報1	ひがしこうほう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	東救急1	ひがしきゅうきゅう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	東携帯1	ひがしけいたい1	○	○	○	○	○	○	携帯型
	東携帯2	ひがしけいたい2	○	○	○	○	○	○	携帯型
	東携帯3	ひがしけいたい3	○	○	○	○	○	○	携帯型
	東携帯4	ひがしけいたい4	○	○	○	○	○	○	携帯型
	東携帯5	ひがしけいたい5	○	○	○	○	○	○	携帯型
	東携帯6	ひがしけいたい6	○	○	○	○	○	○	携帯型
西分署	曲消西	きょくしょうにし	○		○	○	○		基地局
	西分署1	にしぶんしょ1	○	○	○	○	○	○	卓上型
	西ポンプ1	にしぼんぷ1	○	○	○	○	○	○	車載型
	西ポンプ2	にしぼんぷ2	○	○	○	○	○	○	車載型
	西広報1	にしこうほう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	西救急1	にしきゅうきゅう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	西携帯1	にしけいたい1	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西携帯2	にしけいたい2	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西携帯3	にしけいたい3	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西携帯4	にしけいたい4	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西携帯5	にしけいたい5	○	○	○	○	○	○	携帯型
西携帯6	にしけいたい6	○	○	○	○	○	○	携帯型	
西仙北分署	曲消西仙	きょくしょうにしせん	○		○	○	○		基地局
	西仙北分署1	にしせんぼくぶんしょ1	○	○	○	○	○	○	卓上型
	西仙ポンプ1	にしせんぼんぷ1	○	○	○	○	○	○	車載型
	西仙広報1	にしせんこうほう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	西仙救急1	にしせんきゅうきゅう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	西仙携帯1	にしせんけいたい1	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西仙携帯2	にしせんけいたい2	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西仙携帯3	にしせんけいたい3	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西仙携帯4	にしせんけいたい4	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西仙携帯5	にしせんけいたい5	○	○	○	○	○	○	携帯型
	協和分署	曲消協和	きょくしょうきょうわ	○		○	○	○	
協和分署1		きょうわぶんしょ1	○	○	○	○	○	○	卓上型
協和ポンプ1		きょうわぼんぷ1	○	○	○	○	○	○	車載型
協和広報1		きょうわこうほう1	○	○	○	○	○	○	車載型
協和救急1		きょうわきゅうきゅう1	○	○	○	○	○	○	車載型
協和携帯1		きょうわけいたい1	○	○	○	○	○	○	携帯型
協和携帯2		きょうわけいたい2	○	○	○	○	○	○	携帯型
協和携帯3		きょうわけいたい3	○	○	○	○	○	○	携帯型
協和携帯4		きょうわけいたい4	○	○	○	○	○	○	携帯型
協和携帯5		きょうわけいたい5	○	○	○	○	○	○	携帯型

常置場所	名 称	呼出名称	デジタル送信周波数						備 考	
			活動波				主運用波	統制波		
			1	2	3	4	1	1～3		
角館消防署	曲消角館	きょくしょうかくのだて		○	○	○	○	○	○	基地局
	角館消防署 1	かくのだてしょ 1	○	○	○	○	○	○	○	卓上型
	角館ポンプ 1	かくのだてぼんぷ 1	○	○	○	○	○	○	○	車載型
	角館タンク 1	かくのだてたんく 1	○	○	○	○	○	○	○	車載型
	角館救助 1	かくのだてきゅうじょ 1	○	○	○	○	○	○	○	車載型
	角館資材 1	かくのだてしぎい 1	○	○	○	○	○	○	○	車載型
	角館指揮 1	かくのだてしき 1	○	○	○	○	○	○	○	車載型
	角館救急 1	かくのだてきゅうきゅう 1	○	○	○	○	○	○	○	車載型
	角館携帯 1	かくのだてけいたい 1	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
	角館携帯 2	かくのだてけいたい 2	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
	角館携帯 3	かくのだてけいたい 3	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
	角館携帯 4	かくのだてけいたい 4	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
	角館携帯 5	かくのだてけいたい 5	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
	角館携帯 6	かくのだてけいたい 6	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
角館携帯 7	かくのだてけいたい 7	○	○	○	○	○	○	○	携帯型	
中仙分署	中仙分署 1	なかせんぶんしょ 1	○	○	○	○	○	○	○	卓上型
	中仙ポンプ 1	なかせんぼんぷ 1	○	○	○	○	○	○	○	車載型
	中仙広報 1	なかせんこうほう 1	○	○	○	○	○	○	○	車載型
	中仙救急 1	なかせんきゅうきゅう 1	○	○	○	○	○	○	○	車載型
	中仙携帯 1	なかせんけいたい 1	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
	中仙携帯 2	なかせんけいたい 2	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
	中仙携帯 3	なかせんけいたい 3	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
	中仙携帯 4	なかせんけいたい 4	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
中仙携帯 5	なかせんけいたい 5	○	○	○	○	○	○	○	携帯型	
田沢湖分署	曲消田沢	きょくしょうたざわ		○	○	○	○	○	○	基地局
	田沢湖分署 1	たざわこぶんしょ 1	○	○	○	○	○	○	○	卓上型
	田沢ポンプ 1	たざわぼんぷ 1	○	○	○	○	○	○	○	車載型
	田沢梯子 1	たざわはしご 1	○	○	○	○	○	○	○	車載型
	田沢広報 1	たざわこうほう 1	○	○	○	○	○	○	○	車載型
	田沢救急 1	たざわきゅうきゅう 1	○	○	○	○	○	○	○	車載型
	田沢携帯 1	たざわけいたい 1	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
	田沢携帯 2	たざわけいたい 2	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
	田沢携帯 3	たざわけいたい 3	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
	田沢携帯 4	たざわけいたい 4	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
	田沢携帯 5	たざわけいたい 5	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
	田沢携帯 6	たざわけいたい 6	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
西木分署	曲消西木	きょくしょうにしき		○	○	○	○	○	○	基地局
	西木分署 1	にしきぶんしょ 1	○	○	○	○	○	○	○	卓上型
	西木ポンプ 1	にしきぼんぷ 1	○	○	○	○	○	○	○	車載型
	西木広報 1	にしきこうほう 1	○	○	○	○	○	○	○	車載型
	西木救急 1	にしききゅうきゅう 1	○	○	○	○	○	○	○	車載型
	西木携帯 1	にしきけいたい 1	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西木携帯 2	にしきけいたい 2	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西木携帯 3	にしきけいたい 3	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西木携帯 4	にしきけいたい 4	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西木携帯 5	にしきけいたい 5	○	○	○	○	○	○	○	携帯型

合計	無線局種別	基地局	卓上移動局	車載移動局	携帯移動局	可搬移動局
		7	10	50	67	1

## 一般回線からの119番受信件数

統計月日：令和元年

内 容	火 災	救 急	救 助	その他災害	間 違 い いたずら	通報訓練	病院照会	問い合わせ	試験	その他	転送・ FAX	合計
1月	2	171		2	3	15		1	10	132		336
2月		131		2	2	26		2	40	146		349
3月		156			2	47		1	72	166		444
4月	3	156		3	2	29		3	34	201		431
5月	4	157		1	9	22		1	28	232		454
6月	1	121			4	77	1	2	27	134		367
7月		145		1	5	41			19	146		357
8月	1	153		3	4	13	1	2	25	215		417
9月		129	1	1	1	38		6	78	218		472
10月	1	128		2	5	69		2	62	202		471
11月	1	135		2	8	83	1	3	34	192		459
12月	3	162			6	36	1	1	33	158		400
合 計	16	1,744	1	17	51	496	4	24	462	2,142	0	4,957

## 携帯電話からの119番受信件数

統計月日：令和元年

内 容	火 災	救 急	救 助	その他災害	間 違 い いたずら	通報訓練	病院照会	問い合わせ	試験	その他	転送・ FAX	合計
1月	1	127	1	1	4	2	1		2	37		176
2月	2	92			4	2		1		31		132
3月	2	120			3	6		1	4	38		174
4月	5	110		4	2	2	1	5		51	1	181
5月	7	107		3	5		1	1	7	32		163
6月	9	126		1	7	1		3	2	42		191
7月	5	127		2	10	15		2	2	23		186
8月	6	166	1	1	8	5		4	2	55		248
9月	2	127		1	10	7	1	4	16	39		207
10月	2	117	1	1	15	9	1	5	1	28		180
11月	2	99		2	7	13		2	2	19		146
12月		140		4	5	3		3		32		187
合 計	43	1,458	3	20	80	65	5	31	38	427	1	2,171

## I P 電話からの119番受信件数

統計月日：令和元年

内 容	火 災	救 急	救 助	その他災害	間 違 い いたずら	通報訓練	病院照会	問い合わせ	試験	その他	転送・ FAX	合計
1月		194			3	11		6		15		229
2月		164			1	7				9		181
3月	1	177		1	3	18	1		5	18		224
4月	3	154			4	15		1	6	19	1	203
5月	3	150		2	2	17		1	7	21		203
6月		132			4	29		1	3	15		184
7月	2	159	1		2	30		3	2	17		216
8月		191		3	1	13			1	17		226
9月		136	1		3	11			2	7		160
10月		162		2	1	54		3	1	9	1	233
11月	1	193			4	43		1		16		258
12月		175		1	1	26		1	1	15		220
合 計	10	1,987	2	9	29	274	1	17	28	178	2	2,537

## 119番受信件数（総合計）

統計月日：令和元年

内 容	火 災	救 急	救 助	その他災害	間 違 い いたずら	通報訓練	病院照会	問い合わせ	試験	その他	転送・ FAX	合計
1月	3	492	1	3	10	28	1	7	12	184		741
2月	2	387		2	7	35		3	40	186		662
3月	4	453		1	8	71	1	2	81	221		842
4月	11	420		7	8	46	1	9	40	271	2	815
5月	14	414		6	16	39	1	3	42	285		820
6月	10	379		1	15	107	1	6	32	191		742
7月	7	431	1	3	17	86		5	23	186		759
8月	7	510	1	7	13	31	1	6	28	287		891
9月	2	392	2	2	14	56	1	10	96	264		839
10月	3	407	1	5	21	132	1	10	64	239	1	884
11月	4	427		4	19	139	1	6	36	227		863
12月	3	477		5	12	65	1	5	34	205		807
合 計	70	5,189	6	46	160	835	10	72	528	2,746	3	9,665

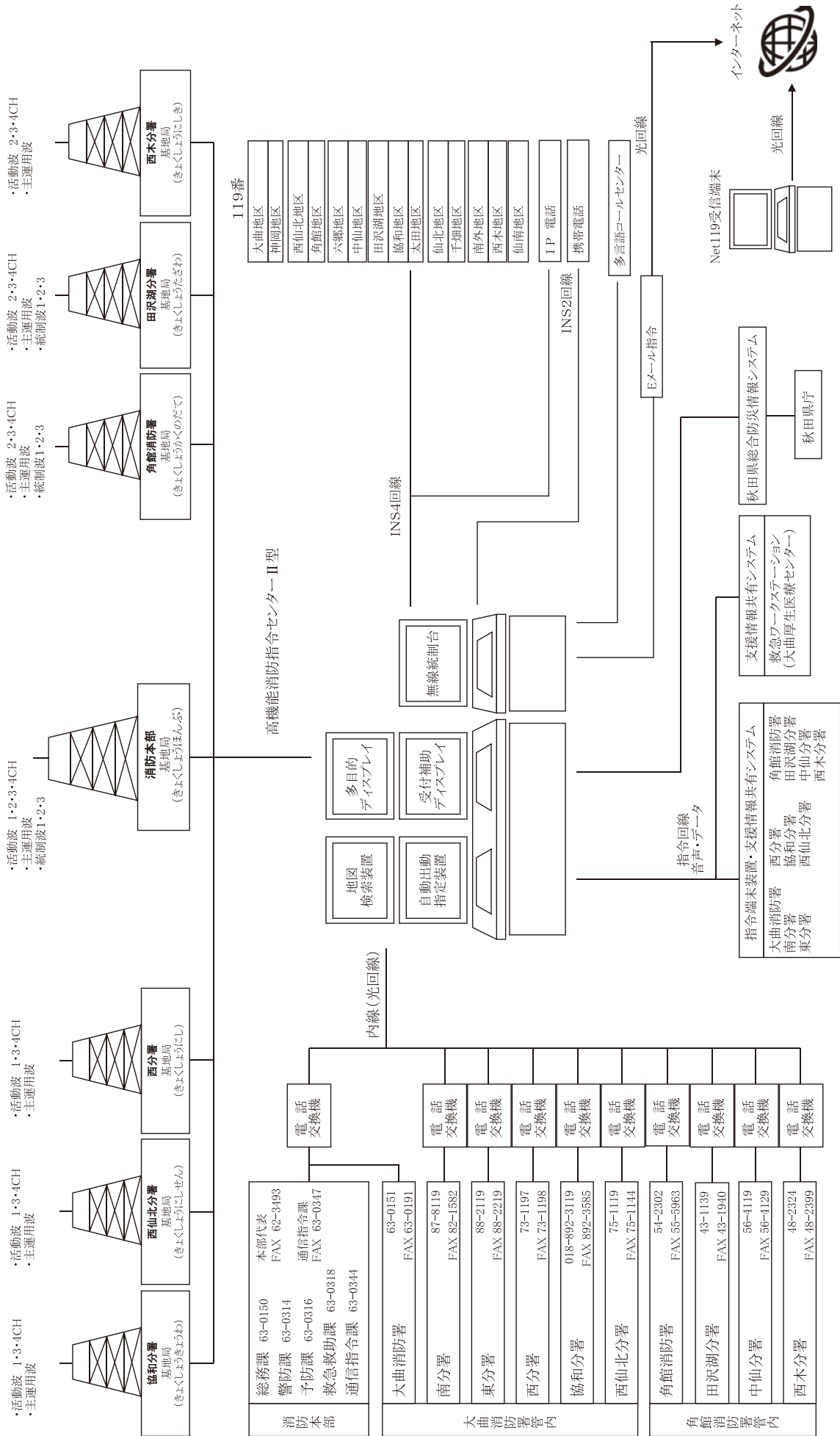
## 高機能消防指令センター（Ⅱ型）機器構成

装 置 名	数 量	備 考
1 指令装置		
(1) 指令台	3 台	1 席 4 画面構成（自動出動、地図装置） 通常時：指令台 1 席 4 画面× 3 輻輳時：指令台 1 席 2 画面× 6 ・指令台機構（音声系制御部内蔵） ・マルチパネル 6 台、ハードキー 6 台
(2) 自動出動指定装置		
① 制御処理装置	1 式	サーバー 2 台による二重化構造
② ディスプレイ	3 台	タッチディスプレイ
③ データメンテナンス装置	1 台	
④ 多目的ディスプレイ	3 台	タッチディスプレイ
⑤ 受付補助ディスプレイ	3 台	タッチディスプレイ
(3) 地図等検索装置		
① 地図等検索装置	1 式	
② 地図用ディスプレイ	3 台	タッチディスプレイ
(4) 長時間録音装置	1 台	
(5) 非常用指令装置	1 式	指令制御装置同等機能
(6) 指令制御装置	1 式	
(7) モノクロプリンタ	14 台	
(8) カラープリンタ	1 台	
(9) スキャナ	1 台	
(10) 署所端末	10 式	車両登録機能、無線バックアップ機能付
2 表示盤		
(1) 車両運用表示盤	1 式	4 面マルチ（92インチ）
(2) 支援情報表示装置	1 式	4 面マルチ（92インチ）
(3) 多目的情報表示装置	1 式	4 面マルチ（92インチ） 映像制御装置・操作部等含む
3 無線統制台	1 式	8 c h 実装 12 型 L C D タッチ操作部
4 指令電送装置		
(1) 指令情報送信装置	1 式	
(2) 指令情報出力装置	11 式	P C、プリンタ構成
5 気象情報収集装置	1 式	



装 置 名	数 量	備 考
6 音声合成装置	1 式	音片蓄積合成方式
7 出動車両運用管理装置		
(1) 管理装置	1 式	
(2) 車両運用端末装置	47 式	A V M一体型ナビゲーション端末装置
8 システム監視装置	1 式	
9 電源設備		
(1) 無停電電源装置 (本部用)	2 式	20 K V A
(2) 無停電電源装置 (署所用)	11 式	2 K V A
(3) 直流電源装置 (DC48V系)	1 式	
10 災害状況等自動案内装置	1 式	電子式、N T Tテレドームと連動
11 統合型位置情報通知装置	1 式	
12 動画像電送装置		
(1) 動画電送装置	2 式	メディアレイ (大曲署、角館署)
(2) 動画受信装置	1 式	
14 Eメール指令装置	1 式	
15 N e t 1 1 9	1 式	
16 1 1 9 F A X受信装置	1 式	
17 1 1 9メール受信装置	1 式	
18 I P電話交換設備	1 式	
19 情報表示盤		
(1) 40型モニタ	1 式	出動準備室
(2) 32型モニタ	2 式	指令センター
20 消防ネットワーク装置	1 式	
21 I T支援情報端末装置		
(1) 情報端末装置 (イントラ)	2 台	21インチTFTモニタ
(2) 情報端末装置 (インターネット)	1 台	21インチTFTモニタ
22 高所監視カメラ装置	1 式	
23 その他装置		
(1) 高速回線避雷ユニット	10 式	

# 通 信 網 図



# 消 防 団 関 係



第56回秋田県消防操法大会小型ポンプ操法の部  
第1位 美郷町消防団第2分団



# 消防団員数・機械等配置状況

令和2年4月1日現在

区 分	人 員													機 械			ホ ー ス	ポ ン プ 置 場 数	ホ ー ス 乾 燥 塔		
	総 数		団 長	副 団 長	支 団 長	副 支 団 長	分 団 長 ( 監 )	副 分 団 長 ( 監 )	主 席 部 長	部 長 ( 代 理 )	副 部 長	班 長 ( 第 一 班 長 )	副 班 長 ( 第 二 班 長 )	団 員	ポ ン プ 車	積 載 車				小 型 動 力 ポ ン プ	
	定 員	実 員																			
総 合 計	2,410	1,987	3	8	8	16	54	102	8	114	0	311	36	1,327	0	141	112	3,172	209	113	
大 仙 市	大仙市合計	1,375	1,106	1	3	8	16	34	72	8	67	0	148	36	713	0	83	37	1,772	110	73
	本 部	38	23	1	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	16	0	0	0	0	0	0
	大曲支団	343	263	0	0	1	2	8	16	0	21	0	28	17	170	0	18	6	410	21	9
	神岡支団	85	66	0	0	1	2	2	5	0	5	0	9	1	41	0	5	5	175	5	5
	西仙北支団	146	124	0	0	1	2	4	11	8	3	0	30	0	65	0	10	2	269	13	7
	中仙支団	189	144	0	0	1	2	5	10	0	8	0	16	6	96	0	16	1	252	16	5
	協和支団	240	202	0	0	1	2	4	8	0	11	0	36	0	140	0	8	22	364	28	24
	南外支団	100	86	0	0	1	2	3	6	0	6	0	6	4	58	0	6	1	100	7	11
	仙北支団	123	109	0	0	1	2	4	8	0	8	0	8	8	70	0	8	0	121	8	8
太田支団	111	89	0	0	1	2	4	8	0	5	0	12	0	57	0	12	0	81	12	4	
仙 北 市	630	536	1	3			11	21		35		107		358		30	43	1,020	73	35	
美 郷 町	405	345	1	2	0	0	9	9	0	12	0	56	0	256	0	28	32	380	26	5	

# 正副団長・支団長名簿

令和2年4月1日現在

所 属	階 級	氏 名	採用年月日	現階級任命年月日
大仙市本部	団 長	佐 藤 一	S47. 1. 1	H29. 4. 1
	副 団 長	豊 卷 一 男	S49. 12. 1	H29. 4. 1
	副 団 長	西 嶋 次 男	S48. 4. 1	H31. 4. 1
	副 団 長	田 村 健 郎	S55. 7. 15	R 2. 4. 1
大曲支団	支 団 長	佐 藤 昇	S51. 1. 1	H31. 4. 1
	副支団長	佐 藤 洋 悦	H 2. 1. 1	H30. 4. 1
	副支団長	新 山 裕 司	S54. 1. 1	R 2. 4. 1
神岡支団	支 団 長	池 田 君 男	S63. 5. 26	R 2. 4. 1
	副支団長	高 橋 昇	S55. 7. 21	R 2. 4. 1
	副支団長	武 藤 吉 和	H 3. 9. 6	R 2. 4. 1
西仙北支団	支 団 長	大 友 金己知	S53. 7. 1	H29. 4. 1
	副支団長	佐 藤 剛 司	S52. 5. 1	H23. 4. 1
	副支団長	佐々木 博 幸	H 3. 12. 1	H29. 4. 1
中仙支団	支 団 長	冨 岡 喜 榮	S46. 4. 10	H29. 4. 1
	副支団長	高 橋 和 美	S50. 4. 10	H29. 4. 1
	副支団長	鈴 木 和 夫	S56. 8. 1	H29. 4. 21
協和支団	支 団 長	進 藤 文 隆	S48. 4. 1	H30. 4. 1
	副支団長	菅 原 俊 一	S47. 11. 1	H28. 4. 1
	副支団長	加 藤 元	S54. 4. 1	H30. 4. 1
南外支団	支 団 長	今 野 徳 雄	S53. 8. 1	H31. 4. 1
	副支団長	佐々木 正 光	H 1. 10. 5	H28. 6. 1
	副支団長	佐々木 久	S61. 4. 1	H31. 4. 1
仙北支団	支 団 長	小 松 強	S52. 4. 1	H30. 4. 1
	副支団長	小 柳 伸 一	S51. 1. 1	H21. 3. 22
	副支団長	藤 嶋 俊 彦	S60. 4. 1	H30. 4. 1
太田支団	支 団 長	藤 谷 勉	S58. 6. 27	R 2. 4. 1
	副支団長	佐 藤 聖 臣	S53. 4. 1	H30. 1. 5
	副支団長	藤 谷 知 義	S59. 6. 20	R 2. 4. 1
仙 北 市	団 長	渡 辺 勇 悦	S57. 12. 1	H31. 4. 1
	副 団 長	佐 藤 乃 三	S57. 4. 21	H29. 4. 1
	副 団 長	下 田 忠 浩	S63. 4. 1	H31. 4. 1
	副 団 長	赤 坂 透	S52. 11. 1	R 2. 4. 1
美 郷 町	団 長	高 橋 正 尚	S51. 4. 1	H24. 4. 1
	副 団 長	辻 清 己	S58. 7. 1	H30. 4. 1
	副 団 長	大 坂 久 男	S51. 4. 22	H31. 4. 1

# 消防団員等報酬調べ

令和2年4月1日現在（単位：円）

	大 仙 市	仙 北 市	美 郷 町
団 長	86,000	83,500	83,500
副 団 長	73,000	66,500	66,500
支 団 長	73,000		
副 支 団 長	69,000		
分 団 長	50,500	51,000	51,000
副 分 団 長	45,500	43,500	43,500
主 席 部 長	38,000		
部 長	38,000	35,000	34,000
副 部 長	38,000		
班 長	37,000	32,500	32,500
副 班 長	37,000		
団 員	36,500	30,000	基本消防団員 30,000 機能別消防団員 5000
費用弁償等	出動手当（日額） 4,400円 誤報等出動手当（日額） 2,200円 訓練手当（日額） 3,500円 警戒手当（日額） 4,400円	災害出動（1回につき） 5,000円 出動（警戒・訓練・巡回 広報手当）（1回につき） 3,000円 会議等の出務手当 （1回につき） 2,200円	災害出場 4,300円 捜索出場 4,300円 警戒訓練出場 2,900円 会議等出席 2,900円
定 年 制	全団員 70歳	全団員 70歳	副分団長以上及び 機能別消防団員 70歳 団員～部長 65歳

## 過去消防操法大会成績一覽表

年 度	優 勝 消 防 団	県大会順位
昭和 46 年度	六郷町消防団第 3 分団 (小型ポンプ)	
昭和 47 年度	太田町消防団第 3 分団 (小型ポンプ)	
昭和 48 年度	南外村消防団第 4 分団 (小型ポンプ)	
昭和 49 年度	南外村消防団第 4 分団 (小型ポンプ)	
昭和 50 年度	西木村消防団第 3 分団 (小型ポンプ)	第 6 位
	田沢湖町消防団第 5 分団 (ポンプ車)	第 5 位
昭和 51 年度	西木村消防団第 3 分団 (小型ポンプ)	第 8 位
	田沢湖町消防団第 5 分団 (ポンプ車)	第 2 位
昭和 52 年度	田沢湖町消防団第 6 分団 (小型ポンプ)	第 4 位
	田沢湖町消防団第 5 分団 (ポンプ車)	第 1 位
昭和 53 年度	太田町消防団第 5 分団 (小型ポンプ)	第 1 位
	西仙北町消防団第 2 分団 (ポンプ車)	第 9 位
昭和 54 年度	千畑町消防団第 1 分団 (小型ポンプ)	第 2 位
	西仙北町消防団第 2 分団 (ポンプ車)	第 9 位
昭和 55 年度	太田町消防団第 1 分団 (小型ポンプ)	第 2 位
	神岡町消防団第 1 分団 (ポンプ車)	第 9 位
昭和 56 年度	西仙北町消防団第 4 分団 (小型ポンプ)	第 4 位
	田沢湖町消防団第 5 分団 (ポンプ車)	第 2 位
昭和 57 年度	西仙北町消防団第 4 分団 (小型ポンプ)	第 7 位
	田沢湖町消防団第 5 分団 (ポンプ車)	第 2 位
昭和 58 年度	田沢湖町消防団第 6 分団 (小型ポンプ)	第 2 位
	神岡町消防団第 1 分団 (ポンプ車)	第 6 位
昭和 59 年度	西仙北町消防団第 4 分団 (小型ポンプ)	第 1 位
	神岡町消防団第 1 分団 (ポンプ車)	第 4 位
昭和 60 年度	田沢湖町消防団第 6 分団 (小型ポンプ)	第 3 位
	神岡町消防団第 1 分団 (ポンプ車)	第 3 位
昭和 61 年度	田沢湖町消防団第 6 分団 (小型ポンプ)	第 4 位
	西仙北町消防団第 6 分団 (ポンプ車)	第 7 位
	角館町堂の口婦人消防隊 (軽可搬ポンプ車)	最優秀賞
昭和 62 年度	太田町消防団第 5 分団 (小型ポンプ)	第 6 位
	南外村消防団本部分団 (ポンプ車)	第 7 位
	西仙北町八木山婦人消防隊 (軽可搬ポンプ車)	優秀賞
昭和 63 年度	田沢湖町消防団第 6 分団 (小型ポンプ)	第 8 位
	角館町雲然婦人消防隊 (軽可搬ポンプ車)	最優秀賞



年 度	優 勝 消 防 団	県大会順位
平成元年度	田沢湖町消防団第6分団 (小型ポンプ) 西仙北町大場台婦人消防隊 (軽可搬ポンプ)	第 4 位 最 優 秀 賞
平成2年度	田沢湖町消防団第6分団 (小型ポンプ) 角館町下川原婦人消防隊 (軽可搬ポンプ)	第 4 位 最 優 秀 賞
平成3年度	仙南村消防団第3分団 (小型ポンプ) 中仙町清水婦人消防隊 (軽可搬ポンプ)	第 4 位 優 秀 賞
平成4年度	仙南村消防団第3分団 (小型ポンプ) 中仙町清水婦人消防隊 (軽可搬ポンプ)	第 2 位 最 優 秀 賞
平成5年度	角館町消防団第3分団 (小型ポンプ)	第 5 位
平成6年度	仙南村消防団第3分団 (小型ポンプ)	第 2 位
平成7年度	仙南村消防団第3分団 (小型ポンプ)	第 8 位
平成8年度	仙南村消防団第3分団 (小型ポンプ)	第 1 位
平成9年度	千畑町消防団第3分団 (小型ポンプ)	第 4 位
平成10年度	田沢湖町消防団第6分団 (小型ポンプ)	第 4 位
平成11年度	仙南村消防団第3分団 (小型ポンプ)	第 1 位
平成12年度	仙南村消防団第3分団 (小型ポンプ)	第 2 位
平成13年度	田沢湖町消防団第6分団 (小型ポンプ)	第 3 位
平成14年度	千畑町消防団第3分団 (小型ポンプ)	第 7 位
平成15年度	田沢湖町消防団第6分団 (小型ポンプ)	第 2 位
平成16年度	千畑町消防団第3分団 (小型ポンプ)	第 3 位
平成17年度	美郷町消防団第10分団 (小型ポンプ)	第 7 位
平成18年度	仙北市田沢湖消防団第6分団 (小型ポンプ)	第 4 位
平成19年度	仙北市田沢湖消防団第6分団 (小型ポンプ)	第 1 位
平成20年度	仙北市消防団第4分団 (小型ポンプ)	第 2 位
平成21年度	大仙市消防団大曲支団2分団 (小型ポンプ)	第 4 位
平成22年度	仙北市消防団第4分団 (小型ポンプ)	第 7 位
平成23年度	大仙市消防団大曲支団第2分団 (小型ポンプ)	第 4 位
平成24年度	大仙市消防団大曲支団第2分団 (小型ポンプ)	第 2 位
平成25年度	美郷町消防団第2分団 (小型ポンプ)	第 3 位
平成26年度	美郷町消防団第2分団 (小型ポンプ)	第 1 位
平成27年度	美郷町消防団第2分団 (小型ポンプ)	第 1 位
平成28年度	美郷町消防団第2分団 (小型ポンプ) 大仙市女性消防団 (軽可搬ポンプ)	第 2 位 第 1 位
平成29年度	美郷町消防団第2分団 (小型ポンプ) 大仙市女性消防団 (軽可搬ポンプ)	第 1 位 第 2 位
平成30年度	美郷町消防団第2分団 (小型ポンプ) 大仙市女性消防団 (軽可搬ポンプ)	第 1 位 第 4 位
令和元年度	美郷町消防団第2分団 (小型ポンプ)	第 1 位

※ ■■■ 網かけ部分は全国消防操法大会出場分団

※仙南村消防団は、平成8年10月16日、横浜市で開催された全国消防操法大会、小型ポンプ操法の部でみごと優勝に輝く。



災 害 記 録



西暦	年 号	種 別	記 録
807	大同 2 年	噴 火	生保内駒ヶ岳
1618	元和 4 年	洪 水	西明寺洪水にて河流変る
1619	元和 5 年	〃	6 月 角館洪水13人溺死する
1682	天和 2 年	火 災	3 月12日 刈和野大火
1687	貞享 4 年	飢 饉	正月角館飢饉、長野村飢饉数百人死亡
〃	〃	洪 水	角館洪水 4 度あり
1704	宝永元年	火 災	3 月13日 生保内村大火
1709	宝永 6 年	〃	9 月 刈和野大火
1720	享保 5 年	大 雪	10月 仙北大雪により稲、雪の下となる
1724	享保 9 年	洪 水	5 月 仙北地方大洪水
1732	享保17年	火 災	4 月22日 生保内村大火
1736	元文元年	〃	5 月22日 長野村46棟焼失
1738	元文 3 年	〃	5 月20日 生保内村大火49棟焼失
1744	延享元年	〃	5 月15日 生保内村大火
1745	延享 2 年	洪 水	玉川洪水
1767	明和 4 年	火 災	5 月14日 生保内大火
1779	安永 8 年	〃	9 月19日 六郷大火110棟焼失
1785	天明 5 年	洪 水	玉川洪水
1786	天明 6 年	火 災	4 月 9 日 角館大火350棟焼失
〃	〃	〃	5 月26日 長野大火39棟焼失
1788	天明 8 年	飢 饉	飢饉のため六郷の住民騒ぐ
1798	寛政10年	火 災	5 月 2 日 角館150棟焼失
1810	文化 7 年	〃	5 月 1 日 六郷139棟焼失
〃	〃	〃	7 月 6 日 角館105棟焼失
1828	文政11年	洪 水	7 月 8 日 大曲地方洪水
1840	天保12年	火 災	7 月22日 六郷大火全町焼失
1854	安政元年	洪 水	6 月17日 角館大洪水
1874	明治 7 年	火 災	3 月27日 刈和野150棟焼失
1880	明治13年	大 雪	1 月より仙北地方で 2 丈 4 尺の積雪
1882	明治15年	火 災	8 月 6 日 角館260棟焼失
1885	明治18年	〃	6 月13日 角館110棟焼失
1886	明治19年	〃	3 月14日 六郷町120棟焼失
1896	明治29年	地 震	8 月31日 17時 6 分六郷を震源とする地震〔陸羽地震〕マグニチュード7.2、死者209人、負傷者779人、住家全壊6,079棟 (仙北郡のみ死者184人、傷者603人、住宅全壊3,295棟)
1900	明治33年	火 災	5 月21日 角館町262棟焼失、死者 2 名
1902	明治35年	〃	5 月 5 日 刈和野246棟焼失
1904	明治37年	大 雨	土川村明光沢の大堰決壊、水田40町歩、畑10町歩流失
1907	明治41年	雷	六郷町で落雷のため死者 1 名
1909	明治42年	洪 水	4 月 8 日 雄物川洪水、刈和野一峰吉川にて連結貨物乗員とともに峰吉川水中に転落する。

西暦	年 号	種 別	記 録
1914	大正3年	地 震	3月15日 4時58分、仙北郡強首・大沢郷村を中心に震度7の激震（秋田は震度6）〔秋田仙北地震（強首地震）〕 マグニチュード7.1。震域は南は新潟から北は青森まで東北一円に及んだ。被害は北の2都を除く1市7郡におよび、死者94名、傷者31名、住家全壊640棟、非住家全壊285棟
1921	大正10年	洪 水	4月4日 角館川床上浸水53棟、床下35棟
1922	大正11年	雷 雨	8月8日 桧木内村に大雷雨おこり堤防決壊橋梁流失等数ヶ所あり、刈和野町にて水田50町歩、畑30町歩浸水
〃	〃	強 風	12月15日～16日 大曲一角館間電灯線200本傾倒
1923	大正12年	洪 水	6月30日 花館水位5.8メートル
1924	大正13年	火 災	5月24日 六郷町120棟焼失
1927	昭和2年	水 害	7月14日 長野町200棟、角館床上10棟、床下70棟、山津波のため鉄道路線の被害大
1932	昭和7年	噴 火	7月下旬駒ヶ岳活動を始め泥流火山灰有毒ガス噴出するも被害なし
1935	昭和10年	火 災	5月17日 生保内村宿大火、役場・郵便局・農業組合・駐在所など110棟全焼
1946	昭和21年	〃	5月17日 北檜岡村火災167棟焼失
1947	昭和22年	水 害	7月24日 雄物川水系60年来の洪水T.P26.06m、刈和野町流失家屋112棟
1948	昭和23年	〃	9月16日～17日 アイオン台風により雄物川が増水し、大曲で水位5.3m
1951	昭和26年	火 災	5月4日 12時40分西明寺火災、全焼54棟、山林20町歩焼失
1952	昭和27年	降 雹	6月20日 角館、千屋方面雀卵大の降雹
〃	〃	火 災	10月2日 仙北医療組合病院火災、635坪全焼
〃	〃	〃	5月19日 刈和野町火災128棟焼失
1954	昭和29年	〃	2月8日 午前2時高梨小学校火災1,362坪全焼、宿直の助教諭死亡
〃	〃	〃	5月29日 午前3時30分角館町駅通り34棟焼失
〃	〃	〃	9月16日 9時20分刈和野中学校火災1,367坪全焼
1955	昭和30年	落 雷	6月10日 7時頃南外村雄物川つり舟に落雷、1名行方不明
〃	〃	火 災	7月15日 生保内町駅前大火23棟全焼
1956	昭和31年	大雨洪水	6月20日～21日 田沢湖周辺で140mmの豪雨あり、床下浸水54棟、水田冠水5町歩、道路損壊3、堤防決壊8
〃	〃	火 災	10月9日 田沢湖町生保内駅前大火、住家22棟全焼
〃	〃	〃	10月23日 角館町白岩中学校から出火6教室及び雨天体操場焼失
1957	昭和32年	雪 崩	1月30日 角館町山谷国有林地内作業小屋つぶれ1名死亡、2名重傷
〃	〃	火 災	5月10日 神岡町北檜岡で大火317棟全焼
〃	〃	〃	12月18日 大曲駅前仙北協同農業倉庫7棟、事務所及び政府保管米45,000俵焼失、損害2億500万円

西暦	年 号	種 別	記 録
1959	昭和34年	火 災	2月12日 大曲市内デパートから出火、6棟全半焼、1,232㎡焼失
1960	昭和35年	〃	5月9日 0時頃仙南村飯詰上深井から出火、住家など35棟20世帯を全焼し1時50分鎮火した。
〃	〃	大 雨	8月3日 田沢湖町生保内字沼田地内で生保内川が氾濫し、死者11名、行方不明4名、流出、埋没、耕地140haなど総被害額4億5千万円
〃	〃	火 災	8月7日 午後3時40分頃協和村火災、住家5棟、非住家6棟全焼
1961	昭和36年	〃	2月12日 大曲市内デパートから出火、7棟全半焼2,433㎡焼失
〃	〃	雪 崩	3月3日 午後1時西仙北町大沢郷雪崩、1名死亡
〃	〃	水 害	4月4日～5日 田沢湖周辺に大雨が降り死者1名、家屋浸水65棟、田畑冠水230ha、道路決壊12ヶ所、橋梁損壊8ヶ所、堤防決壊6ヶ所、山崩れ2ヶ所発生
〃	〃	火 災	7月24日 午前1時2分頃大曲市大曲字土屋館歯科医院より出火。全焼3棟、半焼1棟、部分焼1棟、死者2名、傷者2名
1963	昭和38年	大 雨	7月16日から17日の朝まで60mmの大雨となり、大曲仙北地区で死者2名のほか、住家の床上浸水15棟、床下浸水245棟、非住家88棟、水田147.7ha、畑950ha、農業用施設14ヶ所、道路決壊21ヶ所、橋梁損壊8ヶ所、堤防決壊110ヶ所、砂防1ヶ所など5億5,836万円余りの被害がでた。
1964	昭和39年	火 災	1月3日 午前11時頃仙南村日通飯詰駅前倉庫より出火。米一万俵以上、肥料等1億円以上が消失
〃	〃	地 震	6月16日 13時2分新潟沖を震源とする地震〔新潟地震〕、仙北地方震度3
〃	〃	水 害	7月14日 桧木内125mm、田沢湖113mm、鎧畑106mmの降雨があり、被害総額全県6億6,200万円に達した。
1965	昭和40年	火 災	1月9日 大曲市高関上郷から出火、死者1名、住家、非住家1棟をそれぞれ焼失した。
〃	〃	豪 雪	3月16日～18日 豪雪のため交通マヒ状態になっている大曲市は、陸上自衛隊秋田駐屯地に対し、除雪作業を要請し16日から3日間100人の隊員が除雪に当たった。
〃	〃	火 災	3月31日 午後2時10分頃神岡町本郷から出火、死者1名、住家1棟全焼、非住家1棟半焼した。
〃	〃	〃	4月13日 午後11時10分頃西仙北町刈和野から出火、死者1名、住家7棟、非住家1棟を全焼した。
〃	〃	融 雪	4月14日 大曲市内小友中山地内の貯水池の排水道付近が融雪による水の増加により、住家2棟、非住家2棟が床下浸水し、水田埋没0.75ha、道路50m（県道大曲～大森線）が冠水した。また、中山地区、堂の沢溜池西側堤防（巾40m、高さ8m）が急激に増水した雪解け水で破れ、溜池の下流地区の水田1.2haが土砂で埋没した。

西暦	年 号	種 別	記 録
1965	昭和40年	融 雪	4月20日 大曲市中山地内で、かんがい用溜池が雪解け水のため決壊した。
〃	〃	水 害	7月14日から15日にかけて県南部に降った雨により、丸子川が氾濫し大曲市・仙北村に災害救助法が発動された。
〃	〃	〃	7月28日 田沢湖駒ヶ岳、乳頭山など山岳地帯に集中豪雨があり、県道西山～生保内線、国道46号線、仙岩峠等で道路決壊、土砂崩れがあった。
1966	昭和41年	強 風	1月6日 大曲飯田縫製工場が強風のため倒壊した。損害額130万円
〃	〃	火 災	1月12日 午後1時15分頃、角館町中学校体育館から出火、同体育館が全焼した。損害額1,000万円、原因はたばこの不始末
〃	〃	水 害	7月12日 午後7時10分頃、中仙町長野齊内川堤防が巾25mにわたり決壊し、近くの聖浄寺の本堂の地下がえぐられ、木造の本堂が半壊した。
〃	〃	火 災	8月21日 12時10分協和村荒川字水沢から出火、住家など40棟17世帯を全焼、17時鎮火した。原因は子どもの火遊び
1967	昭和42年	竜 卷	10月31日 角館町岩瀬に竜巻発生、住宅の屋根1棟吹き飛ばされた。
1968	昭和43年	地 震	5月16日 9時49分青森県東方沖を震源地とする地震〔十勝沖地震〕マグニチュード7.9、秋田震度4、鎧畑震度2を記録した。
〃	〃	火 災	8月2日 大曲市内店舗から出火、3棟全半焼767㎡焼失
1970	昭和45年	集中豪雨	8月1日 田沢湖周辺に162mmの豪雨があり、仙岩峠六枚沢で土砂崩れ
〃	〃	噴 火	9月18日 田沢湖駒ヶ岳が、昭和7年以来38年ぶりに噴火活動
〃	〃	地 震	10月16日 14時26分秋田県内陸南部（東成瀬村）を震源地とする地震、マグニチュード6.2
1971	昭和46年	集中豪雨	7月3日～4日 集中豪雨、大曲市内で200mmの降雨があり、被害は全郡に及んだ。
1972	昭和47年	水 害	7月7日～9日にわたり秋田県全域に大雨をもたらす雄物川、玉川水系の河川が氾濫し、大曲市・角館町・西仙北町・中仙町で被害を受ける。
1974	昭和49年	豪 雪	昨年12月上旬から近年にない大雪となり、積雪は連日の降雪で増加の一途をたどり、特に1月下旬から2月半ばにかけては大規模な寒波が襲来し、明治以来の豪雪になった。里雪型の豪雪であったため、除排雪が難渋し人身事故が数多く発生、住家の倒壊・浸水等のほか農林業、公共施設などに甚大な被害を与えた。〔48豪雪〕
〃	〃	火 災	6月7日 大曲市内印刷工場から出火2棟1,305㎡焼失
1975	昭和50年	〃	2月14日 千畑村土崎で火災、死者4名、傷者1名
1976	昭和51年	火 災	12月1日 南外村医院より出火、138㎡焼失、死者4名、傷者2名
1977	昭和52年	〃	12月29日 田沢湖町先達沢旅館放火される。1棟719㎡全焼
1979	昭和54年	〃	7月25日 協和町船沢で旅館が放火される。517㎡全焼



西暦	年 号	種 別	記 録
1979	昭和54年	火 災	9月5日 田沢湖町神代樺細工工場火災1,234㎡全焼
1980	昭和55年	〃	4月26日 西仙北町刈和野で火災、6棟1,279㎡全焼
1981	昭和56年	〃	10月25日 中仙町豊川火災、住家及び非住家2棟全半焼、死者2名
〃	〃	〃	11月13日 太田町長信田火災、住家及び非住家2棟全半焼、死者2名
1982	昭和57年	〃	4月14日 角館町西長野火災、住家1棟全焼、死者4名
〃	〃	〃	11月14日 大曲市須和町火災、住家3棟729㎡全半焼、死者1名、傷者1名
〃	〃	〃	12月10日 太田町小神成火災、住家及び非住家4棟全半焼、焼失面積1,166㎡
1983	昭和58年	〃	2月20日 大曲市あけぼの町料理店火災、1,050㎡全焼
〃	〃	〃	4月15日 仙北町板見内で空き家放火される。住家及び非住家4棟全焼、焼失面積488㎡
〃	〃	地 震	5月26日 11時59分秋田県沖を震源とする地震〔日本海中部地震〕マグニチュード7.7 県内被害：死者83名、負傷者265名、住家全壊1,132棟、住家半壊2,632棟
1985	昭和60年	火 災	4月23日 角館町岩瀬で倉庫が放火される。倉庫1棟1,412㎡全焼
〃	〃	〃	11月16日 太田町県立大曲農業高等学校太田分校火災1,990㎡全焼
1986	昭和61年	〃	12月18日 大曲市中通町火災、住家1棟全焼、死者1名、傷者2名
1987	昭和62年	〃	1月21日 田沢湖駒ヶ岳高原田沢荘火災1,178㎡全焼
〃	〃	水 害	8月17日～18日にわたり秋田県全域に大雨をもたらし、雄物川玉川水系の河川が氾濫し圏内12市町村が被害を受け、浸水面積4,686ha、床上浸水319棟、床下浸水468棟、被災人口3,260名に及んだ。
〃	〃	火 災	10月20日 大曲市丸の内町火災、住家1棟全焼、死者2名
1989	平成元年	〃	2月25日 角館町白岩火災、住家及び非住家3棟全半焼、死者3名
〃	〃	〃	3月3日 大曲市丸の内町、飲食ビル火災、住宅及び非住宅3棟全半焼
〃	〃	〃	5月19日 大曲市丸の内町、料理店火災、住家5棟全半焼、焼失面積1,195㎡、死者1名
〃	〃	〃	6月8日 角館町藪田火災、住家1棟全焼、死者2名
〃	〃	〃	6月29日 田沢湖町卒田火災、住家1棟全焼、死者1名
1990	平成2年	火 災	1月7日 千畑町金沢東根火災、住家1棟全焼、死者1名
〃	〃	〃	2月27日 角館町山根町火災、住家1棟全焼、死者1名、傷者1名

西暦	年 号	種 別	記 録
1990	平成 2 年	水 害	7月18日～19日の大雨により、田沢湖町、西木村に被害を受け、床上浸水3棟、床下浸水7棟、道路損壊9ヶ所、河川損壊7ヶ所におよんだ。
〃	〃	火 災	11月30日 角館町白岩火災、車両1台全焼、死者1名
1991	平成 3 年	火 災	12月21日 中仙町火災、住家1棟全焼、住家1棟部分焼、死者1名
〃	〃	強 風	9月28日 台風19号により、建物の全半壊が506棟、農林産を含め損害額約48億円におよんだ。最大瞬間風速51.4m/sを観測
1992	平成 4 年	火 災	1月19日 角館町火災、住家1棟全焼、死者1名、負傷者1名
〃	〃	〃	11月3日 千畑町火災、非住家1棟全焼、死者1名
1993	平成 5 年	〃	3月23日 仙北町火災、住家1棟全焼、死者1名
〃	〃	作業事故	7月7日 田沢湖町玉川地区にて建設中に橋梁が崩落し9名が転落、死者4名
〃	〃	火 災	8月19日 南外村火災、住家1棟全焼、死者1名
〃	〃	〃	9月23日 田沢湖町火災、住家1棟全焼、死者1名
〃	〃	〃	10月14日 六郷町火災、住家1棟全焼、死者1名
〃	〃	〃	10月27日 角館町火災、住家1棟全焼、死者1名
〃	〃	〃	12月17日 南外村火災、住家1棟全焼、死者1名
1994	平成 6 年	〃	1月14日 協和町火災、ホテル1棟592㎡全焼
〃	〃	〃	4月9日 大曲市火災、軽自動車1台焼損、死者1名
〃	〃	〃	12月5日 中仙町火災、住家1棟全焼、死者1名
1995	平成 7 年	〃	3月13日 中仙町火災、住家1棟全焼、死者2名
〃	〃	〃	3月18日 神岡町火災、住家1棟全焼、死者1名
〃	〃	〃	6月27日 仙北町火災、工場併用住宅等3棟全焼1,057㎡、死者1名
〃	〃	〃	7月4日 田沢湖町火災、住家1棟全焼、死者1名
〃	〃	〃	9月2日 千畑町火災、住家1棟全焼、死者1名
〃	〃	〃	12月10日 神岡町火災、住家1棟全焼、死者1名
1997	平成 9 年	火 災	2月24日 西仙北町火災、住家1棟全焼、死者2名
〃	〃	〃	3月14日 協和町火災、住家1棟全焼、死者1名
〃	〃	土砂崩落	5月14日 田沢湖町先達川上流土砂崩落、孫六、妙ノ湯温泉に避難要請
〃	〃	水 害	9月2日～3日 集中豪雨、中仙町、角館町、大曲市を中心に床上浸水28棟、床下浸水219棟、道路損壊10カ所
〃	〃	火 災	12月12日 太田町火災、住家1棟、非住家1棟全焼、死者1名
1998	平成10年	火 災	2月19日 大曲市火災、住家1棟全焼、死者1名
〃	〃	〃	3月9日 協和町火災、住家1棟全焼、死者1名
〃	〃	家屋微動	4月15日 太田町真木地区で家屋微動6世帯22人に避難勧告
〃	〃	火 災	11月8日 角館町火災、住家1棟全焼、死者2名
1999	平成11年	火 災	6月3日 西木村火災、住家1棟、非住家1棟全焼、死者1名
2000	平成12年	火 災	2月23日 西仙北町火災、住家1棟、非住家1棟全焼、死者1名

西暦	年 号	種 別	記 録
2000	平成12年	火 災	10月19日 協和町火災、住家1棟全焼、死者2名
〃	〃	〃	12月21日 大曲市秋田自動車道車両火災、死者1名
2001	平成13年	〃	1月22日 大曲市火災、住家及び店舗5棟全焼
〃	〃	〃	5月7日 太田町火災、住家1棟全焼、死者1名
〃	〃	〃	12月16日 西木村火災、住家1棟、非住家1棟全焼、死者1名、 負傷者1名
〃	〃	〃	12月20日 中仙町火災、住家1棟全焼、死者2名
2002	平成14年	台 風	7月11日 千畑町、台風6号により増水した川に転落、死者1 名
〃	〃	火 災	10月3日 千畑町火災、住宅1棟全焼、死者1名
〃	〃	〃	11月3日 角館町火災、町営住宅1棟部分焼、死者1名、負傷 者1名
2003	平成15年	火 災	1月2日 六郷町火災、住家1棟全焼、死者1名
〃	〃	地 震	5月26日 18時24分宮城県沖を震源とする地震〔三陸南地震〕 マグニチュード7.1、国内最大震度6強（大仙市5強、仙北市、 美郷町4）（塀崩壊・落石等の被害、負傷者2名）
〃	〃	林野火災	5月30日 田沢湖町火災、田沢字先達地内林野134a焼損
〃	〃	火 災	7月23日 角館町火災、町営住宅3棟全焼、4棟部分焼、死者 1名
〃	〃	〃	10月29日 神岡町火災、豚舎1棟5,334㎡全焼、豚約4,800頭焼死
2004	平成16年	火 災	1月25日 大曲市火災、住家2棟全焼、1棟部分焼、死者1名、 負傷者2名
〃	〃	〃	4月25日 太田町火災、住家1棟部分焼、死者1名
〃	〃	〃	10月18日 角館町火災、住宅1棟全焼、1棟部分焼、死者1名
〃	〃	〃	11月8日 大曲市火災、住家1棟全焼、死者2名
2005	平成17年	雪山遭難	3月29日 田沢湖町乳頭山で登山中の43名が行方不明、翌日全 員無事下山
2006	平成18年	雪 崩	2月10日 仙北市田沢湖鶴の湯温泉で雪崩発生、死者1名、負 傷者16名
〃	〃	豪 雪	平成17年12月～平成18年3月にかけて豪雪による雪害が頻発 〔平成18年豪雪〕管内雪害件数105件、死者8名、負傷者77名
〃	〃	火 災	3月12日 大仙市火災、住家1棟全焼、1棟部分焼、死者1名
〃	〃	〃	8月2日 仙北市火災、住家1棟全焼、死者1名
〃	〃	〃	8月21日 大仙市火災、住家1棟全焼、2棟部分焼、死者1名
2007	平成19年	〃	3月28日 大仙市火災、住家1棟全焼、死者1名
〃	〃	〃	4月23日 大仙市火災、住家1棟全焼、死者2名
〃	〃	〃	5月22日 大仙市火災、住家1棟全焼、死者2名
〃	〃	〃	11月26日 大仙市火災、住家1棟全焼、1棟部分焼、非住家1 棟全焼、1棟部分焼、死者1名
2008	平成20年	火 災	1月4日 美郷町火災、住家1棟全焼・2棟部分焼、死者1名
〃	〃	林野火災	5月2日 仙北市田沢湖地区火災、田沢湖尻高沢国有林1,081a 焼損（秋田防災ヘリ、岩手防災ヘリが空中消火活動実施）

西暦	年 号	種 別	記 録
2008	平成20年	火 災	6月5日 美郷町火災、住家1棟全焼、死者1名
〃	〃	地 震	6月14日 8時43分 岩手県内陸南部を震源とする地震〔岩手・宮城内陸地震〕、マグニチュード7.2、国内最大震度6強（大仙市・美郷町5弱、仙北市4）死者17名、行方不明6名、全壊30棟、半壊146棟、火災4件 緊急消防援助隊として、指揮隊・救助隊・消火隊・救急隊・後方支援隊計5隊が出動、宮城県栗原市駒の湯温泉現場にて救助活動を行う
〃	〃	〃	7月24日 0時26分 岩手県沿岸北部を震源とする地震、マグニチュード6.8、国内最大震度6弱（大仙市・美郷町4）死者1名、全壊1棟、火災2件 緊急消防援助隊として、指揮隊・救助隊・消火隊・後方支援隊計4隊が出動
2009	平成21年	火 山	10月27日 気象庁は、秋田駒ヶ岳に「噴火警戒レベル」を導入し、噴火時等にとるべき防災対応を踏まえた5段階レベル（5避難・4避難準備・3入山規制・2火口周辺規制・1平常）のうち、現在のレベルを「1平常」とした
〃	〃	火 災	11月9日 大仙市火災、住家1棟全焼、3棟部分焼、非住家1棟全焼、1棟半焼、1棟部分焼、焼損面積919㎡
2010	平成22年	〃	7月1日 美郷町火災、住家1棟全焼、死者2名
〃	〃	〃	8月29日 大仙市火災、住家1棟全焼、1棟部分焼、非住家2棟全焼、死者1名、負傷者1名
2011	平成23年	地 震	3月11日 14時46分 三陸沖を震源とする地震〔東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）〕、マグニチュード9.0、国内最大震度7（大仙市5強、仙北市4、美郷町4）死者19,335名、行方不明2,600名、住家全壊124,690棟、住家半壊275,118棟 (H27.9.9現在、総務省消防庁調べ) 緊急消防援助隊として、指揮隊・救助隊・消火隊2隊・救急隊・後方支援隊3隊計8隊が出動
〃	〃	火 災	3月11日 大仙市火災、住家1棟全焼、1棟部分焼、非住家1棟部分焼、死者1名
〃	〃	地 震	4月7日 宮城県を震源とする地震（東北地方太平洋沖地震の余震）、マグニチュード7.4、国内最大震度6強（大仙市5強、仙北市5弱、美郷町4）
〃	〃	水 害	6月23日から24日にかけての梅雨前線による大雨により、大仙市で住家床上浸水115棟、床下浸水282棟、非住家浸水153棟
2012	平成24年	雪 崩	2月1日 仙北市田沢湖玉川温泉岩盤浴場で雪崩発生、死者3名
〃	〃	雪山遭難	2月12日 秋田県駒ヶ岳で登山中の1名が行方不明、13日発見死亡
〃	〃	火 災	8月10日 大仙市大曲地区火災 住家1棟全焼、部分焼3棟、ほや2棟、非住家4棟全焼、1棟部分焼

西暦	年 号	種 別	記 録
2012	平成24年	風 害	4月3日～4日にかけて、急速に発達した低気圧の影響により、管内各地で強風による被害が発生。(瞬間最大風速39m/s 4月4日2時03分消防本部観測) 大仙市にて非住家全壊71棟、半壊33棟、住家一部破損475棟、重傷1名、軽傷2名 仙北市にて住家一部破損多数、非住家全壊・半壊多数 美郷町にて住家・非住家被害289棟
2013	平成25年	火 災	2月21日美郷町六郷地区火災 住家1棟全焼、部分焼2棟、非住家2棟全焼、部分焼1棟、死者1名、負傷者1名
〃	〃	火 山	7月25日、気象庁は秋田焼山に「噴火警戒レベル」を導入し、噴火時等にとるべき防災対応を踏まえた5段階レベル(5避難・4避難準備・3入山規制・2火口周辺規制・1平常)のうち、現在のレベルを「1平常」とした
〃	〃	土 石 流	8月9日、仙北市田沢湖田沢字供養仏地内にて土石流が発生、死者6名、負傷者2名 9日から19日にかけて広域消防延べ195人、消防団延べ455人、警察260人、自衛隊474人、その他重機オペレーター等33人が捜索救助活動を実施 鎧畑観測所では、最大24時間降水量292mm、日降水量278mm、最大時間降水量88mmと観測史上最大の降水量を記録した
2014	平成26年	火 災	1月14日 美郷町六郷地区火災、住宅1棟全焼、死者1名
2015	平成27年	作業事故	3月18日、仙北市田沢湖生保内字駒ヶ岳地内乳頭温泉郷カラ吹き源泉にて、源泉を調整中の作業員が倒れる 死者3名、負傷者1名
〃	〃	林野火災	4月28日、大仙市協和地区火災、奥山沢国有林1.11ha、私有林12ha、計13.11ha焼損 (秋田防災ヘリ、山形防災ヘリ、自衛隊ヘリ3機、計5機が空中消火活動実施)
2016	平成28年	火 災	1月12日、美郷町六郷地区火災、住宅3棟全焼、部分焼1棟、死者2名
〃	〃	〃	2月2日、大仙市協和地区火災、住宅1棟全焼、死者1名
〃	〃	〃	6月4日、大仙市協和地区火災、豚舎4棟6,301㎡全焼、部分焼1棟、豚約3,730頭焼死
2017	平成29年	火 災	6月27日、大仙市仙北地区火災、住宅1棟全焼、部分焼3棟、死者1名
		水 害	7月22日から23日にかけての大雨により、大仙市で住家床上浸水66棟、床下浸水175棟、仙北市で住家床上浸水24棟、床下浸水85棟、非住家半壊1棟、美郷町で床下浸水3棟の建物被害を受ける。これにより要救助者92名を救出
2018	平成30年	火 災	1月5日、大仙市大曲地区火災、住宅1棟、部分焼3棟、死者1名、負傷者1名

西暦	年 号	種 別	記 録
2018	平成30年	地 震	9月6日 北海道胆振地方中東部を震源とする地震（北海道胆振東部地震）、マグニチュード6.7、国内最大震度7、死者41名、住家全壊415棟、住家半壊1,346棟 （H30.11.6現在、総務省消防庁調べ）
2019	令和元年	台 風	緊急消防援助隊として、救助隊（一次隊及び二次隊）が出動 10月13日～18日 令和元年東日本台風（台風19号）に伴い宮城県伊具郡丸森町へ緊急消防援助隊として指揮隊、消火隊、救急隊、後方支援隊が出動（1次隊及び2次隊、延べ8隊30名）
〃	〃	火 災	12月22日 大仙市大曲地域火災 住宅4棟全焼、4棟部分焼、非住家1棟全焼、1棟部分焼、負傷者1名

※平成以降の建物火災については死者が発生したもの（自損を除く）及び特異な火災を列記。

※平成11年秋田県消防防災航空隊発足以降の林野火災については、大規模特殊災害時における広域航空消防応援に基づき応援を受けたものを記載。

表紙写真：第93回全国花火競技大会  
大会提供花火「令和祝祭」

裏表紙写真：FISフリースタイルスキーワールドカップ  
秋田たざわ湖大会

以上写真提供：表紙/大仙市

裏表紙/ FISフリースタイルスキーワールドカップ  
秋田たざわ湖大会組織委員会

## 消 防 年 報

令和2年度

令和2年4月1日

発行 大曲仙北広域市町村圏組合消防本部  
〒014-0061 秋田県大仙市大曲栄町 13-47

TEL (0187) 63-0150

FAX (0187) 62-3493

E-mail: [hombu@os-fd119.jp](mailto:hombu@os-fd119.jp)

